

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		利用児童なしのため、結果なし			
		公表日 2025年10月31日			
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室のスペースとの関係で適切であるか。				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。				
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者用、衛生上の配慮が適切に行なわれているか。				
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。				
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。				
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・業務改善につなげているか。				
	10 職員の継続の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を実施する機会が確保されているか。				
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。				
	12 保護者などにに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利権を考慮した機会が行われているか。				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを実施する等で把握しているか。				
活動プログラムの実施	16 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「旅行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。				
	17 活動プログラムの立案チームで行なっているか。				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。				
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に組み合せし、支援が行われているか。				
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、のり行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
定期的にモニタリング	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関等）、障害福祉、体育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
就学支援の実施	26 所有利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定特別支援学校等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。				
	27 就学支援の実行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	就域的の児童発達支援センターで障害児通所支援事業所等と連携を図り、就域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)			
	29 貢献のため、職場内や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)			
就域児童発達支援センターとの連携	30 就域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)			
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 就域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、就域の小学校とのこども活動を組み合わせた機会があるか。				
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
保護者への情報等	34 家族の立場の内見を頂る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。				
	35 連絡帳、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意見も綴り記入しているか。				
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な訪問と支援を行っているか。				
事業所等の対応	39 父母の立場の尊重を実現することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40 こどもや保護者からの相談の中に入れて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	41 定期的に連絡を実現することや、SNS等を活用することにより、活動経験や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。				
	42 個人情報の取扱いに十分注意しているか。				
	43 保護されるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				
	45 家庭訪問マニュアル、電話対応マニュアル、巡回マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等と周知するとともに、先生を志す者に巡回を実施しているか。				
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤出等の必要な訓練を行っているか。				
	47 事前に、医療や予防接種、なんくん角等のこどもの状況を確認しているか。				
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づいて対応しているか。				
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その生必要な監査を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の尊重が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51 ピアリット等を事業所内で行い、再発防止に向けた方針について検討をされているか。				
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。				
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織的に定めし、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド013真岡東店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配定数は適切であるか。	80%	20%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序による支援による支障が発生しないよう配慮しております。		
	3 生き方室は、こどもにわかりやすく構成された隠れになっているか。また、事業所の設備等は、隠れの特性に応じ、バリアフリー化や隠れ設備、隠れ上の隠れが適切になされているか。	60%	40%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生き空間は、楽室で、心地よく過ごせる隠れになっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	毎日、清掃を行っております。隠れ設備に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や隠れを使用するが認められる隠れになっているか。	80%	20%	お子さまの状況に合わせて個別の隠れでの支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善に反映しているか。	80%	20%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報をの検討、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議を行って、評議結果を実施改善に反映しているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	80%	20%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ごとに適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	80%	20%	アセスメント結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の影響を考慮した段階が行われているか。	80%	20%	児童の状況に応じて、保護者ごとにアセスメント結果の組合せを行い、そこから必要な目標を設定し、保護者の理解の上にアセスメント結果を示すなどして検討しているか。		
	14 児童発達支援計画に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	モニタリングや目標などの内容は周知を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により検討しているか。	80%	20%	毎日改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催する	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「無人支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	80%	20%	お子様が保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と組合せで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や集団での取り組みや支援方法を参考に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず合意を行い、その進行する支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	80%	20%	出勤時間に異なることもありますから、専門スタッフを中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず合意を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点を共有しているか。	60%	40%	タカラの適度や業務などから、まずは嬉しいが、時間は骨詰めで行なうようしています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、文部省の認証・改善に応じているか。	80%	20%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	80%	20%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	毎月の点検会議の形態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携してしております。		
定期的に評議会を開催する	26 所用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育評議の修了には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に図けてまいります。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門医や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているか。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会を設けているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいているか。		
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	迷惑等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく努力で行なっております。		
保護者への対応	34 家庭の点心の内山を頂る親類から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	80%	20%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているか。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行なっているか。	80%	20%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているか。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているか。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
保護者への対応	39 父母の間の活動を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さうない限り同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいているか。		
	40 こどもや保護者の心から入れたつり、対応の実績を評価するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に沿った対応を行なっているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口で相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごにご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
保護者への対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	20%	80%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェア、電気郵便マニフェア、巡回訪問マニフェア、巡回対応マニフェア等を実施し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が安心して保護者に実施しているか。	100%	0%	マニフェアの実施の順番を決定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口で相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	46 実務訓練計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	実務訓練計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を把握して、医療の普及書に基づく対応がされているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応を努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況を把握して、医療の普及書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
保護者への対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の保護者に認知されよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有がなされ、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事例集ではあります、並細なことで記入をし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	80%	20%	事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・持続性・持続性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド018今泉新町店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
個々の体験豊富	1 利用児童が発達段階等のスペースとの関係で適切であるか。	40%	60%	従来の構造化をしている部分が増えております。		
	2 利用定員やごどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	数値や質の基準がある職員を配置して、人材基準を満たしております。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。		
	3 生活空間は、ごどものわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設置等は、障害の特性に対応して、バリアフリー化や音制限等は、障害者の行動が適切になされているか。	80%	20%	必修に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、ごどもの活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	毎日、清掃を行なっております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行なっております。		
	5 必要な応じて、ごどもの個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の部屋で個別教育を行なっています。		
業務区分別	6 施設収容をためたためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20%	80%	定期的に会議を開催して話し合を行なっております。		
	7 保護者向け評定表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めています。		
	8 職員の意識を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40%	60%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、従業員の検討、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議会(評議会)に出席する業務改善につなげているか。	40%	60%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の資格の向上を図るために、研修を実施する場合に法人内研修を実施する機会が確保されているか。	60%	40%	全社研修のほかに、研修動画の見習いや外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	80%	20%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行ない、公表しております。		
	12 保護者のごどものためにアセスメントを適切に行い、ごどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	80%	20%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのお見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際は、児童発達支援責任者だけでなく、ごどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、ごどもの弱さの認識を共有し実施し機会が得られているか。	60%	40%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの弱さの弱さを考慮し検討の上、非常に職員が含む全ての職員が共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	60%	20%	児童発達支援計画に沿った支援をしております。		
	15 ごどもの部活動の状況や、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する手順により実施しているか。	60%	40%	個別療育の参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。		
適切な支援の提供	16 「実践支援・地域連携」の実現に向けた取り組みを記載しているか。	80%	20%	お子様や保護者の様の希望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 各種プログラムの立案をチームで行なっているか。	40%	60%	毎月施設内でプログラムを考慮し、実施した活動に累積されるよう工夫し設定しております。		
	18 各種プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	60%	40%	以前行われたプログラムを振り返り、立案しています。		
	19 ごどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	毎月の計画が決まっています。		
	20 支援開始前に施設内に必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	60%	40%	出勤時間が異なる場合もため、専門職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	60%	退勤時間も同時に異なることがあるため、同様に専門職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の跡目・改善に応じているか。	80%	20%	定期的に分析できるように実績と蓄積をかけて記入しやするように努めています。また、モニタリングの際は日々の記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの次や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児対応支援事業所のサービス担当者会議や開催頻度との会議に、ごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	日々お子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主たる医療や専門医療機関等）、障害予防、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて連携・連携しております。		
障害児対応支援事業所や保護者との連携	26 併用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョンの観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(併設的など)と連携して支援を行なっているか。	80%	20%	園との連携共有は行っております。		
	27 就学時の移行の際は、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%	併設する幼稚園等でサービス提供と連携して情報共有を行なっています。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターへ情報交換を行なう取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 質の向上を図るため、施設内に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させていているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答)					
	31 地域の他の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	20%	20%	問題があつた際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でごどもの活動を実施する機会を設けているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	33 日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	保護者と情報共有や共通理解はできています。		
保護者への情報等	34 家族の応力の内訳を把握する点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修会の集合や情報収集等を行なっているか。	40%	60%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 退勤時間、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	60%	40%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明な点については随時ご質問させていただいている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、ごどもの保護者の意図の尊重、ごどもの最適の利用の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。	80%	20%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなどを通じてお子様や保護者様のご意見の確認を行なっています。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から優先考慮の観点を踏まえて、ごどもの最適の利用の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向の尊重について、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に実現し、相談やや入れがあった場合に添付二つ折りにしてお伝えしている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明な点については随時ご質問させていただいている		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて適宜、ご相談に応じております。		
	39 父母の名前や性別を把握することや、保護者会を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういう点で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	40 ごどもや保護者からの相談の中に入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に実現し、相談やや入れがあった場合に添付二つ折りにしてお伝えしている。	80%	20%	見解を官能的に行なっています。		
	41 定期的に酒類等を飲むことや、IPやSNS等を活用することにより、活動規則や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	80%	20%	ハグにて行なっています。		
	42 遊び情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	十分留意しています。		
	43 保護のあらざるごどもや保護者との懇親の構成や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%	予めには、給料一等を用いて伝達しています。		
本質的・的確の対応	44 事業所の行事に付随性を担う等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所がマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生を含む保護者に実現しているか。	80%	20%	マニュアルの充実が行なわれています。		
	46 事業継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害への対応や予防接種、定期的予防接種、出資の必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	定期的に避難訓練を行なっています。		
	47 事前に、緊急事態や予防接種、なんか角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	緊急事態や条件等の情報共有はしております。		
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の指導に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一表を作成し職員が一日で分かれるよう工夫をしています。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な指導を実施する等、安全管理が十分された中で支障が行なっているか。	80%	20%	安全管理の面にまづきまして、情報共有されております。		
	50 ごどもの安全確保に関して、家庭等の配慮が図られるよう、安全面に基づく取組内容について、対応へ実現しているか。	80%	20%	職場でも情報を共有しながら、必要に応じて会議を行なっております。		
	51 ピアリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を実現しているか。	100%	0%	ピアリハットの報告、再発防止に向けた方策は、定期で検討しています。		
	52 事故を防ぐため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員の研修を行なっている		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に対応し、こどもや保護者に常に十分に説明し了解を得た上で、常識的又は適切に実現しているか。	80%	20%	Y規格・序章性・一貫性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっています。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名		グローバルキッズメソッド021新宿の内店(パーク)			公表日	2025年10月31日	
		チェック項目			はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
事業所の特徴	1	利用定員が免達支援等のスペースとの契約は適切であるか。	75%	25%	必要に応じてパートナーシップを取組みを実施している。 また、人数が多いときに活動を少人数グループで行ったり、定期的に活動を実施している。		
	2	利用定員や子どもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	教員や教育者資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。 また有資格者による支援を行うことが出来るよう配慮しております。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設置等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や負担軽減、個別化の取り組みが適切になされているか。	88%	12%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合せた空間になっているか。	88%	12%	パートナーシップを使ったり、片付けをして視界をスッキリする様に心掛けています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	個室をいつでも使用出来る様にしている。		
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く範囲を參照しているか。	88%	12%	常に会議を招いて、情報共有を行い、支援方法を話し合っている。		
	7	保護者向け評議会により、保護者等の直感等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	モニタリング等の際にも要望等をお聞きし、改善出来る様に配慮している。		
	8	職員の意見等を折衷する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	常に会議を開き、対策している。		
	9	第三者による外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	コミュニケーション等をとりながら、相談して内容を出来る様に改善している。		
	10	職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	月に1回は必ず実施している。意識付けの定着を行っている。		
業務改善の実績	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	保護者の意見と児童の発達のみならず、今必要な支援を行なっている。		
	12	園児の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童免達支援計画を作成しているか。	100%	0%	免達状況に合わせた支援を行なっている。		
	13	児童免達支援計画を作成する際は、児童免達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの普偏の利用を考慮した機会が行われているか。	100%	0%	常に話し合いながら、必要な支援方法を統一した限りが持てるようにしている。		
	14	児童免達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	スタッフも必ず支援計画書に目を通し、計画内容に合わせて細胞療育を行なっている。		
	15	こどもの適切行動の状況を、標準化されたツールを用いたフィーラムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いて評議しているか。	100%	0%	共有シートを用いて、常に児童の発達を共有し、対策も話し合っている。		
	16	児童免達支援計画は、児童免達支援ガイドラインの「児童免達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域資源」のねらい及び内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	1人ひとりに合わせた家族支援や移行支援も行なっている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	100%	0%	常に話し合いながら、児童のレベルに応じて楽しく活動出来る内容にしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	同じ内容にならない様に、結果をつけて話し合い、ステップアップ出来る様な工夫をしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と園全体活動を組み合わせて児童免達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別療育と園全体活動の内容を1人ひとりに合わせている。		
	20	支援開始前に園児用を中心合せを行い、その日行なわれる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	勤務時間がバラバラで打ち合わせに参加できない方には、電子ツールを用いて共有出来る様にしている。		
満足度の実績	21	支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日行なわれた支援の振り返りを行い、次回の点検を共有しているか。	63%	38%	記録から、どの様な内容なら相応しかったかを話し合っている。		
	22	日々の変遷に順応して記録をとることを徹底し、実践の検証・改善につなげているか。	100%	0%	必ず活動の記録を行なっている。スタッフ間で共用している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童免達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	保護者と意見を必ずしりとり話し合っている。		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	12%	責任をもって、しっかりと理解したスタッフが立ち会っている。		
	25	地域の保健、医療（主治医や筋力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を採っているか。	75%	25%	ご意見がわかれいつでも出向いたり、保護者会議を開いている。		
	26	市町利用や訪問に向けた支援を行うなど、インクルージョン連携の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校の教員と連携しながら、支援内容等の情報共有や相互理解を行なっているか。	75%	25%	巡回回、園の先生からのその日の、利用者の情報を共有できます。 支援を実施に行なっており、実施回数を年々増加実績を行なっている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	教育委員会との話しを保護者様からお聞きし、学校の様子を把握する様に努力している。		
	28	(28~304)センターのみ回答					
	29	地域の他の児童免達支援センターと連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや訪問等で支援を受ける機会を設けているか。	78%	22%	センターではないため回答なし		
	30	質の向上を図るために、職員的専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	33%	67%	要望があればいつでも連絡する体制を整えています。		
保護者間や保護者との連携	31	地域の児童免達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや訪問等で支援を受ける機会を設けているか。	100%	0%	お詫びの際に施設の様子をお聞きし、共有している。		
	32	保護者や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の学年等のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%	要望があればいつでも連絡する準備を整えている。		
	33	家庭に対する対応力の上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行なっているか。	100%	0%	お詫びの際に施設の様子をお聞きし、共有している。		
	34	家庭の対応力の上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行なっているか。	63%	38%	要望があればいつでも連絡する準備を整えている。		
	35	運営規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	丁寧に分かりやすい言葉を用いています。		
	36	児童免達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子ども最優先の観点を踏まえて、子どもや家族の意見を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングをしっかりと行い、保護者の要望を取り入れている。		
	37	「児童免達支援計画」を示しながら文書内容の説明を行い、保護者から児童免達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	十分に話し合いながら、同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する対応に適応して、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	対応相談に応じています。		
	39	父の日の活動や支援することや、保護者会を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった活動で子育ての機会を設けているか。	25%	75%	依頼があればいつでも出来る準備をしている。		
	40	子どもや保護者との面談等申入について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入はあった場合に迅速かつ丁寧に行なっているか。	100%	0%	いつでも対応している。		
保護者への対応	41	定期的に面接等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して周知しているか。	88%	12%	活動の様子をインスタグラムに掲載している。		
	42	個別面接の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	守秘義務と個人情報の取り扱いを徹底している。		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報公開のための配慮をしているか。	100%	0%	手帳が必要な場合、必要な手帳の手引き書等も準備している。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	62%	要望があればいつでも出来る体制を整えている。		
	45	事務局内にマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に研修や防犯訓練も行なっている。		
	46	業務統計表(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	半年に1回は必ずおこなっている。		
	47	事務局内に消火器、てんかん发作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	常に保護者と休憩について共有し、必要な活用についても共有している。		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医療的制限に基づく飲食等を実施しているか。	100%	0%	同じ場所での飲食を避け、隣接を徹底している。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な結果を掲示する等、安全管理が十分された中で支障が行われているか。	100%	0%	危ない機会は室内に置かない等、環境を整えている。		
	50	子どもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全な面倒にに基づく取組内容について、要旨等へ周知しているか。	100%	0%	必要に応じて説明している。		
非常時の対応	51	ヒビリバットを設け事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について説明をしているか。	100%	0%	情報共有を行なっている。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修整備を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	複数回で研修を行なっているので、毎回の日がある。		
	53	どのような場合やねじれ等の身体拘束を行なうについて、組織的に決めて、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、添量食や支援計画に記載しているか。	100%	0%	必要に応じて支援計画書にも記載している。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド027ゆいの杜店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	その日来る児童の特性に配慮し、順次レイアウトを変えており。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序を進めております。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切にされているか。	100%	0%	視覚的や触覚的に分かちやすく配慮されている		
	4 生きる空間は、楽器で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	40%	60%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	60%	40%	モニタリングの結果を制度共有している		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	80%	20%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議を行って、評議結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めしております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	80%	20%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『家庭支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	40%	60%	毎月開催用プログラムを考慮し、実施した活動に則りながら工夫して実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こども状況に応じて、個別活動や団体活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方法を取扱い入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60%	40%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	40%	60%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	定期的に分析できるように実際に見直しをかけて記録するように努めております。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めしております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
被用者への支援等	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や認定施設等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	40%	60%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	80%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をなしておられます。		
児童等の支援等	34 家族の立場の内見を頂る親御さんから、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	20%	80%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の権利の尊重の観点を踏まえ、こどもや家庭の尊厳を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童等の保護者への対応等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場から、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう構えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	60%	40%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めております。		
事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで見ることを防いでいるか。	80%	20%	マニュアル等の策定を行なうとともに、職員間で情報共有をし、対応に努めております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行っているか。	80%	20%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から受けよう、安全計画に基づく内容について、児童等へ周知するとともに、児童生徒が立ち読みで見ることを防いでいるか。	80%	20%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行っているか。	80%	20%	事業所内でもヒヤリハットを検討することとともに、定期的なヒヤリハットを実施しております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するなどして対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護に配慮しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		利用児童なしのため、結果なし			
		公表日 2025年10月31日			
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。				
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者用、視覚上の配慮が適切に行なわれているか。				
	4 生きる空間は、楽器で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。				
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。				
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・業務改善につなげているか。				
	10 職員の継続の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。				
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。				
	12 保護者などにに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利権を考慮した機会が行われているか。				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。				
活動プログラムの実施	16 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「旅行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。				
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。				
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に組み合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。				
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
定期的にモニタリング	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関等）、障害福祉、体育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
団体活動や保護者との連携	26 所有利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定特別支援学校等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。				
	27 教学終了の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児虐待支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)			
保護者への説明等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)			
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の小学校とのこども活動を組み合わせた機会があるか。				
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
家庭教育等の対応	34 家庭の状況の内見を頂る観点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。				
	35 保育規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意見を尊重する機会を設けているか。				
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な物語や支援を行っているか。				
事業所等の対応	39 父母の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40 こどもや保護者からの問題の中に入れて、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	41 定期的に活動会議を実施することや、SNS等を活用することにより、活動経験や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。				
	42 個人情報の取扱いに十分注意しているか。				
	43 保護されるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
事業所の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				
	45 事業所はマニフェスト、緊急時対応マニュアル、感染マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生を志す者に訓練を実施しているか。				
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤出等の必要な訓練を行っているか。				
	47 事前に、医療や予防接種、なんくん角等のこどもの状況を確認しているか。				
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がなされているか。				
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その生必要な監査を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の状況が認められよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51 ピアリットを事業所内で行い、再発防止に向けた方針について討議をしているか。				
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
	53 どのような場合にわざと身体拘束を行うかについて、組織的に定めし、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド032下高木店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	店舗がいろいろなコーナー、角等に壁面をよくなくなり付けられています。 窓室、既存の廊下等の壁面を活用していて効率が良い。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	86%	14%	教員や保健士資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配慮しております。		
	3 生き方室は、こどもにわかりやすく構成された隠れ家になっているか、また、事業所の設備等は、隠れの特性に応じ、バリアフリー化や隠れ室等、施設上の隠れ室が適切になされているか。	100%	0%	声の大きさに関する音響物や日付・天気カードなどの隠れ機能があるところが工夫されていると思う。		
	4 生き空間は、床面で、心地よく過ごせる隠れ室になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	床面、床面、スペース内に余分な物は置かない。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や隠れ場所を使用することができる隠れ室等になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の隠れ室や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
環境・設備・設備改修	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	LINEにより情報共有、意見、提案等従業員全員が参画している		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	86%	14%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるように努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	パーク会議で集中的に多方面から話し合います。 職場の意見も良く上司及び従業員同士のコミュニケーションが取られている		
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・実施改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していかたいと思います。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見内容の確認、見直しを行なっています。		
	12 保護者ごとに適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	子供達の支援計画、課題等について会議を開催して従業員全員で同じ方向で支援業務を実施している		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援実務責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利益を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画には、児童発達支援実務責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利益を考慮した段階が行われている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画には、標準化されたツールを用いたフォーマルなセグメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により実施している。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなセグメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により実施しているか。	100%	0%	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されている。		
児童発達支援計画	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されている。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	86%	14%	専用機器用やプログラムを参考し、実施した活動に則りられるよう工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	86%	14%	運動レクリエーションなどで使うような道具の購入など、今後検討していく。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や巡回活動での取り扱い方や支援方法等を商量に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	86%	14%	出勤時間帯に異なることもありますため、専門スタッフを中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
障害児相談支援事業所	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、烹いたためを共有しているか。	86%	14%	直勤時間帯も同様に異なることがあるため、同様に専門スタッフを中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	実際的に分析できるように実施し意見をかけて記録するように努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携してしております。		
開発援助や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育科の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30)、センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	71%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	その日のこどもの状況を送達の際に伝えている。		
児童発達支援事業所	34 家庭の立場の内にいる親から見ると、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	86%	14%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を踏まえているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面接や必要な物資や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童発達支援事業所の運営	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さうない限り同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	40 こどもが保護者からの立場の人間について、対応の型を整備するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に沿って対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に情報交換を行うことや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する開示を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、連絡の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疇めや専門性等のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
児童発達支援事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	43%	57%	今後検討していくかと思います。		
	45 保護者マニフェスト、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいた場合の対応を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況を基にした対応が行われているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるような工夫をしております。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が図られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有をしながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事例集ではありますけれど、並びなことを記入し、事業所内ヒヤリハット(インシデント)を直面有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止対応会議を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド034西宮店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮数は適切であるか。	33%	67%	教育や保育資格のある職員を配置して、児童全員による支援を行なうように対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	83%	17%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	83%	17%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	50%	50%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援職を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	83%	17%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	67%	33%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こども状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方法を組み合わせております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	会話時間は異なることもあるため、常に効率的かつ効果的に支援を行なうよう、会話や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、会話を共有しているか。	100%	0%	直面時間も同様に異なることがあるため、同様に効率的かつ効果的に支援を行なうよう、会話や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員間や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	67%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応	34 家族の立場の内にある親から親頼者からも親頼者を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	83%	17%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な、細部に応じて面接や対応を行っております。		
児童等への対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者の立場から親頼者から親頼者を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	33%	67%	今後検討していくかと思います。		
	45 保護者マニフェスト、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで確認しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が得られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行っているか。	83%	17%	事業所でもヒヤリハットを認識することとともに、定期的なヒヤリハット（インシデント）を直面共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド035新さくら店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行うことが出来るように対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	67%	33%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	83%	17%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	83%	17%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していかなければいけません。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	83%	17%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	83%	17%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	67%	33%	毎回改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「地域支援・地域連携」のならびに支援内容等の充実などに貢献しているか。	83%	17%	お子様や保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	67%	33%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが定型化しないよう工夫しているか。	83%	17%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動で適切に支援を行なっており、支援の手引きを共有しているか。	83%	17%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や巡回活動での取り扱いや支援方法等を参考に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会話や会話を交換し、手元に記載する支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	83%	17%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話を交換し、その日行われた支援の振り返りを行い、次回の支援を共有しているか。	50%	50%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	定期的に分析できるように実施し見直しを実施する、また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎回お子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	必要に応じて連携してしております。		
評議会実施	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	必要に応じて、連携する専門機関や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	33%	67%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童虐待への対応	34 家族の立場の内にいる親から見ると親から見ると、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面談や相談に応じております。		
児童虐待への対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場から見ると、対応の整備を図ることや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に虐待を実施する立場や、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する対応を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
児童虐待への対応	44 事業所の立場に相談対応を定期的に行なう等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	33%	67%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭暴力マニュアル、電気棒棒対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場から見ると、実施しているか。	83%	17%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	83%	17%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理への対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から見ると、安全計画に基づく内容について、要領等へ周知するとともに、児童生徒が立場から見ると、実施しているか。	83%	17%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	事業所でもヒヤリハットを検討することとともに、定期的なヒヤリハットを実施しております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	事故防止対応会議を設置することとともに、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

六

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド037鶴田店PLUS(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が角席座席室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	店舗が児童の人数に対して良いでのパソコンと教室など、時間差で分けたりする。	
	2 利用定員やごとの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	64%	36%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。	
	3 生活空間は、ごどもにわかりやすく機能化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や機能的設備、施設上の配置が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、ごども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	毎日、清掃を行っております。衛生規定に沿っても日頃から小さな話し合いを行なっております。	
	5 必要に応じて、ごどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	93%	7%	お子さまの状況に合わせて個別や小集団グループなどの活動を行なうことが出来るように対応をしております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	定期的に会議を開催して話し合を行なっております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	93%	7%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を耳にし、改善できるように努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を開催しており、その内容を業務改善につなげているか。	93%	7%	取り入れる活動の変更是スタッフ間でミーティングを行なうことで実現している。それに伴い必要な準備物等も変更している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	79%	21%	今後、検討してみたいと思います。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修担当者の講義や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクチャー・カクシ・シート形式の原稿、スクラップブック等の育児の確認、発達しを行ない、公表しております。	
	12 各々のこどもに対してアセスメントを適切にし、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	児童発達支援計画の際、保護者と共に作成内容の見直しなど話し合っている。また、保護者に児童の様子、意見交換している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの進歩の目次を考案しているか。	100%	0%	支援会議を開催し、情報を共有している。また、保護者に児童の様子、意見交換している。	
	14 児童発達支援計画(職員用)を共有され、計画に沿った支援が行われているか。	93%	7%	スタッフが、実践に取り入れると思う。	
	15 こどもの進歩活動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の活動観察などからインフォーマルなアセスメントで把握する等により把握しているか。	100%	0%	日々の児童活動を記録し、できる事できない事の記録に努めている。	
	16 住民参画支援担当者は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき事項」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「住民支援・地域支援」の内容から支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援担当に必要な情報と記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	100%	0%	朝のミーティングの準備などで、他のスタッフに案を話し合を繕にしてる。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	現状のためより、ミーティングの見直しを含めて、個人の目標も考えている。なるべく、子供達が楽しく育習を来るような内容を考えるようにしてます。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別で入る事も出来ないな、フロアで実施たり、隣接室ははせに、できる範囲で組まれる様に支援してます。	
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や分割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	普段のスタート時にミーティングをしていて、毎朝のミーティングで、子供の発育の状態や、並びなど話し合っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、次回の支援を共有しているか。	86%	14%	振り返りは、活動や児童の様子を振り返して、次回の活動内容や、保護者や、要保護者に並びに並んでいて貢献する様にしてる	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の評価・改善につなげているか。	100%	0%	モニタリングの時など、日々の児童の様子、成長を伝えられる材料になると思うので、細かに記録する様にしてる。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、必要な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて、計画の見直しを実行しております。	
	24 開設や相談を専門所のサービス担当者会議を開催するとの会合に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまのお状況より、理解している職員が参加できるようにしております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
	26 行使利用や移動に向けた支援を行なうなど、インクルージョン概念の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校などのとの間で、支援内容の連携と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者を適して連携共用を行なっている。また入所者の送迎時、対応時の連絡、事前に間に連絡などしている。	
	27 歯学的移行の際は、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互通報を行なっているか。	93%	7%	併設する放課後等ダイバーシティ事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との連携共用に賜てまいります。	
	(26~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターと連携して支援を行なう体制を整えているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 費の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	64%	14%	相談会を主にしている	
	32 保育や相談などごども園、幼稚園等との交換や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	36%	64%	こどもに応じて、対応させていただいている。	
	33 日頃からごどもの状況を把握する保護者と連携して、ごどもの状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者に会って聞く、Oの出でなしがあった、出来るようになった、などの支援してて気付いた範囲の時は応えている。スタッフ間にも共有している。	
	34 現場の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族の参加できる研修会や情報提供等を行なっているか。	64%	36%	事業所における活動の様子を「毎日の様子」として日々の情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけよう頑張りお伝えしております。	
	35 運営規程、実施プログラム、お子さま負担等について夢な説明を行なっているか。	100%	0%	ご契約の時に説明させていただき、また、ご不明な点に応じては随時ご説明させていただいております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際は、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の保障の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の時に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなども通じてお子様や保護者様のご要望のご確認を行なっております。	
	37 「児童発達支援計画」を示さないから支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の時に説明させていただき、また、ご不明な点に応じては随時ご説明させていただいております。	
	38 定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	日頃から保護者とのコミュニケーションを図り、相談などやすい対応を心がけている。	
	39 大切な方の看護を実現することにより、保護者会合を開催する所に、保護者同士で交流する機会を設ける会の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいている。	
	40 こどもや保護者からの相談や申立てについて、対応の体制を整備することにより、こどもや保護者に周知し、相談や申立てが済みた場合に迅速かつ適切に応じているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しづらい内情は、総合窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に連絡会を行なうことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して周知しているか。	100%	0%	利用者には、毎月レクチャーを開催している。Instagramや、地域の広報などにも掲載されているのを多くにします。	
	42 団体情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	名前が外見から見れない様にする。名前の記載してある紙などはシェルターにかける等している。	
	43 保護のあるごどもや保護者の意思の尊重や負担軽減のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めています。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36%	64%	今後検討してみたいと思います。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、実行を定めた訓練を実施しているか。	100%	0%	防災訓練を実施しています。	
	46 家族連絡計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、実行のため訓練を行なっているか。	100%	0%	避難訓練を定期的に実施している。	
	47 事前に、家族や子供保護者、てんかん専門等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	個人ファイルできちんと分りやすくしています。事前に保護者、家族あるか確認し、スタッフに共有している。	
	48 食物アレルギーのあるごどもについて、園庭の園芸に基づく対応がされているか。	100%	0%	毎日、アレルギーのある児童のエッグ、2人でアレルギングがないか確認して、提供している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な指導を講じる等、安全管理に基づく取組みについて、安全計画に基づく取組み内容について、家族等に周知しているか。	100%	0%	定期的に行っております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られているか。	100%	0%	園内面でも情報が共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内外に共有し、再発防止に向けた方針について討議を行なっているか。	100%	0%	事業集団ではありますが、並なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を直面共用しております。また、仕事場所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52 傷害を防止するため、職員の研修会を開催する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	動物行動実験を行なっています。	
	53 どのような方針で日々の運営や安全管理を行なうか、組織的に実施し、定期的に実施し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	細胞活性化により反応しております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド038今泉店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	全体が見渡せる。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	教育や保健士資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生き方指導は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者用、施設上の配慮が適切になっているか。	88%	13%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室があるので個別支援などに子ども達も集中することができます。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	毎朝朝礼があつたときに会議があるため情報も共有しやすい。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるように努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	会議の時など意見が言いやすい。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の資格の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見内容の確認、見直しを行なっています。		
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し検討の上、通常勤務員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
児童発達支援計画	16 「児童発達支援計画」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」の、なからい及び支援内容が明確な点が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月意見を出し合って季節や季節の成長過程を考えながら立てています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	募集が新しい児童には小集団の活動や支援を行なっています。		
	20 支援開始時には職員間で会合を含め行い、その会に行なわれる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもありますため、専門的支援者を中心には出勤共有出張の確認や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
障害児相談支援事業所	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点等を共有しているか。	100%	0%	その日に話し合いが出来ない時は翌朝などに話し合っている。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実績と意見をかけて記録するように努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解した職員が参加できるように努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。		
利用者への支援等	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご希望があれば学校との情報共有を行なっております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
地域の児童発達支援センターとの連携	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31): 事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	88%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただったり、電子連絡帳による記録を提供させていただく等で共通理解が持てるように努めています。		
家庭の状況等	34 家族の立場の内にある親から親頼み等に対する取組を行なっているか。	88%	13%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては細胞ごとに説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を踏まえながら取り扱っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては細胞ごとに説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問題を尋ねているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては細胞ごとに説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な、細胞に応じております。		
保護者への支援等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	13%	児童ではパーク、放課後等の合宿レクや活動を取り入れている。		
	40 こどもが保護者から親頼み等に対する取組を行なっているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
本質的特徴等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	63%	38%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭的マニフェア、電気料金対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の保護者を実施しているか。	100%	0%	年に毎回運営会議や福祉の勉強、ケガの急救措置の仕方などを話し合っている。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応を努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施しているか。	100%	0%	定期的に実施を行なっています。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、並組などでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を直面共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止委員会を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざと身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護計画に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド040東城南店PLUS(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行っております。また有資格者による支援も行うことが出来るように対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切に行なわれているか。	0%	100%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては、日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0%	100%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	0%	100%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・実施改善につなげているか。	0%	100%	情報、検討していくかと思います。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修活動の現地や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクに対し、職員が工夫している。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのお見見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するよう努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	0%	100%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	0%	100%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を行なう	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実定しております。		
	18 活動プログラムが定型化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や班活動で適切に組合せして、支援の必要性を判断し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や班活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	0%	100%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、烹いたお手を共有しているか。	0%	100%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発連携会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育旅行の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0%	100%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に図けてまいります。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	0%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会を設けているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただくよう努めています。		
保護者への対応等	34 家族の立場の内にある親から親頼み等に対する取組を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	0%	100%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する取組に適切に如く、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な対応を行なっております。		
児童等への対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場から親頼み等に対する取組を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニュアル、定期的対応マニュアル、巡回訪問マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒の立場から親頼み等に対する取組を行なっているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんくん角角等のこどもの状況を確認しているか。	0%	100%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がなされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な基準を満足する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の立場から親頼み等に対する取組を行なっているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応を行なっているか。	100%	0%	事業事例ではあります、並経なことで記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	事故防止対応会議を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド046栄酒店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行ってあります。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0%	100%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	0%	100%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を実施改善につなげているか。	0%	100%	情報、検証していくことを心がけています。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審議内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し検討の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	0%	100%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『家庭支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0%	100%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方法を組合せております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0%	100%	出勤時間は異なることもありますから、専門スタッフを中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	0%	100%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門スタッフを中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
利用者への対応	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0%	100%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	0%	100%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく際は、お子様の状況を記録してお伝えしております。		
児童虐待への対応	34 家族の立場の内にある親から見ると親から見ると、家族に対する支援を行なうか。家族に対する支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	0%	100%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な相談に応じております。		
児童虐待への対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者の立場から見ると親から見ると、対応の整備を図ることや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に虐待を実行するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する対応を行なっているか。	0%	100%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所の対応	44 事業所の対応に地元住民を対象する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していくことを思っています。		
	45 家庭暴力マニフェスト、電気棒等対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいたるところに実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんくん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理への対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0%	100%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の立場から見ると親から見ると、安全計画に基づく対応内容について、要領等へ周知しているか。	0%	100%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事業所内にヒヤリハットを記載しておき、定期的に検討を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するなどして対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

事業所名		利用児童なしのため、結果なし			
		公表日 2025年10月31日			
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室のスペースとの関係で適切であるか。				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。				
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者用、視覚上の配慮が適切に行なわれているか。				
	4 生きる空間は、楽器で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。				
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。				
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10 職員の継続の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を実施する機会が確保されているか。				
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。				
	12 保護者などにに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利権を考慮した機会が行われているか。				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。				
活動プログラムの実施	16 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「旅行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。				
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。				
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に組み合せし、支援が行われているか。				
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、のり行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
定期的にモニタリング	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関等）、障害福祉、体育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
団体活動や保護者との連携	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定特別支援学校等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。				
	27 教学終了の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児虐待支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)			
保護者への説明等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)			
	31 (31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の小学校とのこども活動を組み合わせた機会があるか。				
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
家庭教育等の対応	34 家庭の状況の内見を頂る観点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。				
	35 保育規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の疎み、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。				
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な物語や支援を行っているか。				
事業所等の対応	39 父母の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40 こどもや保護者からの問題の中に入れて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	41 定期的に活動会議を実施することや、SNS等を活用することにより、活動経験や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。				
	42 個人情報の取扱いに十分注意しているか。				
	43 保護されるこどもや保護者との意思の疎みや情報伝達のための配慮をしているか。				
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				
	45 家庭訪問マニュアル、電話対応マニュアル、巡回マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等と周知するとともに、先生を志す者に情報を実施しているか。				
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤出等への訓練を行っているか。				
	47 事前に、医療や予防接種、なんくん角等のこどもの状況を確認しているか。				
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がなされているか。				
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その生必要な監査を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の状況が認められるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51 ピアリットを事業所内で行い、再発防止に向けた方針について検討をしているか。				
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
	53 どのような場合にわざと身体拘束を行うかについて、組織的に定めし、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名		グローバルキッズメソッド049加須店(パーク)			公表日		2025年10月31日
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など			
環境・体制整備	1 利用定員が施設支障率とのスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意しております。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教養や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報基盤、環境に配慮がされているか。	90%	10%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の行動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃を行なっている			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	10%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	ファイルに記載してあります			
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	定期的なモニタリングを実施して、保護者との意見交換を行なっている			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	適切なアドバイスを実施する機会を設けています			
	9 第二回とする外部評議会を行い、評議会結果を業務改善につなげているか。	90%	10%	第三者の評議会が分かりづらい場合は、評議会結果を理解する機会を設けています			
	10 職員の質の向上を図るために、研修を実施する機会を法人内で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	月に一度の研修会を開催してあります			
満足度の質問	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	作成されたプログラム等をファイルに記載して掲示できるようになっています			
	12 他の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	90%	10%	保護者とのモニタリングや事業所内の会議を通じて実施しております			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門職だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの審査の判断を考慮して実施が行われているか。	90%	10%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの権利の利益を考慮し検討の上、非常に理解が行き届いています			
	14 児童発達支援計画が定期的に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	支援に入ることに適切な支援を実施する機会を設けています			
	15 その他の適切行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを用いて定期的に評議会で評議しているか。	90%	10%	評議会法のスタッフと話し合う機会があり、アセスメントツールの作成などで確認が行なわれる			
児童発達支援計画	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域資源」のうちの及び支援内容を踏まえながら、子どもの支援に必要な情報が適切に記載され、その上、具体的な支援内容が記載されているか。	90%	10%	お子様や保護者のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。			
	17 通常プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	スタッフ同士で意見を出して制作に至っている			
	18 通常プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	固定化しないよう季節に合わせて変更している			
	19 その他の状況に応じて、個別活動と適切活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	90%	10%	子どものその他の様子に合わせて活動の幅を広げて行なっている			
	20 支援開始前に職員間で必ず合せを行い、その上行われる支援の内容や割り当分について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	会議前に利用になる場合ライン等で事前に情報共有を行なっている			
活動の質	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、次回の点検等を共有しているか。	90%	10%	直前に実施したスタッフ会議等でアドバイスを実施している			
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、次回の検証・改善につなげているか。	90%	10%	ライドでの報告をすると点検等で実施している			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリング結果をラインで見えるようになっています			
	24 障害児支援実施支援計画のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その他の状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	自らが参加して、意見交換を行なっている			
	25 地域の保健、医療（主治医や歯科医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保健所と意見交換などを実施している			
障害児支援実施支援計画	26 併用利用や移行に向けた支援手当など、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保健所や認定ごと医療機関、障害児支援実施支援計画などを用いて、実施内容の情報共有等を実施しているか。	100%	0%	併用している間から情報共有を行なっている			
	27 教学の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容の情報共有と指導実験を図っているか。	90%	10%	支援員との情報共有を行なっている			
	28 (28~304、センターのみ回答)						
	地域の市による児童発達支援センターとの連携を図り、地域全体の質の向上に対する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)			
	29 質の向上を図るため、徹底的に専門家や専門機関等から学び、職員は外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)			
地域との連携	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)			
	(3)は、事業所のみ回答)						
	地域の市による児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	30%				
	32 保健所や認定ごと医療、幼稚園等との交換や、地域の中でその他の活動を実施する機会があるか。	60%	40%	ご希望に応じて、対応させていただいている			
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者とのニーズの話し合いを行いそれを支援に実施している			
保護者への説明等	34 家族の対応の良い点を認める観点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	70%	30%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かお伝えしております。			
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	事前に書類を読んで説明をしている			
	36 見直しや改善等を実施する際には、子どもや保護者の意見の尊重、子どもが権利の利益を考慮する観点を踏まえ、子どもや家族の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	書類や話し合いを通じて保護者との話し合をせています			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を図り、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明な点に関しては随時ご質問をしていただいている			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩みに対する相談に適応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて面談の機会を設けている			
児童発達支援計画	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会合を頻繁に開催する等の支援をしているか。	60%	40%	年に一度保護者参加の運動会を行なっている			
	40 ごみを保護者や専門家等で受け入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	必要な日程を開いて直談のスケジュールを決めている			
	41 定期的に講習等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、迷惑体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	90%	10%	HPにて活動内容の視覚化をしている			
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。			
	43 連絡のあんどどうや保護者のとの連絡の適切な連絡のための配慮をしているか。	90%	10%	紹介カードを用意しやすいように支援を行なっている			
事業所の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。			
	45 防犯カメラ設置、緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、緊急対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応手順を実施しているか。	100%	0%	定期的な訓練を行なっている			
	46 業務計画計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、放送その他の訓練を行なっているか。	100%	0%	消火器の使い方を実際に使うことができた			
	47 事前に、経営や予防接種、でんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護依頼書を使用している			
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断に基づいて対応しているか。	100%	0%	現在、アレルギー対応の利用者様はいないが、いる場合は、食事の時間帯に食を準備したり、おやつ提供に気をつけて対応をしています			
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練。その社必要な指図を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	定期的な研修動画を見ている			
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全面に基づく取組内容について、発生した際の対応手順を実施しているか。	80%	20%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行なっています。			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策を行なっているか。	90%	10%	事故報告書等でヒヤリハットの確認をしております			
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	定期的な研修研修がある			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決めて、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、必要な支援計画が実施しているか。	90%	10%	同意書等の書類での確認、口頭での確認をしている			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年10月31日			
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が先進支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	工夫している点は、児童が各々興味ある遊びを行い満足できるように、遊びのコーナーを設定する所がある。 子供達が自分でしながら楽しく遊んでいる所が工夫している所です。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	82%	18%	適正時の間に大体3人の子供達を時間調整しながら会話を持てて送迎しているのが良いと思います今の所改善することはないです	
	3 生活空間は、どこにもわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報連携等、環境上の配慮が適切にされているか。	91%	9%	子供達の手の届かない所に配置されています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%	清潔ははとてもいいです。床の拭きも、運営の拭きも、適度に丁寧です。 清潔感を保つために、定期的に掃除を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	静かな環境になって子供達も落ち着ける所にあります。 個別の指導の教訓と音楽教室が併存しているように分けをこなしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)、広く職員が参画しているか。	82%	18%	留め置いて一ヶ月たりで空間に変えています。 さらにスタッフミーティングを行なっています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	73%	27%	ハガキのメッセージ欄や提出の箇所等で聞いた情報をスタッフ間で共有し、改善につなげるようにしている。 スタッフ間で意見を共有し、定期的に会議を行なっています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	一人ひとりの意見を聞いて改善に努めています。 定期的にスタッフミーティングを行なっており、こまめに情報共有し知識している。	
	9 第三者による外部評議を行、評議結果を業務改善につなげているか。	73%	27%	一人ひとりが外部評議して改善に努めています。 定期的に会議を行なっており、こまめに情報共有している。	
	10 職員の賃金の向上を図るために、研修を充実する機会や法人内研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に研修実例があり取り組めています。	
適切な支援の提供	11 透明に支援プログラムが作成、公表されているか。	91%	9%	算で置いて一ヶ月たりで空間に変えています。 さらにスタッフミーティングを行なっています。	
	12 保護者の立場に立ってアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	91%	9%	保護者と子どもの情報を共有して課題に取り組めています。	
	13 世帯発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの発達の目標を考慮した段階が用いられているか。	91%	9%	ミーティングやその他の情報共有に努めている。 会議の結果を用いて改善をしながら進めています。	
	14 児童発達支援計画に個別に共通し、計画に沿った支援が行われているか。	91%	9%	お子さまの利用の際の個別支援などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いる事によることで確認しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。	
児童発達支援計画	16 世帯発達支援計画は、世帯発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき度」の「本人支援」「家庭支援」「旅行支援」及び「情報支援・他援助」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設けられ、その上で、具体的な支援内容が記載されている。	91%	9%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	82%	18%	毎月徹底でプログラムを考案し、実施した活動に繋げられるよう工夫して実施しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	スタッフそれぞれ考え方や意見を取り入れながら活動内容をみんなで考えて工夫している。	
	19 こども状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	91%	9%	お子様の性格に応じて適切支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	91%	9%	良いチームでの連携で仕事をこなしています。	
保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	82%	18%	問題が有った事は明日に持ち込まざるの日に改善している	
	22 日々の支援に際して評議をとることを徹底し、支援の特徴・改善に注目しているか。	100%	0%	問題が有った事は明日に持ち込まざるの日に改善している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の達成の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24 保護者相談支援事業所のサービス担当者会議や開催地会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日曜のお子様の状態をよく理解して保護者会議に参加できるように努めています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、薬剤師社、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	82%	18%	必要に応じて直連接して仕事に努めています。	
医療機関や保護者との連携	26 併用料金や旅行に行われる支援を行うなど、インクルージョン立場の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27 手帳の移行等の際は、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	併設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との連携を取ってまいります。	
	28 (2)~(30)、センターのみ回答				
	地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じて児童発達支援センターと連携を行っているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢の向上を図るため、定期的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(3)1. 事業所のみ回答				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	55%	18%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。	
	32 保護者や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこども活動する機会があるか。	36%	64%	必要に応じて、対応させていただいております。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	子供の性格や家のでの行動を保護者様と共に共有しています。	
児童への対応等	34 家族との対応の上よりかる観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族の参加できる研修の舞合や情報提供を行っているか。	45%	55%	例年も家族と共に話し合い子供の成長に努めています	
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	91%	9%	ご契約の際には説明を必ず行なっているが、その後はご質問があった際のみ対応している。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不満点に際しては施設ご要望に応じてご説明させていただいております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から質問を受けた際は適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不満点に際しては施設ご要望に応じてご説明させていただいております。	
	38 定期的に、家族からの子育ての悩みに対する相談に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご希望に応じて面談、ご相談に応じております。	
扶養料等の対応	39 父母の立場の変動を察するごとに、保護者合宿を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	36%	64%	ご要望に応じて、対応させていただいております。	
	40 こどもや保護者との面接の際は、対応の仕組みについて、対応の仕組みを踏まえ、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合は必ず対応しているか。	100%	0%	各事業所の面接窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しやすい内容は、結合対応窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に面接等を行うことや、HP・SNS等を活用することにより、活動運営や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して説明しているか。	91%	9%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただけた取り組みを行なっております。	
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	必要な個人情報の記入欄は必ず記入してあります。	
	43 保護のあらゆる点でや保護者の心の声や苦情の発信や苦情公認のための記述をしているか。	100%	0%	より丁寧にお伝え出来るように努めています。	
事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36%	64%	今後検討していくかと思います。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生を対象とした訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。	
	46 家庭継続計画（BCP）を策定するとともに、多災害の発生に備え、定期的に研修、教示等必要な訓練を行っているか。	100%	0%	家族継続計画（BCP）の策定を行なっております。	
	47 事前に、医療や予防接種、でんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	91%	9%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況に基づいて、医療の施設に基づく対応を行っているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その社必要な指針を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全面にに基づく取組内容について、家庭等へ周知しているか。	100%	0%	送迎車内に看板が設置された所の対応についても具体的に事業所とスタッフ間で周知していかなければなりません。	
	51 ピアリット等を事業所内に共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	必要な事項を看板に設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めています。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めています。	100%	0%	虐待防止を看板に設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めています。	
	53 どのような場合やじめ得ず身体的暴力を行うかについて、範囲別に決定し、こどもや保護者に常に十分に説明し了解を得た上で、性暴力支援計画に記載しているか。	100%	0%	虐待、お代替性、一時性を記載している場合にとし、身体的暴力を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド052幸手店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境 体制 整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
	1 利用定員が健常支援客等のスペースとの割合で適切であるか。	83%	17%	法令に適合し、また活動に合わせたプロセスを用意しております。		
	2 利用定員が子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配慮しております。		
	3 生活空間は、どこにもわかりやすく健常化された環境になっているか。また、事業所の設備等、障害の特性に応じ、バリエーションや備品等、施設内の設備に適切にならなっているか。	67%	33%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、廊下や、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間になっているか。	83%	17%	毎日、清掃を行なっております。環境設定に合わせても日頃から小さな話し合いを行なっております。		
事業者整備	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別で支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応しております。		
	6 美容改善を進めるためのPDCAサイクル(日報設定と振り返り)、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行なっております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を耳にし、改善できるように努めています。		
	8 職員の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を実施し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	今後、検討してみたいと思います。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	83%	17%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師をいたる研究による知識向上に力を入れております。		
	11 洋式に手帳プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で情報交換の確認、算出を行ない、公表しております。		
	12 個々にこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るよう努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの養育の困難を考慮した複数の職員が関わっているか。	100%	0%	お子さまの成長の形に合わせて、お子さまの状況の変化を考慮し複数の上、各専門職員を含む全ての職員が共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画の職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別支援などでの情報共有を行ない、計画に沿った支援を行なっております。		
適切な支援の実現	15 こどもの個別の状況や性などを、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により実施しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
	16 世帯別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「情報支援」のうち、「本人支援」のねらひ及び支援内容も盛り込まれながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	83%	17%	お子様や保護者様のご要望も盛り込まれながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員用プログラムを参考し、実施した活動に賛げられるよう工夫し設定しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	保護者が必要な場合、実施した並びプログラムに沿うる見解を行なうことで意見を交換し、工夫したり設定しております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	ご希望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別評定や集団での組み合わせ方や支援方法等を計画書に取り入れております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割を分別して対応し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	出勤時間が異なることもありますため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や団頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	21 支援終了時には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	出勤時間も同時に異なることがありますため、現職に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や団頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の文書に附記して記録をとることを徹底し、支援の証記・改善につなげているか。	100%	0%	毎回分析に附記できるように事実と意見を分けて記入するよう努めています。また、モニタリングの際は日々のアド記録を参考に次の目標を設定しております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の貞の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害相談支援事業所のサービス担当者会議を開催して連携をとる会員に、そのことの状況をよく理解しているか。	83%	17%	日頃のお子さまの状態によく理解している職員が参加できるように努めています。		
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（小児医や歯科医療機関）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	67%	33%	必要に応じて連携連携しております。		
	26 病院や病院外で定期的に開催する会員に、医療アドバイスや保健指導等を実施する際は、支度内容等の調査票と相談日程を記入しているか。	100%	0%	必要に応じて、週回する効率化や保健指導の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校や小学校などの間で、支援内容等の情報共有と相互通報を行なっているか。	83%	17%	併設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご希望があれば学校との情報共有に努めています。		
	(28~30は、センターのみ回答)					
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児青少年支援事業所等と連携を図り、対象全員の裏の裏に向ける情報等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への説明等	29 真の上の上を図るため、個別に専門室や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部評議に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける場合を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31は、事業所のみ回答)					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける場合を設けているか。	50%	17%	問題があった際には情報交換を行います。研修の場合はあれば積極的に参画させていただいております。		
	32 保育所や医療、どんぐり、幼稚園などと交換や、枚数の内でどのくらい交換する場合があるか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいているあります。		
保護者等の支援等	33 日頃からこどもの状況は保護者と伝え合いで、こどもの発達の状況や課題について共通理解を行なっているか。	100%	0%	迷宮等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていたく感じます。		
	34 家族の対応力の回復による親の見守ら、家庭に対して家庭支援プログラム「ペアレンチ・トレーニング」や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	83%	17%	事業所における訪問の際の様子を「本日の様子」として日々記録を残し、家庭への親の見守りを促進させていただけます。		
	35 運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただきます。また、ご不明点に際しては施設が説明させていただいております。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の状況や課題の考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を尊重する場合を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただきます。また、定期的なモニタリングなども通じてお子様や保護者様のご要望に沿った確認を行なっております。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら文書内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただきます。また、ご不明点に際しては施設が説明させていただいております。		
評議等の実施	38 定期的に、家庭からの子育ての悩み等に対する相談に応じて、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて対応させていただきます。		
	39 父母会の活動を実施するところに、保護者会を定期的に行なうところに、保護者会や文部省による評議会等を実施する等の本音をしているか。	17%	83%	ご要望に応じて、対応させていただいているあります。		
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備することにより、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情票を採用すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合対応窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に連絡会を実施することにより、HPやSNS等を活用することにより、活動頻度や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人面接の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に誓約書に確認し、個人情報の保護や漏洩防止を行なっております。		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より丁寧にお伝えするよう努めています。		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	今後検討してみたいと思います。		
	45 安全対応マニュアル、危険対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に基づく対応を行なっているか。	83%	17%	マニュアル等の策定を行なう。定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 安全統計計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、密出その必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	安全統計計画（BCP）の策定を行なう。定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、施設や子供相談室、まんくみん会等のこどもの状況を把握しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に把握しており、職員間で情報共有し、対応に努めています。		
評議等の実施	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の目録に基づく対応を行なっているか。	100%	0%	事務室内で一覧表を作成し職員一員で分かることなく渡しておられます。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基準を設ける等、安全計画に基づく取組を行なっているか。	100%	0%	定期的に行っております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られよう、安全計画に基づく取組について、家族等への周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありますから、並組なことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を直面共用しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 處置を防ぐため、職員の研修会を開催する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待の防止を意識するとともに、定期的な全体研修を行なっており、虐待対応に努めております。		
	53 どのような状況でのどの程度の身体拘束を行なうかについて、組織内に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、兒童免責契約書に記載しているか。	100%	0%	拘束性・多代性・一時性を適切に示す場合に限り、身体拘束を行なう場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド053鶴田FUN(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	定員が15人を超えないように、それぞれの容積で適切である点。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教諭や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を適切としております。また有資格者による支援も行うことが出来るよう配置しております。		
	3 生活空間は、こどものわかりやすさ・構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	どこに何があるということがわかりやすいよう工夫がされている点。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの適度に合わせた空間となっているか。	100%	0%	おもちゃや紙幣が落ちている場合や、掃除が必要な場所は、気づいたスタッフが掃除を行う点。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	50%	50%	心を落とさずさせるために、スタッフが声をかけ、その子供に適した環境を作っている点。		
業務改善	6 利用改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	60%	40%	スタッフの目標や振り返りが必要な月に1回、自己評価や改善の評価を書類に書き、職員が働きやすく、子供たちが過ごしやすい環境を目指している点。		
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	70%	30%	LINEで改善点等を共有している点。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	70%	30%	LINEや会議等で、業務について意見交換する等をする点。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	それぞれの委託改善にかけて、加盟店の職員が意見交換をする点。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	研修をするために、さまざまな呼びかけ等が行われている点。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	子供達に合わせたプログラムを作成されている点。		
	12 保護の子どもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	支援者と議論で、支援プログラムをどのように作成すべきか等を話し合う点。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	子供達のために、少しでも支援するために、楽しくできるものを探している点。		
	14 児童発達支援計画に職員用に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	LINE等で情報を利用している点。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを利用することによって把握しているか。	60%	40%	会話で、その子供の状況等を共有している点。		
児童発達支援計画	16 「地域支援・地域連携」の問い合わせ内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	みんなで協力するもの等を活動に入れ、その子供や家族等を支援できるプログラムを作成している点。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	90%	10%	楽を出して、子供たちが活動しやすいものをプログラムを作成している点。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	児童の活動をさまざまに組み立てながら行っている点。		
	19 こども状況に応じて、個別活動や巡回活動に合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動、集団活動を交互に行なっている点。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	LINEで共有する等を行っている点。		
団体連携や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、貢献した点等を共有しているか。	80%	20%	毎日毎日行っている点。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	文庫版でその記録を活用し、その子供にあった活動等を考えている点。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行なっている点。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発連携会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	その子供によって得られない情報を参考し、理解した者が参画している点。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	様々な連携をおこなっている点。		
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	90%	10%	情報共有を行なう点。		
	27 就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40%	60%	情報共有をし、それぞれ理解を深めている点。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への支援等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	40%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている点。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこども園活動等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	日々交流する機会を設けるように工夫しております。		
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	情報共有を行なっている点。		
児童の状況等	34 家庭の状況の内訳を踏まえながら、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	50%	50%	様々な研修や情報共有を行なっている点。		
	35 支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	それぞれに合った説明を行なっている点。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの農作物の利活用の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意見を踏まえて改善を行なっているか。	100%	0%	情報共有を行なう等、その子供や保護者の意思の尊重を行なっている点。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問題を尋ねているか。	100%	0%	支援内容をわかりやすく説明している点。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な物資や支援を行なっているか。	100%	0%	様々な方法で、その家族の悩みに対して支援を行なっている点。		
児童虐待等の対応	39 父母の子の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さうういふ同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%	兄弟等で協力して支援する等を行なっている点。		
	40 こどもや保護者からの相談に適切に応じ、対応の整理を整えるとともに、対応の相談や申入れがあった場合に沿った対応を行なっているか。	100%	0%	問題に適切に対応している点。		
	41 定期的に虐待を実行することや、SNS等を活用することにより、活動経験や行事等、性格体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	100%	0%	わかりやすい情報で、定期的に通報している点。		
	42 個別情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	名前が書かれたものは、リュックの中に入れる等、気をつけている点。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	その家庭に合わせて言葉を読み等を行なっている点。		
事業所の対応	44 事業所の対応に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	20%	80%	今後検討していきたいと思います。		
	45 家庭訪問マニフェスト、電気料金対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいたるところに実施しているか。	100%	0%	口頭で説明する、用意した等を行なっている点。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤退ルート等の訓練を行なっているか。	100%	0%	研修等を踏まえて、様々な情報共有を行なっている点。		
	47 事前に、医療や防災接種、まんかん角角等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	情報共有をし、注意喚起をしている点。		
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	呼びかけやその他の担当の担当者等を確認しながら行なっている点。		
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な監査を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	研修を行なう、適切な支援ができるよう気をつけている点。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の相談が受けられるよう、安全管理にに基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	お伝えの際にその相談をする等を行なっている点。		
	51 ピアリットを事業所内で行い、再発防止に向けた方針について検討を行っているか。	100%	0%	様々な呼びかけを行なっている点。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に研修を行い、呼びかけ等を行なっている点。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織等に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒受け扱いに記載しているか。	100%	0%	記載の仕方に気をつけながら、様々な支援を行なっている点。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。



公表

### 事業所における自己評価結果

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド058城東店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	児童等が全体が見渡せるように配置されている		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	職員等が足りるよう工夫している		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小さな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお話を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報をの検討、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し検討の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教育などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別教育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考慮し、実施した活動に則りながら工夫し設定しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せられており、支援の状況に合わせて、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等を組合せております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0%	100%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	0%	100%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員間や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に図けてまいります。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談室等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応	34 家族の立場の内にある親から親の立場から親へ、家族に対する家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援プログラム、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているため。		
	36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているため。		
	37 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語と支援を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているため。		
	38 家庭の立場の内にある親から親の立場から親へ、家族に対する家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童等への対応	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者から親の立場から親へ、家族に対する家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するこどもや、SNS等を用いることで、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めております。		
事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニュアル、定期的対応マニュアル、巡回訪問マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒の立場から親の立場から親へ、家庭に対する家庭支援を行なっているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	0%	100%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、保護者や子供接觸、まんくん角等とのこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施していくかと思います。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から親の立場から親へ、保護者や子供接觸等を実施しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではあります、並細なことで記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を直面共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止対策を設置するとともに、定期的な体制研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接觸に反映しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド060進歩店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	92%	18%	限られたスペースの中で、運動レクチャーを中心に日々考えて活動をしてます。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配定数は適切であるか。	64%	36%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生き方指導は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	73%	27%	常に健常がないことに子どもたちが集中しやすい環境になっていると思う。		
	4 生き空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	82%	18%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小さな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	91%	9%	部屋の色が違うことで落ち着きやすいや環境になっていると思います。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	82%	18%	定期的に会議を開催して話し合いで行なっております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	82%	18%	存在を知らないスタッフがほとんどです。また、会社全体での改善が必要な点があると思います。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	91%	9%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・実施改善につなげているか。	64%	36%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	73%	27%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	91%	9%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審議内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	91%	9%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	91%	9%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の立場を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	73%	27%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	91%	9%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や巡回活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会話や会話を交換し、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	91%	9%	会話時間は異なることもあるため、常に効率的かつ効率的に情報共有出来るよう、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員相談室や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話を交換し、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、改めて連携して支援を行なっているか。	73%	27%	直面時間も同様に異なることがあるため、同様に効率的かつ効率的に情報共有出来るよう、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	82%	18%	定期的に分析できるように実施し見直しを実施するか、また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91%	9%	毎日のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	73%	27%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員相談室や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	82%	18%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を行なっております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	55%	36%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	55%	45%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去数年間の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童相談室等の運営等	34 家族の立場の内見を頂く親御さんからお話を頂く際は、家族に対する理解等を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	64%	36%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々報告を実施し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑張っております。		
	35 支援相談室、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要望に沿ってご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童虐待等の対応	39 父母の間の抗争を把握することや、保護者同士で交渉する機会を設ける等の支援をしているか。	27%	73%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者の立場を把握することや、保護者同士で交渉する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に虐待を実施する立場や、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する対応を行なっているか。	82%	18%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
安全管理等の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	27%	73%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち会う機会を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 実務訓練計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	実務訓練計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、保護者や防犯接觸、まんくん角等との状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施しているか。	91%	9%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事業集団でもヒヤリハットを記載してあります。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修機会を設けるとともに、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、危険対応計画に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド061つくば店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33%	67%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	教育や保育資格のある職員を配置して、児童整序による支援等により対応してあります。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	33%	67%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	33%	67%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	67%	33%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	33%	67%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	67%	33%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	67%	33%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審議内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	67%	33%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『家庭支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	67%	33%	毎月職員間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せられており、支援の状況に合わせて、支援が行われているか。	67%	33%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等を取扱い入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	33%	67%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会話を共有しているか。	33%	67%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	67%	33%	日頃のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員間や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	67%	33%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33%	67%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	33%	67%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	67%	33%	迷惑等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童発達支援計画	34 家族の立場からこどもの状況を保護者と伝え合い、家族の立場からこどもの状況を把握する機会等を行なっているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に応じて適切、ご相談に応じております。		
保護者への対応	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場からこどもの状況を把握する機会を設けているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に保護者会を開催するなど、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	67%	33%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニュアル、定期的対応マニュアル、巡回訪問マニュアル、巡回対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒の立場から機会を実施しているか。	33%	67%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	67%	33%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応されているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から機会を設け、安全計画に基づく内容について、児童生徒等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	67%	33%	事業所内にヒヤリハットを記載しておき、定期的に検討を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するとともに、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド063竹林店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	死角を作らず、職員や児童の動線、プレイスペースなどの確保など適切にし、見やすい環境を整えている		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	適切時間における人員配置には苦心するが、無駄配置は適切。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	0%	100%	トイレには改善があり、玄関にも改善があり、また廊下が開けたため、開閉空間には危険を伴すため、黄色いラインテープで注意喚起している。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	こまめな掃除と、危険なもののは基本的に子どもの手に触れないよう配慮している。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	便器がすぐれない場合、気持ちは落ち込まない時など、いつでも使えるようになっている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	共有できる進捗ツールを使用し、いつでも閲覧できる機能を整えて情報共有している。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0%	100%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	会話を大事にしながら、今何がしたいのかを確認し、一緒に考えながら、時には意見を素直に取り入れながら、働きやすい環境に勤めている。		
	9 第三者との外部評議会を行い、評議会結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	外部評議会については、他の事業所や商店街グート(じゆうがい)の情報交換や交流の中で客観的に店舗との相違や改善点などを提案、吸収し、取り入れができるところは積極的に取り入れている。		
	10 職員の便益の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修を実施し、研修内容を研修会に伝授に活かすことを心がけている。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	施設内で情報共有ツールを使用している。		
	12 保護者ごとに適切にアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的にアセスメントを実施し、児童状況に応じて適度なアセスメントを見直している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	児童達と関わる職会は積極的に説明、仕職は児童に関する支援について具体的に伝えていている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	定期的に今何をしているかを閲覧できるようことで、すべての職員が想ねれない支援方法で介入できることができる。		
	15 こどもの活動や行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により評議しているか。	100%	0%	評議スケールを用いて定期的に評議実施している。		
児童発達支援計画	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『家庭支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	適切に支援内容を記載している。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	意見出し合って、必要なことを抽出している。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動担当を変えることで、担当の持ち味を活かした活動の提供を行うことができている。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	学習内容と実生活を常に実施してもらっている。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	手帳が必要なものに関しては、当日だけでなく、数ヶ月前から準備を怠らぬ形で実施して取り組んでいます。		
障害児相談支援事業所	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その後行われる支援の振り返りを行い、会話をした点を共有しているか。	100%	0%	児童の様子を振り返りながら、今後の支援や対応について話し合っている。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めているか。	100%	0%	日々の状況やアプローチに記録で残し、経験を見ている。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようしております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
利用者や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、通過する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご希望があれば学校との情報共有をさせていただきます。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
児童の児童発達支援センターとの連携	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただったり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力で実現しております。		
保護者への対応	34 家族の立場の内にある親から親まで、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	0%	100%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の疎み、こどもの収容の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の趣向を踏まえながら作成しているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を踏まえているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な相談に応じております。		
保護者への対応等	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	40 こどもや保護者からの意見を反映するなどして、対応の評議会を定期的に行なうなどして、対応の評議会を定期的に行なうなどして、対応の評議会を定期的に行なっているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい状況を整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するなどや、SNS等を用いることで、活動結果や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疎みや保護者との意見の疎みや情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所の対応	44 事業所の対応に地域住民を対象とする等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。		
	45 保護者マニフェスト、電気料金対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで確認しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行っているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等からの指摘が認められよう、安全計画に基づく対応内容について、職員等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業所でもヒヤリハットを認識するとともに、定期的なヒヤリハットを行なっております。また、出事事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止委員会を設置するとともに、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護にに配慮しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行っております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド064柏の葉店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援率のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	十分な広さがあり、また個別の対応もできるような教室が実施されている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	実施、決められている人数以上で職員が配置されている。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害考慮、衛生上の配慮が適切になっているか。	88%	13%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清掃は毎日+度行なっている		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	88%	13%	個別対応できる部屋が複数ある。		
環境・体制整備	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	定期的に会議を開催して話し合いを行なっております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	88%	13%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるように努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	会社での話し合いは難しいが、毎々意見を伝えて取り入れながら全体で動いている職員もしくは部長、管理者をして改善されている		
	9 第三者による外部評議を行なう評議会実施を実施改善につなげているか。	88%	13%	今後、検討していきたいと思います。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月1~2回ほど、ZOOM等を利用しての研修があり、特に参議したいものには優先的に参加できています		
	11 運用に反映プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	全職員がいつでも開発できる状況である		
	12 保護者ごとにごとにアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	児童だけに限らず、各部門等の意見を反映して作ってくださっている		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの改善の効果を考慮し検討の上、児童発達支援計画を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により検討しているか。	100%	0%	毎回改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
適切な支援の提供	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様を保護者様のご要望も踏まえながら、児童の成長に必要な支援の内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	専用時間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てるよう工夫しておこなっています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	プログラムに計画する職員が毎日も行っており、その職員のカーラーが反映されているレクリエーションレンジャー作成を数人で行なっている。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動で適切に支援を行なっており、支援の手帳を共有しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や巡回活動での取り扱いや支援方法等を参考に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、手帳の内容や支援方針について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	88%	13%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した手帳を共有しているか。	63%	38%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し意見をかけて記録するように努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。		
障害児相談支援事業所との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保健所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保健所の方との情報共有を行なっております。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努めています。		
	(28~30)センターやみどり園					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	50%	38%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡、ハグを通してお伝えしている		
保護者への対応等	34 家庭の立場の内山を頂る親類から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	65%	35%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要件の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの発達の順次考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見も継続して取り扱っているか。	100%	0%	ご要件の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要件の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要件に応じて適切、相談に応じております。		
	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要件に応じて、対応させていただいている。		
	40 こどもや保護者の立場からお困りについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にて相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する開示を行なっているか。	68%	13%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごにについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
お客様等との対応等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	65%	35%	今後検討していくかと思います。		
	45 連絡体制やマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生生活における訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんくら角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応を努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の皆さまに基づく対応がされているか。	88%	13%	食物アレルギーに関しては家族を通じて把握しており、家族の意向に沿って対応している。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施している。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の立場で確認されよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事例集ではあります、並経なことで記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を直面有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止委員会を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織等に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、荒差し対応等に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド065岡見店(パーク)				公表日	2025年10月31日	
		チェック項目				改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	教職員に職員の負担を軽くようにするなど、省スペースを心がけている。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮数は適切であるか。	50%	50%	教職員や保護者資格のある職員を配置して、人員整備を適切としております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配慮しております。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ガラスにクレタントを張り付けて、衝撃を緩和、斜面設置などの工夫をしています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清潔については即ち、質ともに気を付けている。			
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	50%	50%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	その都度話し合っている。			
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員会議で共有をまわしている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。			
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していかたいと思います。			
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修や研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。			
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	職員の専門分野を生かした支援プログラムを組んでいます。			
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	職員で会議会を行い、その都度情報を共有している。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの権利の保護を考慮し検討の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員会議などで情報共有を共有している。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	毎回児童の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。			
児童発達支援計画	16 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。			
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	50%	50%	毎月職員会でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めております。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別に応じて実施する方法等を参考に取り入れております。			
	20 支援開始時には職員会で会員登録を行い、その会員登録の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	話し合い、役割分担を決めて、行なっている。			
職員研修や保護者との連携	21 支援終了時には、職員会で必ず会合を行なう。その会合で実施する内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	直前の問題も同時に異なることがあるため、同様に効率的に行なうよう、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。			
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	コミュニケーションをよりとれるよう心がけている。			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開設会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎回お子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。			
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携を実施しております。			
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保健所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	必要に応じて、連携する各種機関の方との情報共有を行なっております。			
	27 教学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	教学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。			
	28 (28~30)、センターのみ回答						
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)			
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)			
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)			
	(31)、事務所のみ回答						
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。			
	32 保健所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいている。			
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者と日常の間に情報共有を有している。			
保護者への対応等	34 家族の立場の内でも頂く親頼者から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。			
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に際しては施設ごとに説明させていただいている。			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家族の意見も聞き取らせて顶いているか。	100%	0%	子供の、権利の立場と家族の立場の両方を尊重するには、難しいが大切にしたいと思う。			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に際しては施設ごとに説明させていただいている。			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な訪問や支援を行なっているか。	100%	0%	モニタリングに時間をかけています。			
児童等の対応	39 父母等の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	父子レクリエーションを開催している。			
	40 こどもや保護者からの相談の中入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	児童相談所などまでに連携をとっている。			
	41 定期的に活動を実施するこどもやSNS等を活用することにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。			
	42 個別情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	職員会議などでの職員への周知、個人情報の入っているキャビネットへの施錠			
	43 保護されるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	50%	50%	より円滑にお伝えするよう努めています。			
事業所の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。			
	45 救急時対応マニュアル、電気的対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち替りで実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。			
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。			
	47 事前に、施設や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対策に努めています。			
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。			
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%	職員会議でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。			
	51 ピアリットを事業所内に設置し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	職員会議で報告、対策を練っている。			
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	オリジナルのマニュアルを作成している。			
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、危険度差別化に記載しているか。	100%	0%	職員会議で話し合い、共有し、時を跨てご家族への説明を行う。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド066上大久保店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	98%	14%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	71%	29%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序を進めております。また有資格者による支援も行なうことが出来るように対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
事業改善	6 実績改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	パート職員や次席として会議に参加していない職員にノートで共有している		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実績改善につなげているか。	86%	14%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実績改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童接觸の実習、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・実績改善につなげているか。	29%	71%	今後、検討していかなければなりません。		
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	71%	29%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	86%	14%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審議内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	86%	14%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	毎回の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。		
児童発達支援計画	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等の上記より選択して、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	86%	14%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せられており、支援の状況に合わせて、個別活動や団体活動での限りで支援を行なっているか。	86%	14%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や団体活動での限りで支援を行なうよう努めております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	会話時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
連携や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、烹いたためを共有しているか。	86%	14%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し見直しを行なうよう努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 連携や相談支援事業所のサービス担当者会議や連絡会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎回の点検会議にて確認を行なっております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	必要に応じて適宜連携しております。		
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	86%	14%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の情報の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30)、センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させてもらっているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	31 (3)は、事業所のみ回答					
	32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	43%	14%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	33 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会を設けているか。	71%	29%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	34 家族の立場の内にいる親類からお世話をして貰う。家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	迷惑の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただいているためです。		
児童虐待等の対応	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	86%	14%	ご要約の際に説明させていただいている。また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行なっているか。	86%	14%	ご要約の際に説明させていただいている。また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただいている。また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	86%	14%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	43%	57%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
児童虐待等の対応	40 こどもや保護者の立場からお世話をして貰う。家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう構えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に虐待を実行する者や、SNS等を用いることで、相談や申入れがあった場合に虐待を防ぐための対応を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発表し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	14%	86%	今後検討していくかと思います。		
安全管理等の対応	45 家庭暴力マニフェスト、電気棒対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで確認しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 安全統計計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	安全統計計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	86%	14%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施する等、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
安全管理等の対応	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場で確認されよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	86%	14%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではあります、並細なことで記入をして、事業所のヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド067古河店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配定数は適切であるか。	100%	0%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行ってあります。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4	生年空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。	
事業改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7	保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。	
	10	職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11	遅刻に反映プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの改善の効果を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。	
定期的に評議会を開催	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員用プログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。	
	19	こども状況に応じて、個別活動や班活動で適切に組合せられており、支援の必要性を判断し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や班活動での限りやり方や支援方法等を斟酌してあります。	
	20	支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その進行する支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間は異なることもありますから、専門的支援を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
職員間や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点を共有しているか。	100%	0%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的支援を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	審査時に分析できるように実際に見直しをかけて記録するように努めております。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
定期的に評議会を開催	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する専門機関や保護者の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28	(28~30)、センターのみ回答				
	29	地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じて連携を図っているか。	100%	0%	(センターではないため回答なし)	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	31	(3)は、事業所のみ回答				
	32	対応の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対応のゆとりを確保しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	34	家庭の立場からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	迷惑等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく努力を続けております。	
	35	支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
定期的に評議会を開催	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する等を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。	
	39	父母の立場の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40	こどもや保護者からの立場から入れ替わりに、対応の型を整備しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
保護者への対応等	41	定期的に連絡を取ることや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取り扱いを行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り扱いを行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。	
	43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。	
	45	家庭訪問マニフェスト、電気郵便マニュアル、電気郵便マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が安心して通園できるよう実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。	
定期的に評議会を開催	46	業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常に改善の進みを図り、定期的に研修、出前等による必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっております。	
	47	事前に、面接や予防接種、まんくら角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家庭等からの問い合わせ回答のよう、安全計画に基づく内容について、児童生徒へ周知するとともに、児童生徒が安心して通園できるよう実施しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行っております。	
定期的に評議会を開催	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行っているか。	100%	0%	事業集団ではヒヤリハットを共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52	虐待防止等のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止等のため、職員の研修等を行なっております。	
	53	どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は結果を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド068伊勢店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮数は適切であるか。	91%	9%	教育や保健士資格のある職員を配置して、児童全員による支援を行なうように対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善に反映しているか。	91%	9%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を実施改善に反映しているか。	64%	36%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	91%	9%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	91%	9%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援職を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での限りなくや支援方法を参考に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会話時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や図表によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、烹いたためを共有しているか。	100%	0%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や図表によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	9%	必要に応じて適宜連携しております。		
利用者への対応	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定こども園)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31): 事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	18%	18%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を監督する機会があるか。	64%	36%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童虐待への対応	34 家族の立場の内にある親から見ると親から見ると、家族に対する支援を行なうか。家族に対する支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	91%	9%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家族の意見を聞き取る等を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
安全管理	39 父母の立場の児童を保護することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	45%	55%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者からの立場の内にある親から見ると親から見ると、家族に対する支援を行なうか。家族に対する支援を行なう場合に添付資料等を提出しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に虐待を実行する者や、SNS等を用いることで、相談や申入れがあった場合に虐待を実行する者や、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する対応を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
安全管理等の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	18%	82%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭暴力マニフェスト、電気泳動マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の内にある親から見ると親から見ると、保護者等に周知しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 実務訓練計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	82%	18%	実務訓練計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	91%	9%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応されているか。	91%	9%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施しているか。	100%	0%	定期的に実行しているため、実施に努めています。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の内にある親から見ると親から見ると、安全計画に基づく取組内容について、要領等へ周知しているか。	73%	27%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	73%	27%	事業所でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

六

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド069川越店(パーク)				公表日	2025年10月31日
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制・機器	利用登録が発達支援家庭等のスペースとの連携で適切であるか。	78%	22%	区分された部屋を利用して工夫はしていると思います		
	利用定員や子どもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員配置を適切にしています。また有資格者による支援も行なうことが出来ています。		
	生活空間は、これによりよりすぐり適応された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や個別配置等、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	椅子やテーブルのサイズなど工夫されている		
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を利用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	不適時や体調不良時等は個別で対応できている		
	美術改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く発展が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行なっております。		
	保護者向け評議表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	78%	22%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めています。		
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めています。		
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	89%	11%	今後、検討してみたいと思います。		
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師をいたる研修による知識向上に力を入れております。		
業務改善の実績	適切な女性プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー抜粋版、スマートフォン専用内容の確認、検討を行ない、公表しております。		
	個々のこどもに対してアセスメントを適切にし、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めています。		
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者がだけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの養育の責任を考慮しているか。	89%	11%	お子さまの成長の度合いを踏まえ、お子さまの養育の責任を考慮した計画の上、非常に職員を巻き込む全ての職員が共通理解ができる様、情報共有しております。		
	児童発達支援計画が職員用に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	お子さまのご利用の際の個別指導などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントと、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントと併用する等により判断しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの適応の状態の参考として活用しております。		
	「相談登録表・相談記録表」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な情報が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のこだわりを踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	89%	11%	スタッフがそれぞれ意見を出し合って決めています。		
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムによるよき見出しを行ったり、工夫したりしております。		
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	こどもに応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別計画や集団での組み合わせり方や支援方法等を計画書に取り入れております。		
	支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼を行なっている		
個別指導や保護者との連携	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	89%	11%	個々の反応点の共有やLINEを活用し共有している		
	日々の文面に記載で記録をとることを徹底し、文面の記録・改善につなげているか。	89%	11%	監視的に記録できるように率直と意見を分けて記入するように努めています。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、満足の見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、満足の見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況をよく理解している職員が参加できるように努めています。		
	障害分析診断事業所のサービス担当者は保護者情報と会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状況をよく理解している職員が参加できるように努めています。		
	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。		
	所行利用や移動に向けた支援を行なうなど、インクルージョン・障害の範囲から範囲まで支援を行なっているか。また、その際、保健所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校などの機関との連携、支援内容の情報交換などを実施しているか。	100%	0%	必要に応じて、適度な会議や保護者の方との情報共有を行なっております。		
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等デイサービス事業所との連携と共に図りながら、こだわりがわは校との連携と共に図っています。		
	(28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターへ障害児適応支援事業者等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者との連携	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部部に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31は、事業所のみ回答)					
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	89%	0%	初期があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。		
	保健所や認定こども園、幼稚園等との交流や、社会の中でのこどもと活動する機会があるか。	44%	56%	こどもに応じて、対応させていただいております。		
	日頃からこどもの状況を保護者と伝て会合で、こどもの状況(状況や問題)について連絡を持つ機会を持つているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく事で連絡が取れるよう努めています。		
	家庭での対応力の向上を図る親睦から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング会)や家庭学の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々連絡を取り、家庭での対応力の向上を図っています。		
	定期的に保護者会を開催することにより、保護者会員を増加する等により、保護者会員が活動する機会を設けているか。	100%	0%	こどもの状況をよく理解している保護者が参加できるように努めています。		
	保護者会の活動を主導する等により、保護者会員を増加する等により、保護者会員が活動する機会を設けているか。	33%	67%	こどもの状況をよく理解している保護者が参加できるように努めています。		
保護者への説明等	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもの養育の権利を考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもの養育の権利を考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行なう。保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適応に応じ、面談や必要な相談と支援を行なっているか。	100%	0%	こどもの状況に応じて、相談に応じております。		
	就学前の会員登録を実施することにより、保護者会員を増加する等により、保護者会員が活動する機会を設けているか。	33%	67%	こどもの状況に応じて、対応させていただいている。		
	定期的に、保護者会員が活動する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	定期的に、保護者会員が活動する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	定期的に、保護者会員が活動する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	定期的に、保護者会員が活動する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
	定期的に、保護者会員が活動する機会を設けているか。	100%	0%	定期的に開催していただきたいと思います。		
会員等の支援等	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を設置し、職員や医療等に周知するとともに、児童生を対応した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	事故統計計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、曳出その必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	事故統計計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	事前に、施設や子供預け、でんきや家庭作業等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めています。		
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事務所内で一覧表を作成し職員一員で分かることを工夫しております。		
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基準を設置する等、安全計画に基づく取組を行なっているか。	100%	0%	定期的に開催してております。		
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組について、家族等への周知しているか。	100%	0%	定期的に開催しており、対応に努めています。		
	定期的に、施設や子供預け、でんきや家庭作業等のこどもの状況について、対応が行われているか。	100%	0%	定期的に開催しており、対応に努めています。		
	虐待防止を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっております。		
	虐待等の対応を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	虐待等の対応を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっております。		
	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	LINEで共有		
その他等の支援等	虐待等の対応を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	虐待等の対応を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっております。		
	どのような対応で、どのくらいの頻度で、組織内に検討を行なうとともに、定期的な全体研修を行なう。	100%	0%	定期的・多角的・一貫性をもつて検討を行なう場合に検討を行なっております。		
	虐待等の対応を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	虐待等の対応を行なうため、職員の研修会等を開催する等、適切な対応を行なっております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

### 事業所における自己評価結果

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド071南浦和店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童全員を適切に見ております。また有資格者による支援も行うことが出来るよう配慮しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	専用の配置等で工夫あり		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	子供の危険となる物は適切な位置に配置し、常に子供が過ごしやすいよう配置をしている		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	88%	13%	お子さまの状況に合わせて個別の支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
事業改善	6 実績改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	88%	13%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	88%	13%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	63%	38%	今後、継続していかなければなりません。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	88%	13%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するよう努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	88%	13%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	88%	13%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等を明確に示すための文書が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫して実施しております。		
	18 活動プログラムが定型化しているか工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や班活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や班活動での取り扱いや支援方法等を取扱い入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会話を含めて行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	出勤時間は異なることもありますから、専門的知識によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、貢献した会話を共有しているか。	75%	25%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的知識によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、文部省の認証・改善に応じているか。	88%	13%	定期的に分析できるように実施し見直しを実施する、また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月の点検会議にて職員会議で会話を含めて行い、専門的知識によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。		
定期的に評議会を開催	26 所有利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育評議の修習には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31): 事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	75%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応等	34 家庭の点心の内山を頂る親頃から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切なコミュニケーション等で対応させていただいているためです。		
児童等への対応等	39 父母の間の活動を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	62%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者からの意見を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
児童等への対応等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	25%	75%	今後検討していくかと思います。		
	45 保護者マニフェスト、電気郵便マニュアル、電気郵便マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいた場合に実施しているか。	88%	13%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常に改善の為に備え、定期的に研修、会議等へ用意な研修を行っているか。	100%	0%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	75%	25%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応されているか。	88%	13%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が図られるよう、安全計画に基づく内容について、児童等へ用意しているか。	88%	13%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	75%	25%	事業所でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行っております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	88%	13%	初回・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は結果を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド073本店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	63%	38%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援を行うことが出来るように対応しております。		
	3 生活室は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になっているか。	75%	25%	運動と学習などのスペースがわかりやすく構成化されている		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小さな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	88%	13%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	63%	38%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	88%	13%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	88%	13%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『家庭支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等の上記より選択して行われる』の上での実施が適切に認定され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	88%	13%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	88%	13%	毎月職員間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等を参考に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その実行される支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	38%	63%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者等を共有しているか。	63%	38%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し見直しを実施する、また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めしております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員間や保護者との連携	26 所内利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育旅行の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	小学校などからご希望がある場合共有している		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターへ障害児介護所支援センター等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るに、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	63%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応	34 家族の立場の内見を頂る親御さんから、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援プログラム、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただけて説明させていただいている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただけて説明させていただいている		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただけて説明させていただいている		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な、相談に応じております。		
児童等等の対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	13%	88%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	40 こどもや保護者の立場からお伝えしていくか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する開示をしているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごつについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
本質的等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	13%	88%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニュアル、定期的対応マニュアル、巡回訪問マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒の立場から情報を実施しているか。	75%	25%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	88%	13%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	88%	13%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施し等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から認知されよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	75%	25%	事業所でもヒヤリハットを共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を設けております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド075柏店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	なるべく児童が使う物は置かない		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮数は適切であるか。	67%	33%	教員や保育資格のある職員を配置して、人員整備を適切としております。また有資格者による支援も行うことが出来るよう配慮しております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害考慮、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	67%	33%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	定期的にミーティングやカンファレンスがある		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の研修の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成・公表されているか。	100%	0%	職員が共有して前一歩ある支援を行っている		
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るよう努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
児童発達支援計画	16 「地域支援・地域連携」のならびに支援内容等の充実化が図られているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチーム化を行っているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レクリエーションに配慮している		
	19 こども状況に応じて、個別活動や班活動で児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や班活動での取り組みや支援方法等を計画に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会合を行い、その会に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会員情報等に異なることもあるため、同様に効率的で効率的で支援が出来ますよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
団体連携や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会員等を共有しているか。	100%	0%	直前情報も同様に異なることがあるため、同様に効率的で効率的で支援が出来ますよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し意見をかけて記録に記入するよう努めております。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月の点検会議の形態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。		
	27 就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に配慮しております。		
	(28~30)センターのみ回答					
	28 地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会を設けているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	ご自身で図面での様子など用意している		
保護者への対応等	34 家庭の内での内斗を抑える観点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切、相手に応じております。		
児童発達支援計画	39 父母の間の活動を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	40 こどもや保護者からの内斗を抑える観点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を活用することにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めております。		
事業所の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	67%	33%	今後検討していくかと思います。		
	45 保護者マニフェスト、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が安心して学ぶ環境を実現しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等とのこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の保護者に図示されよう、安全計画に基づく内容について、児童生徒へ周知するとともに、児童生徒が安心して学ぶ環境を実現しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。		
	51 ピアリットを事業所内に設置し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	カンファレンスで共有している		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	事故防止委員会を設置することで、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざと身体拘束を行うかについて、組織的に定めし、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒を保護するに配慮しているか。	100%	0%	やむなく拘束が伴う場合は、合意受ける		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド076西城南店PLUS(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・設備・体制整備	1 利用実績が免査支援室等のスペースとの隣接で適切であるか。	45%	55%	法令に遵守し、また活動に合わせたフローをご用意しております。	
	2 利用定員や子どもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。	45%	55%	教員や保健士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や音 韻伝達等、環境上の配慮が良いになっているか。	64%	36%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4 生活空間は、清潔で、おもく適切な設備になっているか。また、ごみも適の状況に合わせた空間となっているか。	82%	18%	毎日、清掃を行なっております。衛生規定に従っても日清から小まめな話し合いを行なっております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	91%	9%	個別療育を行う小さな個室を活用しております。	
業務改善	6 乗務改善を進めるためのPDCAサイクル目標設定と振り返りにより、広く職員が参画しているか。	91%	9%	月に定期的な会議を行なっております。 会議は定期的に行なう。声をかけ合うようにしております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を乗務改善につなげているか。	91%	9%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善ができるよう努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を乗務改善につなげているか。	100%	0%	管理を中心とした、気づいた所見や感想があつた際には添付に改善する機会が設けられていますと感じている 意見をも含むる機会で意見を聞くを実施特徴に心がけている 制度、LINEなどで意見を出しやすく反響させております。	
	9 第三者による外部評議を行い、評議結果を乗務改善につなげているか。	73%	27%	改善することができる場合、改善時間でできるよう配慮してくれる。	
	10 職員の貴重の向上を図るために、研修を受ける機会や法人内研修で研修を受ける機会が確保されているか。	91%	9%	研修がある場合、改善時間でできるよう配慮してくれる。	
	11 清潔に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	それぞの初期フレームから見れる。	
	12 保護者のごとに针对てアセスメントを適にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を実際的に分析した上で、児童発達支援計画を作成して いるか。	100%	0%	アセスメントを行なう。さらに保護者さまから意見やおさまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13 児童発達支援計画の実施に共感され、計画に沿った実施が行われているか。	100%	0%	毎日のハガキやケア記録も合わせて共感している。	
	14 児童発達支援計画の実施に共感され、計画に沿った実施が行われているか。	100%	0%	ケア記録や会議で児童の状況の情報共有をしております。	
	15 こどもが活動行動の特徴を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセ スメントで把握するよう意識しているか。	100%	0%	LINEで共有されている。	
透明的な文書の提供	16 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの親者の 利益を考慮した具体的な実施が行われているか。	100%	0%	お子様や保護者のご意見も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	82%	18%	毎月機会開催プログラムを実施し、充実した活動に努めらるよう工夫し実施しております。	
	18 活動プログラムが定期化しないよう工夫しているか。	100%	0%	工夫していると思う。一部個別療育、工作、大運動、運動、浴衣遊び、季節のレク等色々活動を行なっていると思う。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お見通しに応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団での関わり方や支援方法等を計画に取り入れております。	
	20 支援開始前に施設利用やめで合せを行い、その日行なわれる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっている か。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	82%	18%	連携時間も個別に異なることがあるため、同様に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22 日々の文書に記入して記録をとることを徹底し、文書の整理・改善に努めているか。	100%	0%	監督に分析できるように実事と意見を記入で記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の共通の必要性に応じ、運営の適切性を評価しているか。	100%	0%	お子さまが状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との面会に、そのこどもの状況よく理解した者が参画しているか。	100%	0%	先発見、パートなど役割だけでなく、運営に詳しいスタッフや評議しているスタッフが情報交換の場に参加したりもする。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害相談、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	82%	18%	必要に応じて連携して取り組んでおります。	
団体や保護者との連携	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、保育園の教員や担任教諭との間で、支援内容等の情報共有と相互通報を行なっているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員との連携が持ててあります。	
	27 財務料の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	82%	18%	併設する幼稚園等でサービスと連携して情報共有を図りながら、お見通しがある学校との連携が図ててあります。	
	28 (29~30は、センターのみ回答)				
	29 地域の児童発達支援センターへ障害者通所支援事業所と連携を図り、地域全体の発達向上に貢献する活動等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	30 貢献の向上を図るため、個別化に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部講習に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
	31 (31は、事業所のみ回答)				
	32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	55%	18%	問題があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。	
	33 保護者に認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもの活動する機会があるか。	36%	64%	お見通しに応じて、対応させていただいている。	
	34 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持つているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていたいたい。電子掲示板による記録を提供させていただく事で共通理解が持てるように努めています。	
	35 保護者の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して実施支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただいまた、ご不満点に際しては説明させていただいている。	
保護者への説明等	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもの親の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の負担を考慮する機会を設けています。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただいまた、ご不満点に際しては説明させていただいている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を以て、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただいまた、ご不満点に際しては説明させていただいている。	
	38 定期的に、家庭等からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	お見通しに応じて適切、ご相談に応じております。	
	39 公開の会議で意見を発表することや、保護者会議等を頻繁に開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	55%	45%	お見通しに応じて、対応させていただいている。	
	40 こどもや保護者からの意見等に対する相談に適切に応じ、対応の手数を整えるとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所ごとに相談しやすく内窓口は、会員登録窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に通報物を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動経験や行事等、施設利用の情報をこどもや保護者に以てして対応しているか。	91%	9%	月次ごとに活動を発信し、活動の様子や行事などを記載してご確認いただける取り組みを行なっております。	
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。	
	43 障害のあるこどもや保護者の意見の認取や障害伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より清潔なお伝え出来るように努めています。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	45%	55%	今後検討してみたいと思います。	
	45 事務的不躊躇、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を定期的に訓練しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
非常時等の対応	46 実施経緯計画（BCP）を策定することに、非常事態に発生し、定期的に避難、避難の訓練等を行なっているか。	100%	0%	実施経緯計画（BCP）の策定を行なっております。	
	47 事前に、薬葉や予防接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員同様に情報を共有し、対応に努めています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の指導書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な指導を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行なっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られているよう、安全計画に基づく取組内容について、家庭等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有をしながら、必要に応じて対応を行なっております。	
	51 ピアリットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業所ではありませんが、並びなことでも記入をし、事業所でピアリット（インシデント）を譲り受けております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52 健康を防ぐため、職員の研修機会を設ける等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置することで、定期的な全体制研修を行ない、虐待防止に努めております。	
	53 よりよくなじみにやわらか身体的行為を行うについて、医師の指導書に基づいて対応しているか。	100%	0%	切れ性・柔軟性・一貫性をもって対応している場合とし、身体的行為を行なった場合には記録を行なっております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド077新伊勢店(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
面接・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	常に児童から目を離さないようにしている。 座席などによる障害がなかったり、個室になる座席が少なかったりする中でもプロロッカーやベビーゲートなどで切り、荷物が置けるようにすることで工夫しているのが良い。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	教育や保育士資格のある職員を配置して、人件基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。	
	3 生活空間は、どこにもわからやすく構造化された環境になっているか。また、施設の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報表示等、環境の配慮が適切な状況になっているか。	83%	17%	児童の写真等を提示して童謡説出出来るようしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	子育後の便う石の設置・消毒を定期的に行している。 毎日の朝、エココンフォルターチェアなどできることはしている。 毎日の朝、環境美化などの清掃がなされている。	
	5 必要に応じて、子どもの個別の個室や専用を使用することができられる環境になっているか。	83%	17%	落ち着いた環境で話すことで子育てに活用できる工夫を等をしている。	
業務改善	6 保育改善を進めるためのPOCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	毎月改善目標を目標達成している。継続的で且つやすい環境作りが出来ていると思います。 1日の終わりに、振り返りを行ふようになり、職員間の共通理解が出来たようになります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	会員LINEで共有して日々の目標として働けていると思う。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の振り返りで意見を言える環境は出来ていると思う。全体LINEで共有している。 朝や振り返りを毎日行うことで出来ていると感じています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していくといいます。	
	10 職員の支持の向上を図るために、研修を受講する機会や内定修習を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れてあります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作り、公表されているか。	83%	17%	会員LINEで共有している。	
	12 保護者のごとに応じてアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を実機的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングや単位の様子を全職員に周知し、共通理解している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門職者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの権利の利益を考慮した機会が行われているか。	83%	17%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの最適の利益を考慮し検討の上、非常に柔軟な職員が共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画(月間計画)と共に、評議に沿った支援が行われているか。	83%	17%	会員LINEで共有している。日々の振り返りで既に必要な事と注意点などを追加して共有出来ている。	
	15 こどもの適切な活動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いる事によるよう適応しているか。	83%	17%	園庭育児の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの成長の状態の参考として活用しております。	
児童発達支援計画	16 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の実現すべき支援」、「本人支援」、「職員支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な機会が適切に設けられ、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様や保護者のご希望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17 送迎プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	プログラムの内容が偏らないよう、参加に合ったものになるよう工夫している。	
	18 送迎プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	レクリエーションを組み合わせないように工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	こどもの状況に応じ、また、お子様の状況を踏まえさせて、個別化や集団での関わるカタや支援方法を計画に取り入れてあります。	
	20 光輝開始前には、職員間で必ず合せを行い、その日行われる支援の内容や段階分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	連絡も同時に異なることがあるため、同時に実施職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
連絡体制	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その後行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	連絡も同時に異なることがあるため、同時に実施職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22 日々の支援に際して情報をとることを徹底し、支援の特徴・改善に努めているか。	67%	33%	客観的に分析できるように実績と意見を記録して記入するように努めています。また、モニタリングの際は日々の記録を参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24 職員が相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日次のお子さまの状況をよく理解して実施職員が参加できるよう努めています。	
	25 地域の保健・医療（主治医や歯科医師等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	必要に応じて適度連携してしております。	
施設外発達支援者との連携	26 併行利用や訪問に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別養護老人ホーム等との間で、支障内容の連携や共通理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、派遣する幼稚園や特別養護老人ホームの方との情報共有を行なっております。	
	27 伝説的行為の際の際には、小学校や特別支援学校(小部屋)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	伝説的行為の際には、情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に割りでまいります。	
	(2)~(3)は、センターのみ回答				
	28 地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(3)は、事業所のみ回答				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	50%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でのこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	こどもの状況に応じて、対応させていただいている。	
	33 父母からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っています。	100%	0%	送迎の際にお子さまの様子をお伝えさせていたり、両親連絡による情報交換を行なっております。	
児童発達支援計画	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行なっているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑張ってお伝えしております。	
	35 連絡規則、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明なに際しては随時ご説明させていただいている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意のまま、こどもの最適の利用の優先考慮の観点を踏まえて、こどもが家庭の意のままに構成されるよう設計しているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的に見直しては随時ご説明させていただいている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明なに際しては随時ご説明させていただいている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	hugや話し合い等で相談等に適切に応じている。	
扶養料等の対応	39 父母の介助行動を促すことや、保護会合等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった形式で次回の会を開催する等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいている。	
	40 こどもが保護者からの相談や連絡等を受けた際に、対応の体制を整えるとともに、こどもが保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所ご相談しやすい内容は、終日受付窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に講習等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動規則や行事予定、諸々体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてお伝えいただける取り組みを行なっております。	
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や適切な取扱いに力を入れております。	
	43 保護のあらゆるこどもや保護者の意のままや情報共有のための配慮をしているか。	100%	0%	保護のあらゆるこどもや保護者の意のままや情報共有のための配慮をしている。	
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	今後検討していくといいます。	
	45 緊急防災マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、食生活や感染症等の状況を実施しているか。	67%	33%	マニュアル等の策定を行なって、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
	46 家業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に検証や訓練を行なっているか。	67%	33%	業務継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。	
	47 事務に、感染や手洗い、専らん丸洗等のこどもの状況を確認しているか。	83%	17%	郵便でしている事務や時間等を会員LINEで共有している。	
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況に基づいて、医師の指示書に基づく対応を行っているか。	83%	17%	会員LINEで共有。おやつの名にもアレルギーの児童の名前と食べていいモノを記入している。	
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	定期的に実施しております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家庭等へ周知しているか。	67%	33%	職員でも情報を共有しながら、必要に応じて開催を行なっております。	
	51 ビリヤード等を事業所内で共有し、再発防止に向けた対応を行なっているか。	83%	17%	日々の振り返りで共有。対策等をキチンと活用している。	
	52 血栓を防止するため、職員の研修推進を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行ない、虐待防止に努めています。	
	53 どのような場合には必ず身体的行動を行うかについて、医師の指示書に基づいて実施しているか。	83%	17%	切れ字・赤字等で、一時性を満たしている場合とし、身体的行動を行った場合には記録を行っております。また、記録書も反対しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド078土浦店(パーク)	公表日	2025年10月31日
環境・作業環境	チェック項目	はい	いいえ
1	利用者全員が効果支援室等のスペースとの別添で適切であるか。	100%	0%
2	利用費やごとの状態等に対して、職員の記録は適切であるか。	100%	0%
3	生活空間は、これにてより快適で安全な環境になっているか。また、事業所の設備等は、衛生の特性に応じ、バリアフリー化や清潔なままで、衛生上の危険が発生しないか。	100%	0%
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、ごとの達の活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%
5	必要に応じて、ごどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%
7	保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%
10	職員の賛成の意向を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%
11	定期に実施プログラムの作成、改善を行っているか。	100%	0%
12	親のごどもに対してアセスメントを適切に行い、ごどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、ごどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、ごどもの最善の判断を考慮した実施が行われているか。	100%	0%
14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%
15	ごどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「相談支援・相談機関」の内容のうち支援内容も含まれながら、ごどもの支援に必要な項目が適切に記載され。その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%
17	活動プログラムの立案をチームで実行しているか。	100%	0%
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%
19	ごどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%
20	支援開始直前に職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%
21	支援開始直後に、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の接続や次回の支援等を共有しているか。	100%	0%
22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の承認・改善につなげているか。	100%	0%
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%
26	併行利用で同じく立派な支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育や認定こども園、幼稚園、特別支援学校などの間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%
27	就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%
28	(28~30は、センターのみ回答)		
29	地域の他の児童発達支援センターへ障害児通学支援事業者と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組を行っているか。	(センターではないため回答なし)	
30	真的の上に図るため、積極的に専門や専門施設等から支援を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)	
31	(31は、事業所のみ回答)		
32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受けける機会を設けているか。	100%	0%
33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のでのごどもの活動に積極的に参加する機会があるか。	0%	100%
34	団体の対応力の回を図る親睦から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の開催や情報配信等を行っているか。	100%	0%
35	監査用紙、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%
36	児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の同意の尊重、ごどもの最善の判断の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%
37	「児童発達支援計画」を示しながら児童の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか。	100%	0%
38	定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な相談と支援を行っているか。	100%	0%
39	ご自身の立場を把握することなく、保護者会議を定期開催する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援を実施しているか。また、よきよきに問題を抱える保護者会議を開催する等の支援を実施しているか。	0%	100%
40	ごどもや保護者からの相談や申立てについて、対応の体制を整備することにより、ごどもや保護者に用意し、相談や申立てがあった場合に迅速かつ適切に応じているか。	100%	0%
41	定期的に通学支援を行なうことにより、活動頻度や行事予定、通学体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%
43	障害のあるごどもや保護者の立場の認識や障害の適切な対応を実施しているか。	100%	0%
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%
45	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生を対象とした訓練を実施しているか。	100%	0%
46	事故防除計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、曳出その他の必要な訓練を行っているか。	100%	0%
47	事前に、事業者や子供保護課、まんかん会等とのごどもの状況を確認しているか。	100%	0%
48	食物アレルギーのあるごどもの状況について、医師の診断書に基づく対応を行っているか。	100%	0%
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基準を満たす等、安全基準が十分された上で支援が行われているか。	100%	0%
50	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%
51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%
52	虐待を防止するため、職員の研修等を実施する等、適切な対応をしているか。	100%	0%
53	どのような状況でのどの子供の精神体操を行なうかについて、組織の判断に応じて、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。



事業所名	グローバルキッズメソッド080学園の森店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	71%	29%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意しております。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	43%	57%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配慮しております。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切にされているか。	71%	29%	子どもに分かりやすいよう、絵カードや音声など視覚化を取り入れた環境が持てるようにしています。	
	4	生年空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	71%	29%	次の活動に移る時、個別の部屋で移動させて次へ活動を繋げていくのがやりやすい。ワンタップで移動。相談室や個別対応室も設けし、必要に応じて子どもも落ち着いて過ごせる環境を整えています。	
事業改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	子供たちの顔がよくされている点が良い印象	
	7	保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、面接のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるように努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%	全てLINEに送らせてくるので見渡しが出来良い。	
	9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していかたいと思います。	
	10	職員の褒めの声の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	共通のLINEに送られてくる。	
適切な支援の提供	11	週に複数回の会議が開催され、公表されているか。	86%	14%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行なっております。	
	12	保護者ごとにアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	子どもたちの小さな成長を記録されやすくアセスメントし、保護者との日常的なコミュニケーションを大切にしながら検討しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画の作成にあたっては、児童管だけではなく関わる職員の声を聞き、それぞれの専門的な視点を大切にしながら検討しています。	
	14	児童発達支援計画に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。	
	15	こどもの活動行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により検討しているか。	100%	0%	毎日改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状況の参考として活用しております。	
児童発達支援計画	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様の希望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	86%	14%	説明17エラーのため「いいえ」にしかつけられませんでした。 *「はい」100%「いいえ」0%へ変更	
	18	活動プログラムが定型化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。	
	19	こども状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や巡回等での取り組みや支援方法を組み合わせております。	
	20	支援開始時には職員間で会議を行い、その会議で実施する内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	出勤時間は異なることもありますから、専門スタッフを中心に情報共有を図り、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
団体連携や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点等を共有しているか。	57%	43%	直前時間も同様に異なることがあるため、同様に専門スタッフを中心に情報共有を図り、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や連絡会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。	
所用利用や移行に向けた支援	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	86%	14%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図りています。	
	28	(28~30)センターや団体の				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の声の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	30	貢献のため会員登録を行なう際、保護者等に対する支援を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応	31	(3)は、事業所のみ回答				
	32	対外の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	43%	43%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のゆきのこども活動を図る機会を設けているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	34	家庭の児童の内申書を頂く親御さんと伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っています。	100%	0%	過去の間にお子さまの手書きをお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただくよう努めています。	
	35	定期的に会員登録を行なう際、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
児童発達支援計画	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	86%	14%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談を行なっております。	
	39	父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40	こどもや保護者からのお申出について、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者の意思の尊重を図っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい環境を整えています。	
定期的に活動を実施する	41	定期的に活動を実施するときや、SNS等を用いることで、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発表し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。	
	43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	71%	29%	今後検討していくかと思います。	
	45	定期的にマニフェスティ、電気料金対応マニュアル、飲食料金対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が利用する機会を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。	
業務統計	46	業務統計計画（BPC）を策定するとともに、非常に詳しい分析や訓練等の実施を行なっているか。	100%	0%	業務統計計画（BPC）の策定を行なっております。	
	47	事前に、面接や予防接種、まんくん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づいて対応しているか。	86%	14%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等の協力が図られるよう、安全計画にに基づく内容について、職員間で情報共有をし、要領等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。	
安全管理等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応を行なっているか。	100%	0%	事例集ではヒヤリハットを記載し、並びに記載した対応を行なっております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応を行なっております。	
	53	どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織化に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護計画に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
グローバルキッズメソッド081筑西店(パーク)		公表日 2025年10月31日			
チェック項目					
環境・体制整備	1 利用実績が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	改善目標、工夫している点など	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	個別抱擁がある。 テーブルでの活動スペース・マットでの在勤スペース、活気のある運動・遊びスペースに分けている所は工夫していると思う。	
	3 生き空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報装置、施設等で配慮がなされているか。	70%	30%	ほとんどの場合は適切ですが、利用者の特性や特性の通りにより支援者がもう少し必要と思われる場合もあります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の行動に合わせた空間となっているか。	90%	10%	整頓・清掃は徹底して行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	80%	20%	1人ひとりの児童個別や特性に合わせて既存設備への配慮や集中を基めたり安心感の提供をし遊びや学習への移行をスムーズに提供している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する会合を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	職員会の申し立てなどではほぼ実現できている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めております。	
	9 第二回となる外部評議会を行い、評議会結果を業務改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していくかと思います。	
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を実施する機会(法人内研修を実施する機会が確保されているか)。	100%	0%	毎月の研修を各スタッフが必須として基盤としている 毎月のオンライン研修を実施していくことで実現しています。 Zoomなどで各自で研修を受講出来るという点が工夫されていると思います。	
満足度の評価	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で連携の確認、見直しを行っております。	
	12 他の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していきたい。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまから意見をお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門職だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下、子どもの権利の知識を考慮して、連携が行われているか。	90%	10%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの権利の利益を考慮し検討の上、両部門を含む全ての職員に共通理解ができる事、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の障害者認定書などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15 その他の適切な状況で、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを実施する場合によく実施しているか。	90%	10%	個別複数の参考を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。	
児童発達支援計画	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「旅行支援」及び「地域支援・地域資源」のうちの2つ以上を組みながら、子どもの支援に必要な情報が適切に記載され、その上、具体的な支援内容が記載されているか。	90%	10%	お子様や保護者のご要望は組みなまえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17 通常プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	毎月職員会でプログラムを考慮し、充実した活動に繋がるよう工夫し検討しております。	
	18 通常プログラムが確定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになる見直しを行ったり、工夫したりしております。	
	19 その他の状況に応じて、個別活動と連携活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご希望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団での開拓や方や支援方法等を計画書に取り入れております。	
	20 支援開始前に職員間で必ず合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	70%	30%	通常の会議、レセプション等で打ち合わせをしており、工夫している点としては、支援に必要な情報などをしめて提供してもらっているので共有でできていると思います。	
活動実施や支援等との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、次回の点を共有しているか。	70%	30%	就業時間も含めなり、利用者の迷惑もあるため打ち合わせが職員のLINEで、情報共有を図っています。	
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、実施の検証・改善につなげているか。	90%	10%	客観的に分析できるように実績と目標を分けております。また、モニタリングの際は日々の記録を参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態をよく理解している職員が見直しを行っております。	
	24 障害児発達支援事業所のサービス担当者会議や連絡会議との会議に、その他の状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	毎日お子さまの状態をよく理解している職員が見直しを行っております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や歯科医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて連携してしております。	
障害者への支援等	26 併用利用や移行に向けた支援を行ななど、インクルージョンの観点から支援を行なっているか。また、その際、保健所や認定ごと、医療機関、障害支援専門機関などと連絡し、実施内容の情報等と連絡を取っているか。	90%	10%	必要に応じて、遡れる状況や背景の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27 放課後の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容の情報共有と指導理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努めています。	
	28 (28~304)、センターのみ回答				
	地域の市の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員は外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
地域との連携	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(31)、事業所のみ回答				
	地域の市や保健所等との連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	70%	10%	問題があった際に情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。	
	32 保健所や認定ごと、団体、労働団体等の交渉や、地域の中でその他の状況で活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいている。	
	33 日頃から子どもの状況を保健者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	通常の際にお子さまの様子をお伝えさせていただきたい。電子記録による記録を提供させていただきます。	
連携・情報交換等	34 家族の対応の内に内を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレンチ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	70%	30%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。	
	35 連絡規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご契約時に説明させていただき、また、ご不明点に応じては随時ご説明させていただけております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもが保護者の意思の尊重、子どもが保護者の利益の尊重の観点を踏まえ、子どもが家庭の意見を尊重する等を行なっているか。	100%	0%	ご契約時に説明させていただき、また、ご不明点に応じては随時ご説明させていただけております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を図り、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約時に説明させていただき、また、ご不明点に応じては随時ご説明させていただけております。	
	38 定期的に、家庭等からの子育ての悩みに対する相談に適応し、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて適意、ご相談に応じております。	
児童発達支援	39 父母の介助の割合を変更することや、保護者紹介を担当する等に、保護者紹介で次回の機会を設ける等の支援をしているか。また、さういうい助いに対して次回の機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいている。	
	40 ごみも保護者や専門家等の相談に応じて、対応の体制を整備するとともに、子どもが保健者に用意し、相談や申入があつた場合に添付する手帳を用意しているか。	100%	0%	各事業所の看護窗口を設けており、各事業所にご相談しやすい内容で、随時受け取らせております。	
	41 定期的に連絡等を実行することや、HP・SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報をこどもや保健者にに対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご連絡いただけます。	
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に個人情報を記入し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。	
	43 保健のあらじどうや保健者との連携の改善や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
事業所の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30%	70%	今後検討していくかと思います。	
	45 事務処理マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応手順を実行しているか。	100%	0%	マニュアルの変更を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。	
	46 業務統合計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、炊出その他の訓練を行なっているか。	100%	0%	業務統合計画(BCP)の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。	
	47 事前に、緊急や予防情報、でんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をしており、対応に努めています。	
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の監視に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一食表を作成し職員が一日分かかる工夫をしております。	
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練。その社必要な指掌を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行なっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携を図るよう、安全指掌に基づく取組内容について、発生した際の対応手順を周知するとともに、発生した際の対応手順を実行しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて開拓を行なっております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではございませんが、近頃なども記入をし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、出事事例の管理者とともに共有する体制を整えております。	
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	専門機会で開拓を設置するとともに、定期的な研修を行なっております。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、細胞拘束に決まり、こどもが保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、豊富な支援計画に記載しているか。	100%	0%	拘束性・非拘束性・一時性を測定している場合とし、身体拘束を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド083西川田店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮数は適切であるか。	88%	13%	教員や保健士資格のある職員を配置して、児童整序を進める。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	88%	13%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4	生年空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。	
事業改善策	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7	保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	88%	13%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	88%	13%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。	
	10	職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11	遅刻に反映プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。	
	12	保護のこどもに対してアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。	
	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に支援を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。	
	20	支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
職員相談室や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話での支援の振り返りを行い、貢献した会話を共有しているか。	100%	0%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	審査が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する専門機関や保護者の情報の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28	(28~30)センターやみどり園				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)	
	30	貢献の丸に図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のその他こども活動を図る機会があるか。	63%	38%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく際は丁寧に説明しております。	
	34	家庭の内での円滑な運営を図るために、家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭学の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	88%	13%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。	
	35	定期的に会議を開催するか、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただけます。また、ご不明な点に関しては施設ごとに施設ごとに説明させていただいているため。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただけます。また、ご不明な点に関しては施設ごとに説明させていただいているため。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただけます。また、ご不明な点に関しては施設ごとに説明させていただいているため。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な書面と支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。	
	39	父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40	こどもや保護者の間の連携を図るために、対外的行動を実施するところや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
お客様等との対応等	41	定期的に会議を開催するところや、SNS等を用いることで連絡を行なうなどして保護者に対する取組を行なっており、保護者に対する取組を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。	
	43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	今後検討していくかと思います。	
	45	運動会やマラソン、電気棒球大会やマラソン、運動会やマラソン等を実施し、競争や家族等との周辺ととともに、児童生徒が活動する機会を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の準備を行なっており、実施する際は各事業所で実施する機会を設けております。	
	46	業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	100%	0%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっております。	
	47	事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施する等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関しては、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、要領等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行っております。	
お客様等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行っているか。	100%	0%	事例集ではあります、並組なことで記入をし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止基準を設置することにより、定期的な研修を行なっております。	
	53	どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・持続性・持続性を満たす場合に記載を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド084墨田区大学前店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用実員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	レクリエーションの中にもじかずの内容は工夫していると思う		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人数ではなく、特性での人員配置も済みは必要だと感じる		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行なっております。環境設定に関しては日々から小さな話し合いを行なっております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の状態や環境で使用する事が認められる環境になっているか。	77%	23%	お子さまの状況に合わせて個別の状態や小集団グループでの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	69%	31%	レクリエーションや改善方法の案はたくさん出る。		
	7 保護者向け評議表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	15%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%	会議をして、意見交換も充分に行なっている		
	9 第三者による外部評議を行、評議結果を業務改善につなげているか。	77%	23%	今後、検討していくといたいと思います。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を受ける機会が確保されているか。	100%	0%	全社研修のほかに、研修会の開催や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で費用内容の確認、検討を行なっております。		
	12 保護者へ向けてアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を観察的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していくか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めしております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際は、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	77%	23%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの改善の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含む全ての職員が共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	15%	お子さまのご利用の際の療育教育などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの活動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により確認しているか。	85%	15%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。		
適切な支援の提供	16 「地域支援・社会連携」の問い合わせ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上、具体的な支援内容が記載されているか。	85%	15%	お子様や保護者さまのご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子さまの状況に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの変更をチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを変更し、実施した活動に駆けられるよう工夫し設定しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎回違うスタッフが活動を決定している		
	19 こどもの状況に応じて、個別計画や巡回活動を適宜組み合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	85%	15%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別計画や巡回で個別に支援方法を記載してあります。		
	20 支援開始時に職員間で必ず合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	77%	23%	出勤時間が異なることもあるため、専門機関を中心に情報共有出来るよう、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、駆けたいた点等を共有しているか。	54%	46%	退勤時間も時間に異なることがあるため、同時に専門機関を中心に情報共有出来るよう、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日中の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の結果・改善につなげているか。	77%	23%	専門的に分析できるように実際に実践と意見を分けて記録をとるよう努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児発達支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	92%	8%	毎回のお子さまの状態をよく理解している職員が参画できるよう努めています。		
	25 会議の出席、医療（主治医や専門医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	69%	31%	必要に応じて直連接してあります。		
専門機関や保護者との連携	26 年次利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保護者や認定こども園、会議室、待合室や学校の施設などを活用して支援を行なっているか。	85%	15%	全てにおいて情報共有は、難しいのでできる限りの取り行なっています。		
	27 教育学習の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	46%	54%	併設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に駆けでまいります。		
	(28~30は、センターのみ回答)					
	28 地域の児童発達支援センターと連携を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 算の向に図るため、携帯的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31は、事業所のみ回答)					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	46%	31%	今後は、支援センターとも連絡をとりながら支援していきたい		
	32 保健所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと連携する機会があるか。	31%	69%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	33 会員からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	なるべく利用時の様子を伝えている		
保護者への対応	34 家族の会員の内にいる親を頼らねば、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の開催や情報収集等を行なっているか。	46%	54%	情報提供はしている		
	35 支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約的に説明させていただき、また、ご不適な点に関しては随時ご説明させていただいている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最適の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。	92%	8%	ご要約的に説明させていただき、また、ご不適な点に関しては随時ご説明させていただいている		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら文書内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約的に説明させていただき、また、ご不適な点に関しては随時ご説明させていただいている		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面接や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適量、相手に応じております。		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	62%	保護者会は開けていないが児童での利用を促している家庭もある		
	40 こどもや保護者からの相談に適切に対応しているか。	100%	0%	その都度対応していっている		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を活用することにより、活動課題や行事予定、諸々体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	85%	15%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などをについてご連絡いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	個人情報を含む書類の定位置を決め、持ち出さない。		
	43 障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や個別化のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
お客様等の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	31%	69%	地元住民招待したことはないので今後は更検討する。		
	45 離島対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生も含めた全員が実践を実践しているか。	92%	8%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害に備え、定期的に避難、防災訓練等の訓練を行なっているか。	89%	15%	業務継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、施設や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	92%	8%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の措置に基づいて対応しているか。	92%	8%	医師の措置は、ないが保護者様と相談しながら対応している		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な基準を満たす等、安全管理が十分された中で実施が行われているか。	92%	8%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の配慮が図られるよう、安全対応に基づく対応内容について、家族等へ周知しているか。	85%	15%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ピアリット等を事業所内に設置し、再発防止に向けた対応について対応しているか。	77%	23%	会議の席に設し合なしてい		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	会議の席に設しし、再確認している		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、施設内に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、質量発送実施に反映しているか。	92%	8%	引退性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド085小野店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
1	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配定数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童全員を適切に指導しております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配慮しております。		
3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	情報はしっかり伝えてくださるので、子供達の状態が把握しやすい		
4	生年空間は、楽器で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小まめな話し合いを行っております。		
5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	グループ活動が苦手なお子さんに個別でフォローして対応したり、個々に合わせた個性がでる体制がでている		
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
7	保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。		
10	職員の意見の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	75%	25%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
11	遅刻に反映プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見内容の確認、見直しを行っております。		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の立場を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により検討しているか。	100%	0%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
17	活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。		
19	こども状況に応じて、個別活動や団体活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。		
20	支援開始時には職員間で必ず会合を行い、その会合で実施する内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会員情報が異なることもありますから、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
21	支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	100%	0%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保健医の職員の方との情報共有を行なっております。		
27	就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
28	(28~30)センターやみどり園					
29	地域の他の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて連携を図っているか。	100%	0%	(センターではないため回答なし)		
30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	(センターではないため回答なし)		
31	(31)は、事業所のみ回答					
32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて連携を図っているか。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のその他こども活動を図る機会を設けているか。	100%	0%	他の施設との交流を実施しております。		
34	家庭の介助の内山を頂る親御さんから、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	50%	50%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
35	定期的に会議を開催する等、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	定期的に会議を開催させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望いただき説明させていただいているため。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する姿勢を取っているか。	100%	0%	定期的に会議を開催させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望いただき説明させていただいているため。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期的に会議を開催させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望いただき説明させていただいているため。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	お子様に応じて適切な面接や相談に応じております。		
39	父母の間の活動を支援することや、保護者会等を確立する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
40	こどもや保護者の間で情報交換を行なうことで、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう構えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
41	定期的に会議を開催するなど、SNS等を用いることで、活動経験や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取り組みを行っているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していくかと思います。		
45	家庭訪問マニフェスト、電気郵便マニフェスト、感染症対応マニフェスト、感染症対応マニフェスト等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が安心して通園できるよう努めています。	75%	25%	マニフェストの策定を行なっております。		
46	業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常に改善の進みを確立し、定期的に評議会を行なう。	100%	0%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっております。		
47	事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
48	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がなされているか。	75%	25%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	75%	25%	定期的に実行しております。		
50	こどもの安全確保に関して、家庭等からの確認が取れよう、安全計画に基づく内容について、児童生徒へ周知するとともに、児童生徒が安心して通園できるよう努めています。	75%	25%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
51	ヒヤリハットを事業所内でも見し、再発防止に向けた対応について検討を行っているか。	100%	0%	事例集ではあります、並組なことで記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を直面しております。		
52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止基準を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
53	どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護に配慮しているか。	75%	25%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

事業所名	グローバルキッズメッド086熊谷店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援率のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	物の配置や整理がしっかりとされている		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行っております。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必須に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	床に歩行が难しい事があり、なるべく子供たちが安全に過ごせるように物の配置を行なっている		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小部屋グループなどでの活動を行なうことが出来るように対応をしております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行なっております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報をの検討、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議を行なう評議会実施を業務改善に反映しているか。	80%	20%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月の研修を行なう事で職員のスキルや能力向上に繋がっている		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の利点を考慮し検討の上、通常勤務員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
児童発達支援計画	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「無人支援」、「移行支援」及び「情報支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	個別や集団での療育内容に記載している		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催アドバイスを参考し、実施した活動に則りながら工夫を定めております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行なったり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や会員活動に適切に組合せを行い、支援の必要性を判断し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別的や集団での個別やり方や支援方法等を商量し取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会員登録を行い、その会員登録の内容や会員登録等について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもありますから、専門的知識によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員研修や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話を行なう支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	90%	10%	直勤時間も同時に異なることがあるため、同様に専門的知識を中心に情報共有出来るよう、記録や図によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めているか。	100%	0%	少しづつなどと記録した事をノートに記録して共有している。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関等）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保健医の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図ながら、ご要望があれば学校との情報共有を行なっております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への支援等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	60%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会を設けているか。	80%	20%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への支援等	34 家族の立場からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	90%	10%	事務所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行なっているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいている		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいている		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な相談に応じております。		
児童等への支援等	39 父母の立場の立場を尊重することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	90%	10%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	40 こどもが保護者から自分の立場で受け入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にご相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する開示を行なっているか。	100%	0%	hugに詳細な内容を記載し提供出来ている		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	80%	20%	今後検討していくかと思います。		
	45 連絡担当マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで閲覗してはいけない。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用が始まる前に全体で内容と対応方法を周知している		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の皆さまに基く対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるような工夫をしております。		
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場で受け入れよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	事業集団でも情報を共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止委員会を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、荒巻発送依頼に記載しているか。	100%	0%	利用・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド087上尾店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
固 定 体 制 管 理	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの隣接で適切であるか。	90%	10%	できる限り複数室で、楽しく過ごせるように、テーブル、イス、床に敷いた毛やご馳走があつたらすぐ片付けています。		
	2 利用定員や子どもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	職員は毎日を日々の業務で忙しくしている。		
	3 生活空港は、子どもにわかりやすく構造化された隠れ家になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報連携等、障害上の配慮が適切なされているか。	100%	0%	その程度、必要な情報は共有している。 フローリーな小部屋をうまく使い分けている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる隠れ家になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動の時間に清掃を行っている。 2方針で運営など大きく、経営者なども確認している。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の隠れ家場所を活用することを認められる隠れ家になっているか。	100%	0%	活動の初日や年始等で使用できている。		
業 務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	70%	30%	予想される問題を伝え、意見を募る体制を取っている。 情報、人材の変化に伴って柔軟に変更している。		
	7 保護者に対する評価表により、保護者等の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	意見を記入して、できる限り実施改善を行なっている。 情報収集して、意見を参考して改善を行なっている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	毎日の情報共有をさせている。		
	9 保護者による外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	エリーベストに報告し取り組んでいます。 会員の意見を参考して改善を行なっている。		
	10 職員の改善の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	90%	10%	月一や半年の定期、満足の評議内容を振り返っている。 毎月の研修動画で学らなかったことを知ることができている。		
	11 週次に支援プログラムが作成、公表されているか。	90%	10%	保護者さまに毎日内容に付随して報告を伝えていている。		
	12 保護者などに 대해アセスメントを適切に図り、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童青少年支援計画を作成していっているか。	100%	0%	日々の様子や他事業所での意見を共有して行なっている。 大変に重宝している。		
	13 児童青少年支援計画を作成する際には、児童青少年支援責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの音質の判断を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	アセスメントを行ない、実施している。 話し合いや会議で行なっている。		
	14 児童青少年支援計画の職員間の共有され、計画に沿った支援が実行されているか。	90%	10%	その程度、スタッフに共有して取り組んでいます。 そこで実行を行なった職員が実践に参考できる情報を共有できるとしている。		
	15 子どもの進歩活動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	HUGや行動記録に行なっている。 メール添付によっています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	16 児童青少年支援計画は、児童青少年支援ガイドラインの「児童支援の実践指針」、「児童支援実践指針」、「特別支援」及び「相談支援・他施設連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	項目があり、設定されている。 確認がなされています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	90%	10%	月の活動内容を組合して行なっている。 バランスよく日々アプローチできるプログラムを考えている。		
	18 活動プログラムが定期化しよう工夫しているか。	90%	10%	定期的活動の組合して定期的に行なっています。 季節ごとに定期的に行なうプログラムを実施している。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適度組み合わせて児童青少年支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団と個々で支援がなされている。 定期的に組合して定期的に行なうように工夫している。		
	20 支援開始直後には、個別活動で必ず合せを行い、その日行われた支援の内容と次回の予定について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	80%	20%	段階をハイライトで示し、確認できる。 会員を記入し、連携をしています。		
	21 支援終了後には、個別活動で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	90%	10%	個別の活動と定期的に定期的に行なっています。 定期的に行なうことを定期的で行なうように工夫している。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の経緯・改善につなげているか。	90%	10%	会員に会員を記入してあります。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童青少年支援計画の実現の必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	専門的知識等で評価シートなどで判断しています。 モニタリングで定期的に見直しの必要性を話し合っています。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との面会に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	事前に資料を作成し、会員が出席に行なわれるようにしている。		
	25 地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害・保健・育児、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	90%	10%	会員を密にを行い、連携をしています。		
困 る お 客 様 と の 連 携	26 併用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、就托園の教諭や助教等との間で、支援内容等の連携共育と相互理解を図っているか。	100%	0%	送迎時に共有を行なっています。		
	27 財務の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共育と相互理解を図っているか。	100%	0%	情報を伝えています。先方がお忙しい場合は、お母様に伝えており、共有をお願いして居ます。		
	28 (29~30)、センターのみ回答					
	対応の仕事の児童青少年支援センターと障害者通所支援事業所と連携を図り、地域全体の発展に貢献する活動等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 質の向上を図るため、精神的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部登録に登録しているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童青少年支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)、事業所のみ回答					
	地域の児童青少年支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	80%	10%	アドバイザーの担当者と連携を取り合っている。		
	32 保護者に対するコミュニケーションと交換や、地域の中での子どもの活動に活動連携等を図っているか。	30%	70%	公開や地域の行事に参加しつつ、挨拶を必ず行いながら交換を生み出しております。		
	33 日常から子どもの状況を把握し、子どもの発達の状況や課題について定期的に評議会を行なっているか。	100%	0%	定期的に日々の問題は定期的に個別で伝えています。 定期的であります。 小さなことまでありますこと、難しかったことを伝えています。		
保 育 の 改 善	34 保護者の対応力の向上を図るために、家庭から保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について定期的に評議会を行なっているか。	50%	50%	相談日々の様子を元に情報を伝えています。		
	35 連絡用紙、支援プログラム、お子さま負担等について革新的な取り組みを行なっているか。	90%	10%	定期的、理解の違いが無いよう、文書の書類と例を出し認知症患者を行なっている。		
	36 児童青少年支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意見の尊重、子どもの若者の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家庭の負担を考慮する機会を設けています。	100%	0%	送迎時に最初のお詫び等を行なっています。 モニタリングの際に家庭の状況に言及して伝えている。		
	37 「児童青少年支援計画」を示しながら支援内容の説明を以て、保護者から児童青少年支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	修正等が無い確認を毎回行なっている。		
	38 定期的に、家庭等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と対応を行なっているか。	100%	0%	送迎時に、最近のお詫び等を行なっている。 必要なときに定期的に行なっている。		
	39 公開の会議の場を充実することや、保護者会議等を頻繁に開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	共働きの家庭が多く、問題が出ていない。必要に応じて、対応を検討していきたい。		
	40 定期的に保護者から会員の状況等について、対応の整を整すとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速に対応しているか。	100%	0%	相談が受け取れるタイミングを尋ねて、共有をお願いしている。 お問い合わせの際は、面接や会議等で対応している。		
	41 定期的に連絡用紙を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動経験や行事等、施設利用の情報を子どもや保護者に伝えていきたい。	80%	20%	レクカレンダー以外にも、その認知症支援を行なっている。		
	42 信頼の取扱いに十分留意しているか。	90%	10%	必ず問い合わせや質問がある場合に丁寧に対応している。 お問い合わせは、シラレーダーしている。		
	43 障害のある子どもや保護者との意見の認取や障害伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	個性や特徴などに配慮して伝えています。		
未 然 事 件 の 対 応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	50%	50%	地元の方の御意見を踏まえ、日々の問題を整理込みタスク等も実行してきました。		
	45 事務的止みマニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生を対象とした訓練を実施しているか。	90%	10%	定期的にうつし共に、外出の際の際対応して行なっている。また筋を行なっている。 消毒液を日々作成して作成するうつし共に、並びなくも消毒液と水の分量がすぐわかるようにしている。		
	46 安全経営計画（BCP）を策定とともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、避難の訓練を行なっているか。	80%	20%	活動の中で避難の機会を想定して行なっている。		
	47 事前に、運営や子供指導、てんかん対応等のどの状況を確認しているか。	100%	0%	スタッフが分かれる様に配置してまとめて振り分けており、対象児童がいる場合は、その日の朝にもう一度全員で確認する。 運営を行う際は、運営担当者と子供指導担当者とで確認を行なっている。		
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指導書に基づく対応がされているか。	100%	0%	材料帳をアラカルトで確認している。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な指導を実施する等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	90%	10%	危険と思われる箇所をピックアップし、スタッフ同士で注意し合っている。		
	50 子どもの安全確保に関して、家庭等との連携が取れており、安全計画に基づく取組内容について、家庭等へ周知しているか。	90%	10%	定期的や送迎等に、その都度伝えている。		
	51 ピアリットハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応を行なっているか。	100%	0%	スタッフ会議が共有アリでなっている。		
	52 健康を維持するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	研修機会を見たり、出勤するたびにチェックリストを確認したりする機会がある。 研修機会の会員と、その程度タスクを仕事して振り分けの際に行なっている。		
	53 やのよな場合にわざと身体的行動を行なうについて、絶縁的に対応し、こどもや障害者に事前に十分に説明して了解を得た上で、児童生を差し後計画に記載しているか。	90%	10%	記載してある内容を行い、周囲、その内容をスタッフと共有しています。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド088大間々店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	利用者の子たちが落ち着いていられる場所作りに努めている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序による支援を行うことにより、安全整序を実現しています。		
	3 生き方室は、こどもにわかりやすく構成された隠れになっているか、また、事業所の設備等は、隠れの特性に応じ、バリアフリー化や隠れ設備、隠れ上の隠れが適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生き空間は、楽室で、心地よく過ごせる隠れになっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	毎日、清掃を行っております。隠れ設定に関しては、日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や隠れを使用することができる隠れになっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の隠れや小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	33%	67%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を実施改善につなげているか。	33%	67%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	67%	33%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際は、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	67%	33%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教養などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	67%	33%	個別教養の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『専門支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と班活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や集団での取り組みや支援方法等に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会話を含めて行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	会話時間は異なることもあるため、常に児童発達支援を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話での支援の振り返りを行い、貢献いたした情報を共有しているか。	100%	0%	直前時間も同様に異なることがあるため、同様に児童発達支援を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
定期的に評議会を開催	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育評議の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31): 事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応等	34 家族の立場の内に話を聞く親類など、家族に対する家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童等への対応等	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場からお話を聞く親類等について、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処置に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
児童等への対応等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	67%	33%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェア、電気郵便マニュアル、電気郵便マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいた家庭等に実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 実務訓練計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	実務訓練計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を把握しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が得られるよう、安全計画に基づく計画内容について、要領等へ用意しているか。	67%	33%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業計画ではヒヤリハットを設置しており、ヒヤリハットを設置することで記録を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を設置するなどして対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド089深谷店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序による支援等による支援を行うことによって対応しております。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	50%	50%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4	生年空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。	
事業改善策	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7	保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	50%	50%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	0%	100%	情報の収集の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を実施する機会が確保されているか。	
	10	職員の研修の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を実施する機会が確保されているか。	50%	50%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11	遅延に応じて支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。	
	12	保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。	
	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員用プログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動や班活動で適切に組合せられており、支援の振り分けを行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や班活動での限りなくやり方や支援方法等を取扱い入れております。	
	20	支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その進行する支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
職員相談支援事業者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り分けを行い、烹いたためを共有しているか。	50%	50%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保育士、看護師等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28	(28~30)センターやみどり園				
	29	地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じて連携を図っているか。	100%	0%	(センターではないため回答なし)	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	31	(31)は、事業所のみ回答				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて連携を図っているか。	0%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のひのこども活動等について連携を図っているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	34	家庭のひのこどもへの支援を図るために、家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	50%	50%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。	
	35	定期的に支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する姿勢を取っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な対応を行っております。	
	39	父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40	こどもが保護者からのお手本について、対応の型を整えるとともに、こどもや保護者との連携を図っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
お客様等との対応等	41	定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する開示を行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発表し、活動の様子や行なななどについてご説明いただける取り組みを行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。	
	43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。	
	45	家庭訪問マニフェスト、定期的対応マニュアル、巡回対応マニュアル、巡回対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒における実績を実績としているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。	
	46	業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常に改善の進捗に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっております。	
	47	事前に、面接や予防接種、まんくら角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況を基にに基づく対応を行っているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全計画に基づく対応内容について、児童等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有をしながら、必要に応じて対応を行っております。	
お客様等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行っているか。	100%	0%	事例集ではあります、並組なことで記入をし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止基準を設置することにより、定期的な研修を行なっております。	
	53	どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護に配慮しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は結果を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド091袖ヶ浦店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序を進めております。また有資格者による支援も行なうことが出来るように対応しております。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4	生年空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小さな話し合いを行っております。	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。	
事業改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7	保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	月に一度職員会議がある	
	9	第三者による外部評議を行って、評議結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討していくかと思います。	
	10	職員の意見の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	児童室からのアドバイスや他のスタッフとの意見交換が勉強になる	
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行ない、公表しております。	
	12	保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するよう努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	スタッフが領域ごとに話し合って決めている	
	14	児童発達支援計画に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により検討しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。	
定期的に評議会を開催する	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行っているか。	88%	13%	個別ごとに話し合って決めている	
	18	活動プログラムが定型化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行ったり、工夫したりしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動で児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別的視点や集合での視点からやる気支援方法等を計画に取り入れております。	
	20	支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	13%	レクチャーの記入、ホワイトボードでの共有を行なっている	
職員や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点等を共有しているか。	75%	25%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門知識を中心に情報共有して、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%	定期的に分析できるように実施し見直しを図り、また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎日のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。	
利用者への対応	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)	
	30	貢献の丸を図るために、職場的・専門的・家庭的・地域的等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	63%	13%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしています。	
	34	家庭の立場の内向外を踏まえた視点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。	
	35	定期的に支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ごとに説明させていただいている	
定期的に活動計画を作成する	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの発達の進度考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見も踏まえて設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ごとに説明させていただいている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問題を指しているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ごとに説明させていただいている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な対応を行っております。	
	39	父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただいている	
	40	こどもや保護者の立場からお伝えしていくか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
定期的に活動計画を作成する	41	定期的に活動計画を作成するか、SNS等を用いることで、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組みを行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。	
	43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	今後検討していくかと思います。	
	45	運動会やマラソン、電気棒等によるマラソン、運動会やマラソン等を実施し、競争や家族等で周囲するとともに、児童生徒が安全に活動できるよう、安全対策を行なっているか。	88%	13%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
定期的に活動計画を作成する	46	業務統計計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	業務統計計画(BCP)の策定を行なっております。	
	47	事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査書に基づく対応がされているか。	88%	13%	事業所内で監査書を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査等を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等の協力が図られるよう、安全計画に基づく内容について、児童等へ周知するとともに、児童生徒が安全に活動できるよう、安全対策を行なっているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。	
定期的に活動計画を作成する	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	88%	13%	事業所でもヒヤリハットを検討することとともに、定期的なヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止基準を設置することとともに、定期的な研修を行なっております。	
	53	どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護に配慮しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド092小鹿店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用児が発達支援室のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	運動スペースと並んで遊びスペースとを仕切で分けてしている点 身体を動かすスペースと並んで運動するスペースをわけている		
	2 利用児数や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	教員や育児資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また育児資格による支援も行うことが出来るように配置しております。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。事業所の設置等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害に配慮、海面上の駐車場等は適切になっているか。	83%	17%	規則でかかるように工夫している		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	リラックスできるように工夫している		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や宿泊で使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の宿泊を伴う時は、他のスタッフと別々で用意できるように、個別の部屋の別のマグネットをその子の顔写真の上に貼っているところ。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)で、広く職員が参画しているか。	100%	0%	目標設定と振り返りは、実行しているが、もう少し回数を増やしたいと思っている。 他のスタッフと異常を交換しやすい環境を作っている		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	できる範囲でご要望にお応えできるように尽力している		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	保護者からの意見等があった時は、全スタッフに共有して、話し合い、改善できるところは改善している		
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	保護者のかたが話をしやすい環境にしている		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	83%	17%	全体会議のほかに、研修会の開催や外部講師を招いた研修による知識の向上に力を入れております。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援について話し合っている		
	12 他の子どもに対してアセスメントを適切に、子どもと保護者のニーズや課題を観察的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	スタッフが意見を出し、取り入れています		
	13 児童発達支援計画を作成する際は、児童発達支援責任者だけでなく、子どもの支援に関する職員が共通理解の下で、子どもの障害の特徴を考慮した機会が行われているか。	100%	0%	一人一人ご意見を聞き、取り入れています		
	14 児童発達支援実施の状況を、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・社会連携」のうち支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	もう少し、話し合い、共有する時間が欲しい		
	15 子どもの活動の実施の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により実施しているか。	67%	33%	プロックや横木を使い、フォーマルに近いことはできている		
適切な支援の提供状況	16 「地域支援・社会連携」のうち支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	地域との連携という観点からも効果的にもう少し連携をとっていきたい		
	17 活動プログラムの実施をチームで行っているか。	100%	0%	立派にしたあと、担当者を決めて、その人が責任を持って行うようにしている。 ひとりひとりがこまないよう配慮している		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	皆で意見をだしてある		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適度に組み合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	どちらにもたよらないようにしている		
	20 支援開始時に職員間で必ず合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	出勤時間が異なることもありますので、専門機関を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で連絡に努めています。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、実感いたした点等を共有しているか。	67%	33%	なるべく、共有事項は話をするかし会議をいれて、共有している		
	22 日中の支援に際して記録をとることを重視し、支援の種目・改善につなげているか。	83%	17%	書類的に分けてあるように非常に意識と意図を分けて記入するよう努めています。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	その担当スタッフの話を聞いています		
	24 障害児発達支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	参加しないスタッフの話を聞いてから出発している		
	25 付随的保育、医療、保健等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	連携にはなしをきいていく		
児童相談所や保護者との連携	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校の連絡などと連携して、支援内容等の情報共有と体制整備を行っているか。	100%	0%	情報共有を共有できるようしている		
	27 教育学習の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	家庭の時に話している		
	(28~30は、センターのみ回答)					
	28 地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 領域の向こに図るため、携帯的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31は、事業所のみ回答)					
	31 地域の他の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	33%	33%	問題があつた際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のことと連携する機会があるか。	50%	50%	ご連絡に応じて、対応させていただいている		
	33 保育から子どもの状況を把握する機会と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っています。	100%	0%	認定者等にお子さんの様子をお伝えさせていただたり、電子連絡帳による記録を提供させていただきます。		
保護者への対応	34 家族の対応の良さの向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の開催や情報発信等を行っているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 連絡欄、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約時に説明させていただき、また、ご不向きに応じては細緻に説明させていただいております。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最良の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約時に説明させていただき、また、ご不向きに応じては細緻に説明させていただいております。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら文書内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	分かりやすいよう丁寧に説明している		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面接や必要な面接と支援を行っているか。	83%	17%	不使用ではありませんが、お話しが出来るよう応じております。		
	39 父母の子の弱みを支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	児童への支援もこころがけている		
	40 こどもや保護者からの相談の中に入れて、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に周知し、相談や中入れがあった場合に迅速に対応しているか。	100%	0%	早急に対応している		
	41 定期的に活動情報を発信することや、SNS等を活用することにより、活動課題や行事予定、諸々体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行っております。		
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。		
	43 保護のされるこどもや保護者の意思の尊重や傳授伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
お客様等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	50%	50%	今後実行していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェスト、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生生を対象とした研修等を実施しているか。	83%	17%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。		
	46 家庭観察計画(BCP)を策定するとともに、非常災害に備え、定期的に避難、出走等の必要な訓練を行っているか。	100%	0%	家庭観察計画(BCP)の策定を行っており、定期的な研修や訓練を行っております。		
	47 事前に、緊急や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の指示に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かれるよう工夫をしております。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な研修を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 子どもの安全確保に関して、家庭等の配慮が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも共有し、再発防止に向けた対応について対応しているか。	83%	17%	事業所ではありませんが、近頃などでも記入し、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、社事業所の対応とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止対策を設置する等、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止対策を設置するとともに、定期的な研修を行っており、事故防止に努めています。		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、質量允収対策に反映しているか。	83%	17%	利用者が予測される状況にはましまって対応していく		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド093勿来店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行うことが出来るように対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	67%	33%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	67%	33%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	67%	33%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の立場を考慮し複数の上、児童発達支援職を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	67%	33%	毎月職員間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	67%	33%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こども状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の振り返りを行い、貢献した会話を共有しているか。	67%	33%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し見直しをかけています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発連携会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員間や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する専門機関や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく際は、お子様の状況を記録してお伝えしております。		
保護者への対応	34 家族の立場の内にある親から親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	35 支援プログラム、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見も踏まえながら取り扱っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
保護者への対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者の立場から親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	41 定期的に保護者会等を実施することや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取り扱いを行っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
保護者への対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	100%	0%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所マニフェスト、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みするのを防ぐ等の対応を行っているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行っているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査等を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察からも親観察等を行っているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた方針について検討を行っているか。	100%	0%	事業所内でもヒヤリハットを記載しておられます。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。		

公表

## 事業所における自己評価結果

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド096七北田店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25%	75%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0%	100%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行っております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配置しております。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	こどもが外に飛び出さないように玄関の動線を確保している	
	4	生年空間は、進路で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の進路に合わせた空間となっているか。	100%	0%	スタッフが丁寧、適度に掃除を行っている	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	定期的に会議を開催して話し合いで行なっております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	50%	50%	評価表を作っている保護者と頻回に取り組みをしています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	50%	50%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	今後、検討していくかと思います。	
	10	職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内外で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行ない、公表しております。	
	12	保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るよう努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	75%	25%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。	
定期的に評価の実施	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	75%	25%	毎月開催用プログラムを考慮し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別や巡回活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。	
	20	支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	出勤時間が異なることもありますため、専門的支援を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
職員間や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、烹いたためを共有しているか。	0%	100%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的支援を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し見直しをかけております。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
保護者への対応等	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	75%	25%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の情報の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学時の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25%	75%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28	(28~30)センターやみどり園				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	30	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	25%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のひどい状況で活動する機会を設けているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。	
	34	家庭の立場の内山を頂く親御さんから、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭学の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	0%	100%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。	
	35	定期的に情報収集を行なうことで、保護者と情報交換を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
児童等の支援	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な情報や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に応じて適切、相談に応じております。	
	39	父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40	こどもや保護者の立場から入れ替わりて、対別の立場を整えるとともに、こどもや保護者の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
児童等の支援等の対応	41	定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する対応を行なっているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組みを行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。	
	43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していくかと思います。	
	45	家庭的マニフェア、電気料金対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいたりの機会で実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
安全管理等の対応	46	業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	75%	25%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。	
	47	事前に、医療や予防接種、まん丸や角等のこどもの状況を確認しておき、職員間で情報共有をして、対応に努めています。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況を基に個別化して、医療の監査書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一目で分かるよう工夫をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	75%	25%	スタッフ間では安全に意識できるよう声をかけ合っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られているよう、安全計画に基づく取組内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要な対応を行なっております。	
安全管理等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事例集ではあります、並絶などでも記入をして、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52	専門機関に報告するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	詳細はされていないが適切な対応をしている	
	53	どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒便に記載しているか。	100%	0%	利用者・未代特徴・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド097高柳店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援率のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	日々により利用人数にばらつきがあるのよくわからない		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	78%	22%	一方で実施が必要なお子さん多かったり、毎の迷惑が多いことで入手が欲しいと思うこともあります。スタッフの人が足りない際にはタイミングや店舗からのヘルプでカバーしてくださる点は有利です。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害考慮、施設上の配慮が適切になっているか。	89%	11%	お客様の広さは十分だと思います。自由に空間を分けられることは利点だと思います。パーテーションの操作が役立っています。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	78%	22%	清潔をきちんと守っています。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	89%	11%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	78%	22%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を検討、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	89%	11%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の個人の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修を設けております。日々の実践を振り返るきっかけにもなり勉強になります。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	89%	11%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	89%	11%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	89%	11%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の利点を考慮し検討の上、通常勤務員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	78%	22%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を作成して参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内、「地域支援」や「支援内容」等によると記述しているか。	89%	11%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 会員プログラムの在籍率をチームで行っているか。	100%	0%	毎月会員用プログラムを参考し、実施した活動に則りられるよう工夫し実施しております。		
	18 会員プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日違うシケをしています。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や会員活動に合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や会員活動に合わせて、個別活動を中心に情報共有取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会員登録を行い、その会員登録の内容や会員登録について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	78%	22%	会員登録が異なることもありますため、専門的支援を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その会話を行った支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	78%	22%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的支援を中心に情報共有が出来よう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し意見をかけて記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	78%	22%	毎月のお子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	必要に応じて連携してしております。		
会員登録や移行に際する支援	26 所有利用や移行に際して支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	78%	22%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を行なっております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	44%	22%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただったり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
会員登録や情報等の収集	34 家族の会員登録の内に頂く親頼点からお伝えして、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	44%	56%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要約に沿って説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見も尊重する取組を行っているか。	89%	11%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要約に沿って説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては細部ご要約に沿って説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要約に応じて適切、細部に応じております。		
保護者への対応等	39 父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	22%	78%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の会員登録の内に頂く親頼点からお伝えして、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	78%	22%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疇めや専門性等の配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
会員登録等の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	22%	78%	今後検討していくかと思います。		
	45 保護者マニフェスト、緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒にいたりの職員等を実施しているか。	89%	11%	マニュアル等の策定を行なっており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	47 事前に、医療・予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	89%	11%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	78%	22%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるような工夫をしております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、保護者等の信頼が得られるよう、安全計画に基づく内容について、児童生徒等に周知するとともに、児童生徒にいたりの職員等を実施しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応をしているか。	100%	0%	事業集団でもヒヤリハットを共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、定期的に実施しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・持続性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合には結果を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド099大泉店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	健育道具や玩具が本部中に混在する傾向に入らないよう、収納が徹底されている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	余裕のある状態の配置が計画されている。 定期的に毎日チェックし、人件費にならないよう注意している。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害考慮、施設上の配慮が適切にされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小さな話し合いで行なっております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	92%	8%	静かに昼寝が出来る部屋が設けられています。 少しあるまでは問題にしている。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	支障方法など管理も含めて都度スタッフで打ち合わせをしている。 定期的に提出している職員同士で話し合っている。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者面談を定期的に実施。また、送迎の際などに児童の様子を伺うようにしている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員からいつでも意見を受け取るようになっている。 少しあるまでは問題に共有している。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	92%	8%	今後、検討してみたいと思います。		
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修会が行われている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	一人ひとりに合わせた内容である		
	12 保護者ごとにに対してアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	担当者ごとに児童発達支援計画を作成している。 一人ひとりに合わせた内容である		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる機関が共通理解の下で、こどもの障害の利害を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援の利害を考慮した段階が行われている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	一人ひとりに合わせた内容である		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	毎日改善の記録を記録に参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状況の参考として活用しております。		
児童発達支援計画	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、なまら及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月レクリエーションを実施し、同じようなものにならないよう工夫している。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	各班によって、リーダーとなる職員が異なっているので良い		
	19 こども状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や巡回での周りの方や支援方法等を商量に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会合を含め行い、その会に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもありますから、専門的支援を含め出勤するよう、指導や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
団体連携や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点を共有しているか。	100%	0%	直面その日出勤している職員間で共有している		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	一日の状況を毎日記録している		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っております。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や連絡会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関等）、障害者、体育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	可能な限り参加するようしている。		
所用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定こども園)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26 教育の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて運び、情報共有をしており、必要に応じて連絡を取っている。		
	27 教育終了の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を続けてまいります。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児介護等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	92%	8%	定期的に会議を運営している。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく努力を続けております。		
児童発達支援計画	34 家族の立場の上を頂く親頼者から助言を受けたり、家族に対する支援を行なっているか。	83%	17%	事業所における送迎の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の趣向を踏まえながら作成しているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な、相談に応じております。		
児童発達支援計画	39 父母の立場の尊重を図ることや、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	40 こどもや保護者の立場からお伝えしていくか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にて相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際に迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、連絡やSNS等を用いることで、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごつについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めております。		
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	83%	17%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェスト、電気料金対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の上を頂く親頼者から助言を行なっているか。	100%	0%	年に定期的に評議会を行なっている。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤退ルート等の必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	年に定期的に評議会を行なっている。		
	47 事前に、施設や予防接種、まんから感染等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	消毒等も含め情報共有をさせていただき、万が一のことがあった際はすぐに情報共有ができるようになります。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の上を頂く親頼者から助言を行なうよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知するとともに、児童生徒が立場の上を頂く親頼者から助言を行なっているか。	100%	0%	職員でも情報共有を行なっている。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	適宜、事故報告書などを作成している。		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故について年に数回研修がある。また、支障の中でも疑いがある場合は相談できる体制がある。		
	53 どのような場合にわざと身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切れ目・赤信号・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なう場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

公表

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド100市川大野店(パーク)	公表日	2025年10月31日
事業所名	グローバルキッズメソッド100市川大野店(パーク)	はい	いいえ
	チェック項目	はい	いいえ
1	利用定員が施設支援室等のスペースとの割合で適切であるか。	92%	8%
2	利用定員ごとの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%
3	生活空間は、こどもにわかりやすい構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、環境の特性に応じ、バリエーション化や構成化等、健やかな配慮が適切になされているか。	92%	8%
4	生活空間は、進歩、安全で、心地よくさせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	92%	8%
5	必要に応じて、こどもの個別の状態や場所を考慮することが認められる環境になっているか。	92%	8%
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(日報設定と振り返り)、広く職員が参画しているか。	83%	17%
7	保護者向け評価表により、保護者等の貢献を評価する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を保護者等につなげているか。	33%	67%
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会で会員内等で研修を実施する機会が確保されているか。	83%	17%
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	92%	8%
12	日々のこどもに対してアセメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	92%	8%
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけではなく、こどもの支援に関わる職員が児童理解の下で、こどもの需要の利用を考慮し実施計画が作成されているか。	92%	8%
14	児童発達支援計画(職員会議)に共有され、計画に沿った実施が行われているか。	83%	17%
15	こどもの個別の状況や行動の特徴を把握できるツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%
16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の実践へべき道」の「児童支援」「家庭支援」「移行支援」及び「他者支援」「地域支援」のねらいに基づき実施内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%
17	活動プログラムの変更をチームで実行しているか。	83%	17%
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	92%	8%
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	92%	8%
20	支援開始前に支援員で必ず合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%
21	支援のプロセスは、保護者等で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した内容を共有しているか。	67%	33%
22	日々の支援に則って記録をすることと徹底し、実施の痕跡・改善につなげているか。	92%	8%
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援の実施の必要性を判断し、適切な改善を行っているか。	92%	8%
24	障害児相談事業所のサービス担当会員や関係機関との会員は、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	92%	8%
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%
26	移行計画が原則に行われる支援を行うなど、イニシアーバーシティの考え方を実践しているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(生徒別)との間で、支援内容の質別共通と相互理解を図っているか。	83%	17%
27	就学時の移行支援には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、実習内容等の連携共通と相互理解を図っているか。	92%	8%
28	(28~30は、センターのみ回答)		
29	地域の児童発達支援センター等による児童発達支援事業等と連携を図り、地域全体の発展に貢献する機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)	
30	員の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)	
31	(31は、事業所のみ回答)		
32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、こどもの発達の状況や課題について連携して支援を行っているか。	42%	42%
33	保育所や認定こども園、幼稚園等と交換や、幼稚園での受けのこどもに託す機会があるか。	33%	67%
34	団体の対応力の充実を図る競技会から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族の参加できる研修の機会や情報発信等を行っているか。	92%	8%
35	連絡規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもの親の意見の尊重の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を踏まえて社会貢献で設けています。	83%	17%
37	「児童発達支援計画」を示しながら文面内の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	63%	17%
38	定期的に家族等から子育ての悩み等に対する相談に耳を傾け、安心や必要な助言と支援を行っているか。	92%	8%
39	父母の会の活動を支援することにより、保護者会を運営する事により、保護者同士で交換する機会を設ける会の支援をしているか。また、ささやかな会の活動を通じて保護者会の運営をしているか。	25%	75%
40	こどもや保護者からの要望や申入れについて、対応の体制を整備することにより、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に適切に対応しているか。	92%	8%
41	定期的に虐待に対する負担をすることにより、HPPやANS等を活用することにより、活動規則や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して提供しているか。	92%	8%
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	83%	17%
43	健やかのあるこどもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための記録ををしているか。	92%	8%
44	事業所の行事に地域社会を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、消防マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、周知を実効化した訓練を実施しているか。	92%	8%
46	業務実績記録(BCP)を策定するとともに、児童の性生に貢献し、定期的に実践、変化のため必要な訓練を行っているか。	92%	8%
47	事前に、検査や予防接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	83%	17%
48	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の診断に基づく対応がされているか。	83%	17%
49	安全計画を作成し、安全管に必要な研修や訓練、その他必要な研修を実施する等、安全管に必要な研修や訓練について、安全計画に基づく取組み等について実施しているか。	83%	17%
50	こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組み内容について、家庭等へ周知しているか。	75%	25%
51	ヒヤリハットを事業所内外に共有し、再発防止に向けた方針について検討しているか。	75%	25%
52	虐待を防ぐため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%
53	どうぞご協力ください。この調査は、児童の身体的・精神的状況を把握する行為を行なうについて、総合的に決して、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童角に記載してあるとおりに実施するものです。	83%	17%

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド101前橋大利根店(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・設備整備	1 利用定員が児童文書室のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動の内容によって部屋やスペースを工夫して使っていると思う。 就寝が必要があるので、空間を分けて手で利している。	
	2 利用定員やごどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人数が多い分、洗浴練習など余裕を持ったことができる。	
	3 生活空間は、ごどものわかりやすさや美化された環境になっているか。また、事業所の設備等、環境の特性に応じ、バリアフリー化や情報表示等、構造上の配慮が適切になっているか。	90%	10%	部屋が広く、洗浴練習等で余裕を持ったことができる。 職員の人数が少く、各自の担当で手で利している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、ごどもの活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%	各部屋が広く、洗浴練習等で余裕を持ったことができる。 常に清潔に保たれている。特に洗浴で手で利している。	
	5 必要に応じて、ごどもの個別の部屋や場所を使用する事が認められる環境になっているか。	100%	0%	様子に応じて個別に手で利している。 いつでも利用できるよう整備している。	
業務改善	6 美容改善を進めるためのPCA サイクル(目標設定と振り返り)、広く職員が参画しているか。	90%	10%	子供の気分がよかった時、口頭で伝えたり記録に残したりしている。 子どもたちの様子を共有し、一緒にやる気をもつて職員全員で改善している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	保護者の意向等を把握する機会を設けている。 保護者の意向等を把握する機会を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けしており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	手で利する機会がつづいて、ここで洗浴・片付けをしていている。 常に意見に保たれている。特に洗浴で手で利している。	
	9 第三者による外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	手で利する機会がつづいて、ここで洗浴・片付けをしていている。 常に意見に保たれている。特に洗浴で手で利している。	
	10 職員の責任の上位を図るために、研修を受講する機会や法人内部で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	本部からのシステムでわかりやすく各自と部門毎の責任を上げるよう従業員から情報収集している。 自分で空いている時間で受講できるシステムとどちらがいいかです。	
適切な支援の提供	11 週間に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	プログラムを具体的にうなづかし良かししている。 個々にあった支援の作成され職員全員が確認している。いつもでも見直せるのが良い点	
	12 保護者のごどものに対してアセスメントを適切に行い、ごどもと保護者のニーズや課題を実質的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者のニーズや課題を実質的に分析した上で、保護者のニーズも考慮して作成している。 保護者の意向等を把握する機会を設けている。	
	13 保護者と支援計画を作成する際には、児童発達支援専門責任者だけでなく、ごどもの文部にわける職員が共通理解の下で、ごどもの進歩の目標を考慮した上で、具体的な内容で確認が行われているか。	100%	0%	他の職員からも子供の状況、課題を理解し、確認を行って合意で立てるようにしている。 保護者の意向等を把握する機会を設けている。	
	14 児童発達支援計画の職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	毎回の会議で声をかけてはいる。 保護者の意向等を把握する機会を設けている。	
	15 ごどもの進歩の実感の収集、個別化されたuelleを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むフォーマルなアセスメントを実施する事により、理解しているか。	90%	10%	毎回の会議で声をかけてはいる。 子どもたちの進歩を把握して記録して記入しているので、実感的に理解している	
周辺環境や保護者との連携	16 保護者と支援計画には、保護者と連携するドクターリング「児童各進支連の連携すべき支連」の「本人支連」、「家族支連」、「移行支連」及び「個別支連」、相談の際の文部文部内規を記載しながら、その上での具体的な内容が記載されているか。	100%	0%	相応しい言葉を渡り記録するようにしている。 本人と家族はどちらも、対応の連絡が行われる様子をしっかりと行っている	
	17 支援開始前に保護者と連絡する際には、保護者用で必ず合せを行い、その日行なわれる支援の内容や役割について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	パララクで会話を立てて実感するよろずやマッチングにならないよう気をつけている。 常にではないが、チームで行うことがある。	
	18 支援プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	ティアラ出で合して実感するよろずやマッチングにならないよう気をつけている。 毎回の会議で声をかけてはいる。	
	19 ごどもの状況に応じて、個別活動や支援活動を実践混ぜ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別開催も多少あるが実感が受けた記録に記入してはいる。 子どもたちの進歩を把握して記録して記入しているので、実感的に理解している	
	20 支援開始前に保護者用で必ず合せを行い、その日行なわれる支援の内容や役割について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	毎回の会議で声をかけてはいる。 子どもたちの進歩を把握して記録して記入している。	
保護者の参画	21 支援終了後には、職員同士で必ず合せを行い、その日行なわれる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	口頭での確認をしたり意見を交換する。 毎回の会議で声をかけてはいる。	
	22 日々の会議に記録をとることを徹底し、支援の意図・改善につなげているか。	90%	10%	記録の仕事に気づいて記録をとる事で意図に記入する。 毎回の会議で声をかけてはいる。	
	23 定期的に会議を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	他の職員からも聞き取りをしでスクラッシュして方向性を話し合っている。 定期的に会議している	
	24 保護者相談支援事業所のサービス担当者会議や個別連絡との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	参加者に他の職員も情報提供し情報から会議について話しているので共有している。	
	25 地域の保健、医療（主治医や医療巡回健診等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	事業所それぞれが各自になってまわないよう気をつけている。	
保育の実施	26 併用保育や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容を相互理解しているか。	100%	0%	会える機会に情報交換できるよう文部省の方を心がけている。	
	27 評議会の運営の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者の意向もあるので様子によっている。	
	28 (29~30、センターのみ回答)				
	29 地域の児童発達支援センターへ障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献しているか。			(センターではないため回答なし)	
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカイズや飲食等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者の参画	(31) 事業所のみ回答				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカイズや飲食等を受ける機会を設けているか。	60%	20%	開催があった際には接種文書を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。	
	32 保護所や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でのこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいている。	
	33 日からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	良い点や気づきを伝え、マイクスはこちらの開き方から支障がある方を心がけています。 送迎の際は必ず確認してはいる。	
	34 重要な対応力の向上を図る観点から、家族に対して家庭教育プログラム(ペアレンティング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報等を行っているか。	80%	20%	保護者のやり方を否定せず、良い良い方が構築せらるよう話し合っている。	
保護者の参画	35 連絡規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	わかりやすい言葉で特に忙わるような話し方を心がけています。	
	36 児童発達支援計画の見直しの際には、保護者から意見等を聞き、ごどもの改善の意図、ごどもの改善のための助言等を実施しているか。	100%	0%	今思うところを話してもらえるような雰囲気を作っている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の問題を指しているか。	100%	0%	共通の思いが児童発達支援計画になっているよう配慮して説明して丁寧に説明している。	
	38 定期的に、家庭等から子育ての悩み等に対する諮詢に適応し、面接や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	管理者が行なっている。 保護者の意向にしっかり耳を傾けて、助言している。	
	39 父母の立場を尊重する事で、保護者同士で交流する機会を設けているか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいている。	
保護者の参画	40 ごども保護者から他の保護者へ連絡を取る際には、対応の整備をとどめることなく、相手や介入があった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか。	100%	0%	すぐに対応できるよう心がけています。 「皆が子供なのです。支援や保護者の心の支えになっていると強く感じます。	
	41 定期的に連絡を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、施設等の情報を子どもや保護者に伝しておきたいと感じているか。	90%	10%	喜んで表示し、今日の様子を伝えるために可視化できるようしている。	
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	一日にさらさらない場合に保管している。	
	43 障害のあるごどもや保護者の心の課題や障害伝達などの配慮をしているか。	100%	0%	相手の気持ちを共有しながら同じ日程で話ができるよう配慮している。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10%	90%	今後検討していきたいと思います。	
保護者の参画	45 事業所紹介マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が定めた訓練を実施しているか。	90%	10%	子供達も理解して訓練が行えるよう教材も用意して進めている。	
	46 安全経営計画（BCP）を策定するとともに、非常災害に備え、定期的に説明、教示その他の訓練を行っているか。	90%	10%	職員同士の事前打ち合わせを行い、共通理解して行っている。	
	47 事前に、複数や予防措置、でんかん発作等の状況を把握しているか。	90%	10%	対象者への対応や環境に気をつけている。	
	48 食物アレルギーのあるごどもについて、医師の指導書に基づく対応がされているか。	100%	0%	対象者への対応や環境に気をつけている。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	90%	10%	危険を想定して測定値に基づく対応を考えている。	
安全管理等の対応	50 ごどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られているか。	80%	20%	定期で相談しててある。	
	51 ヒヤリハットを事業所内外に共有し、再発防止に向けた対応を実施しているか。	90%	10%	子供達の様子を深く見るよう心に留め、発見をさせすぐに対応できるよう日頃から声を掛けている。	
	52 健康を守るために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	90%	10%	対応が不適切にならないよう声を掛け合っている。	
	53 どのような場合にわざわざ身体的行動を行うについて、経路に定めし、ごどもや保護者が事前に十分に理解し了解を得た上で、児童生徒会に記載しているか。	90%	10%	事前に予想される場合は職員が実施し、対策を話し合っておく。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名		グローバルキッズメソッド102せんげん台店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目				改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用実績が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				91%	9%
	2	利用実績や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。				73%	27%
	3	生年児童は、こどものむかわくすく発達化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、発達の特性に応じ、バリアフリー化や情報基盤、環境基盤が適切になされているか。				91%	9%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの個性を合わせた空間になっているか。				100%	0%
	5	必要に応じて、こどもの個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。				100%	0%
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。				91%	9%
	7	保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				91%	9%
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				91%	9%
	9	第三者による外部評議会を行い、評議会結果を業務改善につなげているか。				82%	18%
	10	職員の意見の向上に図るために、研修を実施する機会(法人内研修を複数回実施する機会が確保されているか)。				91%	9%
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				100%	0%
	12	児童のこどもの対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していいるか。				100%	0%
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門職だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの養育の利害を考慮して、連携が行われているか。				82%	18%
	14	児童発達支援計画が定期的に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				100%	0%
	15	その他の定期的な評議会の実行、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを定期的に行なって確認しているか。				91%	9%
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域資源」のうちの支援を適切に組みながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上、具体的な支援内容が記載されているか。				100%	0%
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。				82%	18%
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。				82%	18%
	19	こどもの状況に応じて、都度活動と連携活動を組み合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。				100%	0%
	20	支援開始前に職員間で必ず合せを行い、その実行にあたる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				82%	18%
	21	支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その実行にあたる支援の振り返りを行い、烹いた点等を共有しているか。				73%	27%
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、実践の検証・改善につなげているか。				91%	9%
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				100%	0%
	24	障害児童支援事業所のサービス担当者会議や定期連絡会との会議に、そのこどもの状況や個別支援等と連携して支援を行う体制を整えているか。				100%	0%
	25	地域の保健、医療（主治医や歯科医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				91%	9%
障害者への対応等	26	併用利用や移行に向けた支援を行ななど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保健所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や保育園などを介して、実施内容の連携等をと組み連携を行なっているか。				91%	9%
	27	就学の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容の情報共有と指導方針を図っているか。				91%	9%
	28	(28~304、センターのみ回答)					
		地域の市への児童発達支援センターとの連携を図り、必要な情報交換を行なっているか。				(センターではないため回答なし)	
	29	職員の向こを図るため、機能的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させていているか。				(センターではないため回答なし)	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要な情報交換を行なっているか。				(センターではないため回答なし)	
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要な情報交換を行なっているか。				64%	18%
	32	保健所や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でこどもの活動を活動する機会があるか。				45%	55%
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				100%	0%
業務改善への対応等	34	家族の対応の内に円を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレンチ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。				64%	36%
	35	連絡帳、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。				91%	9%
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもの保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を行なっているか。				82%	18%
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を図り、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				100%	0%
	38	定期的に、家庭等からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と支援を行なっているか。				100%	0%
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会合を招請する等による、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういうい豆式に豆式で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				36%	64%
	40	こどもや保護者等の相談を豆式で受け付けて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入があった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか。				100%	0%
	41	定期的に連絡等を豆式で行なうことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に周知して、対応しているか。				91%	9%
	42	個人情報を取扱いに十分留意しているか。				100%	0%
	43	障害のあらじどりや保護者の心の健康の改善や精神障害のための配慮をしているか。				100%	0%
業務改善の対応等	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				36%	64%
	45	施設内マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応を実施しているか。				100%	0%
	46	業務統合計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、移出その他の訓練を行なっているか。				100%	0%
	47	事前に、緊急や予防措置、なんらかの作業等の状況を確認しているか。				100%	0%
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断に基づいて対応しているか。				91%	9%
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その社必要な指揮を図る等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				100%	0%
	50	こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全対応に基づく取組内容について、発生した際の対応を行なっているか。				100%	0%
	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討をしているか。				100%	0%
	52	看護を実施するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				100%	0%
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決めて、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、豊富な看護計画が実施しているか。				100%	0%

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド103新上大久保店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教育や保育資格のある職員を配置して、児童整序による支援等により対応してあります。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別養育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や班活動で適切に組合せを行い、支援の必要性を判断し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や班活動での限りなくやり方や支援方法等を斟酌してあります。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会話時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会話を共有しているか。	100%	0%	直前時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録を参考にしながら、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
定期的に評議会を開催	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でこどもと活動する機会があるか。			ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応等	34 家族の立場の内にある親から親観察から家庭からお伝えして、家族に対する支援を行なうか。			事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。			ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。			ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。			ご要望に応じて適切な相談に応じております。		
児童等への対応等	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。			ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者の立場からお伝えしていくか。			各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行っているか。			月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取扱いに十分注意しているか。			入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。			より円滑にお伝えするよう努めています。		
児童等への対応等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。			今後検討していくかと思います。		
	45 連絡手段やマニフェスト、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいた場合の対応を実施しているか。			マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。			事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。			お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。			事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の連携が図られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ周知しているか。			職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行っているか。			ヒヤリハットを事業所でヒヤリハット(インシデント)を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。			事故防止のため、職員の研修等を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、定期検査に記載しているか。			利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合には結果を行っております。また、計画にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド104と野店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	99%	11%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	教育や保育資格のある職員を配置して、児童整序による支援等による支援を行うことにより対応しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
事業改善	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	89%	11%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を実施改善につなげているか。	78%	22%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	78%	22%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	89%	11%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの改善の効果を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	お子さまのご利用の際の個別改善などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	89%	11%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『他者支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	89%	11%	毎月職員間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方針を取組み取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会合を行い、その会合で実施する支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会員情報は異なることもありますため、専門的連携を中心に情報共有を図り、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者等を共有しているか。	78%	22%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図り、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	78%	22%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発連携会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	必要に応じて適宜連携しております。		
被用者利用や移行	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
被用者への支援	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	33%	67%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中心でこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	交流の機会を適切に設けるためにも実施計画の作成と開拓機会との連携が必要。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただったり、電子連絡帳による記録を提供させていただいているため。		
被用者への支援等の実績等	34 家族の立場の内にある親から親観察からも親観察等で親観察等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただいているため。		
	36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただいているため。		
	37 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただいているため。		
	38 家庭での活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要約の際に以て適切に面接や、相談に応じております。		
被用者への支援等の実績等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	44%	56%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者からの意見等を反映する等について、対応の実績を示すとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に沿用して改善を行っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい環境を整えています。		
	41 定期的に活動を実施するなど、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意見の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
被用者への支援等の実績等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	44%	56%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで確認しているか。	89%	11%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	89%	11%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
被用者への支援等の実績等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の確認を行なうよう、安全計画に基づく内容について、職員等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行っているか。	100%	0%	事業所内にヒヤリハットを記載しておき、定期的に検討を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するなどして対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒検査に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド106いわき平店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序による支援等による支援を行うことが出来るよう配置しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	78%	22%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	89%	11%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
事業改善	6 実績改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実績改善につなげているか。	56%	44%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実績改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議を行って、評議結果を実績改善につなげているか。	56%	44%	今後、検討していかなければいけません。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	89%	11%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審議内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	89%	11%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し検討の上、通常勤務員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	78%	22%	毎回改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』、『家庭支援』、『移行支援』及び『地域支援・地域連携』の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	89%	11%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが定型化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で通常勤務員を含めて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	78%	22%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や団体活動での限りやり方や支援方法等を参考に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者等を共有しているか。	78%	22%	直勤時間も同時に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	78%	22%	定期的に分析できるように実施し見直しをかけています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎回お子さまの状態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	78%	22%	必要に応じて適宜連携しております。		
利用者への対応	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	78%	22%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の情報の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	78%	22%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門医や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	33%	67%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	11%	89%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	89%	11%	通常等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただくよう努めています。		
児童虐待への対応	34 家族の立場の内にある親から見ると親から見ると、家族に対する支援を行なうか。家族に対する支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	33%	67%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	89%	11%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	89%	11%	ご要望に応じて通常、ご相談に応じております。		
児童虐待への対応	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場から見ると親から見ると、対応の整備を図ることや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に虐待を実施する立場や、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する対応を行なっているか。	67%	33%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 障害のあるこどもや保護者の意思の疇みや専門機関との連携等を行なっているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
安全管理への対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44%	56%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭暴力マニフェア、電気棒対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場から見ると親から見ると、対応の整備を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 実務訓練計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっています。	100%	0%	実務訓練計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんくん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査書に基づく対応がされているか。	89%	11%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理への対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から見ると親から見ると、対応の整備を図っているか。	89%	11%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	89%	11%	事業集団でもヒヤリハットを検討することとともに、定期的なヒヤリハットを実施しております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するなどして対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

事業所名	グローバルキッズメッド108浦和中尾店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援率のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教育や保健士資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行ってあります。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の資格の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容などを踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し設定しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こども状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、烹いたためを共有しているか。	100%	0%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	必要に応じて適宜連携しております。		
職員間や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	50%	50%	必要に応じて、連携する専門機関や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童発達支援の実施	34 家族の立場の内にいる親類からお伝えして、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭学習の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	0%	100%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する姿勢を取っているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童発達支援の実施	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	40 こどもや保護者からの意見を尊重するなど、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
事業所の運営	44 事業所の運営に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	0%	100%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所マニフェスト、電気料金マニュアル、電気料金マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで確認しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をして、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるような工夫をしております。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が図られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行っているか。	100%	0%	事業集団でもヒヤリハットを共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、危険度を評価して実施しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド109大田原店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	伝道が得られており個別の対応がしやすい		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	職員間で協力して対応している		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	88%	13%	少しずつ準備中		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小さな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者との意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員間で共有している		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	意見が言いやすい環境である		
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・業務改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討していかたいと思います。		
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行ない、公表しております。		
	12 保護者ごとに応じてアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の利点を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利点を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別養育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
連携や保護者との連携	16 「地域支援・情報連携」の問い合わせ及び支援内容等を含めながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行ったり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集合での個別対応や支援方法等を計畫に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会合を含め行い、日々行われる支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	打ち合わせで行なからずも音便から話している		
保護者への対応	21 支援終了後には、職員間で必ず合意を行い、日々行われる支援の振り返りを行い、貢献いたした点を共有しているか。	100%	0%	打ち合わせで行なからずも音便から話している		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	気づいたことを書けるファイルを用意している		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
所用利用や移行に向けた支援	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携等を実施しているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に図けてまいります。		
	28 (28~30)、センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児介護等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
地域の児童発達支援センターとの連携	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	88%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の際に伝えたり聞いたりしている		
保護者への対応等	34 家族の立場の内見を頂く親御さんから意見等に対する取組等を行っているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 連絡帳、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいている		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいている		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する取組に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切、細かに応じております。		
児童等への対応等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	13%	ご要望に応じて、対応させていただいている		
	40 こどもが保護者から他の保護者に囲まれて、対立の形を整えたりする等の問題を抱えているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にて相談しやすい環境を整えたりして対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するこどもやSNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組等を行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
本質的等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	88%	13%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニュアル、定期的対応マニュアル、巡回訪問マニュアル、巡回対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいたるところに実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をしております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内にて監査を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく対応内容について、要領等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有をしており、必要に応じて周知を行っております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業所内ヒヤリハットを記載しておき、定期的に検討を行なっております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	事故防止委員会を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織等に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護に依拠しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド110我孫子店(パーク)				公表日	2025年10月31日
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	価値がある。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	86%	14%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。		
	3 生活室は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害考慮、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	93%	7%	常に清潔している		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	機能別に区分けされている		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	71%	29%	定期的に会議を開催して話し合っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	93%	7%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるように努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	86%	14%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討してまいります。		
	10 職員の個人の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	研修を受けられます		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利点を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利点を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により検討しているか。	93%	7%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催する	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』・『移行支援』・『移行支援』及び『地域支援・地域連携』のねらい及び支援内容等に沿なまえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し設定しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や巡回活動の組合せにより、支援が行われている。		
	20 支援開始時には職員間で会合を含めて、その行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	93%	7%	出勤時間に異なることもあるため、専門的支援を中心に情報共有を図る、改善や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行なうことで、その行われた支援の振り返りを行い、貢献した点を共有しているか。	71%	29%	ランクで情報共有し必要に応じて。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	93%	7%	定期的に分析できるように実施し見直しを記録を記入するように努めています。また、モニタリングの際日々の記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	93%	7%	日々のお子さまの状態をよく理解してお子様が参加できるように努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	93%	7%	必要に応じて適宜連携しております。		
所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との連携等を取っているか。	26 教育の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を行なっております。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援者等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への支援等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(3)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	79%	7%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への支援等	34 家庭の立場の内山を頂る親類から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	64%	36%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の権利の尊重の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	93%	7%	ご要望に応じて適切、ご相談に応じております。		
児童等への対応等	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	40 こどもや保護者の立場から、保護者同士の立場から、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にて相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する開示をしているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
本質的特徴の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	71%	29%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所がマニフェスト、電気料金対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで実施しているか。	93%	7%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	86%	14%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	お子さまは買ってないが、症状によって別対応を行なっている。また、性別が食べこぼしたものアフターキャッシュを起こさないよう、清掃まで行なっている。		
安全管理の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な基準を満足する等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	93%	7%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援等が行われているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	93%	7%	事例集ではありませんが、並組なことで記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を直面共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止対応会議を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護計画に記載しているか。	93%	7%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド111富士松岡店(パーク)			公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目			はい	いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100% 0% 法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配定数は適切であるか。	100% 0% 教育や保育資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行ってあります。また有資格者による支援も行うことが出来るよう配慮しております。			
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100% 0% 必須に応じて職員がフォローを行なっております。			
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% 0% 毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。			
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100% 0% お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。			
環境改修	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			80% 20% 定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
環境改修	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善に反映しているか。	80% 20% アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善に反映しているか。	100% 0% 日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を実施改善に反映しているか。	90% 10% 今後、検討していくかと思います。			
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	90% 10% 全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。			
	11 運用に支障が発生する場合に、公表されているか。	100% 0% レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。			
適切な支援の提供	12 保護者ごとに適切な支援を行ない、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100% 0% アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。			
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100% 0% お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援計画を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100% 0% お子さまのご利用の際の個別支援などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	90% 10% 毎日改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。			
	16 「地域支援・地域連携」のならびに支援内容等の上級が適切に認定され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100% 0% お子様が保護者様の希望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。			
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100% 0% 毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し設定しております。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% 0% 改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と班活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100% 0% ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や集団での取り組みや支援方針を取組んでおります。			
	20 支援開始時には職員間で会話や会話を交換し、その行われる支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100% 0% 会話時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。			
	21 支援終了後には、職員間で必ず会話を交換し、その行われた支援の振り返りを行い、会話を交換する等を共有しているか。	70% 30% 直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。			
職務規制や保護者との連携	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80% 20% 定期的に分析できるように実施し見直しを記録を参考に次回の目標を考えております。			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% 0% お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90% 10% 毎日のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。			
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90% 10% 必要に応じて適宜連携しております。			
	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100% 0% 必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の情報の方との情報共有を行なっております。			
職務規制や保護者との連携	27 就学時の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% 0% 併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。			
	28 (28~30): センターのみ回答				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。	(センターではないため回答なし)			
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	(センターではないため回答なし)			
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)			
保護者への対応	(31): 事業所のみ回答				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	80% 20% 問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	70% 30% ご要望に応じて、対応させていただいているため。			
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% 0% 過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。			
	34 家族の立場からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	40% 60% 事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑張っております。			
保護者への対応	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100% 0% ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているため。			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。	100% 0% ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているため。			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% 0% ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているため。			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100% 0% ご要望に応じて適切な対応を行っております。			
	39 父母の立場の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さうない限り同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	30% 70% ご要望に応じて、対応させていただいているため。			
保護者への対応	40 こどもや保護者の立場からおこなわれた取組について、対応の実情をとるとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に沿った対応を行っているか。	100% 0% 各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。			
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	90% 10% 月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組を行なっております。			
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100% 0% 入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。			
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100% 0% より円滑にお伝えするよう努めています。			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	30% 70% 今後検討していくかと思います。			
保護者等の対応	45 家庭訪問マニュアル、定期的訪問マニュアル、巡回訪問マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒の立場から評議を行っているか。	100% 0% マニュアル等の策定を行なっております。			
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	100% 0% 事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。			
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100% 0% お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。			
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	90% 10% 事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100% 0% 定期的に実施しております。			
保護者等の対応	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場から評議を行なうよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100% 0% 職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行っております。			
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた対応について検討を行っているか。	80% 20% 事業所内でもヒヤリハットを記録を行なうとともに、定期的なヒヤリハット(インシデント)を記録を行なっております。			
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100% 0% 事故防止のため、職員の研修等を実施するとともに、定期的な研修を行なっております。			
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	90% 20% 利用者・赤外線・持続性・持続性を満たす場合に反映しております。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド112佐野店(パーク)			公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	トイレ清掃の為、ホーバーで線路を作っている	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	78%	22%	教員や保育資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、環境の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ホワイトボード活用	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小まめな話し合いを行っております。	
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用する事が認められる環境になっているか。	89%	11%	個別に、別部屋でクールダウン等に活用したりできるよう部屋が設けられている	
業務改善	6 利用改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	トラブル時に、必ず振り返りをし解決策・次回へ活かすを行っている	
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	必ず情報共有を行います	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	定期的に、管理者が聞き取り観察を行います	
	9 第三者による外部評議会を行い、評議会実施・業務改善につなげているか。	89%	11%	環境状況を、エリママニジャーに報告をし指示を頂けると環境になっていく	
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月の研修や、kintoneの中に整備されている	
	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	パンフや毎月のレクチャー、HUG上でのレクチャーができる環境がある	
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	日々、家庭支援や移行支援を行なう各部署の情報共有を行っている	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の程度を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	各保護者や環境が共通理解を行っている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	細かいファイル整理ができる環境提供を行っている	
	15 こどもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	必ず計画、評価を行っている	
適切な支援の提供	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家庭支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	カンファーム、必ず出席している	
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	89%	11%	地域での行われている情報収集をし、児童の興味など取り入れながらチームで行なっている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	ネット検索を活用している	
	19 こどもの立場に応じて、個別活動や巡回活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	各部署にあった計画を行なっている	
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	89%	11%	ホワイトボードを活用している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した点を共有しているか。	89%	11%	タインワークを活用している。	
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	児童や保護者の特性を共有している	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	日々成長していく児童に対し、保護者の思いをくみ取り支援計画に取り入れている	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者や児童や作業療法士が出席している	
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、教育機関、保育所、体育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	関係機関へ訪問や電話などで連携している	
団体連携や保護者との連携	26 所内利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(認定こども園)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	利用開始時に挨拶をし、定期的に情報共有を行っている	
	27 教育府の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	相談員や学校と連携している	
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献の立場を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	78%	22%	定期的に情報共有やアドバイスを受けている	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の小学校でのこどもと活動する機会があるか。	78%	22%	今後、交流の場があるとよいと感じます	
	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	メールや電話、対面で対応している	
保護者への対応	34 家庭の立場の内面を深める観点から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	78%	22%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。	
	35 連絡帳、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	責任、契約時に丁寧に説明している	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見も綴りながら取り扱っているか。	100%	0%	日々行なっている	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	当日お会い出来ない時は、事前に電話にて説明をしています	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語と支援を行なっているか。	100%	0%	日々の情報収集を行なっている	
	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さうういい向士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただけます。	
	40 こどもや保護者からの相談の中に入れについて、対応の整理を整えるとともに、こどもや保護者の立場を踏まえ、こどもや家庭の意見も綴りながら取り扱っているか。	100%	0%	問い合わせ時間ではあるが対応している	
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を活用することにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	100%	0%	次回のレクチャー内容発信を行なっている	
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。	
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	手帳にあった、誰かの合意の記述を行なっている	
お客様等との対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	78%	22%	今後検討していくかと思います。	
	45 家庭的・支持的対応マニフェスト、緊急時対応マニフェスト、感染症対応マニフェスト等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒を対象とした訓練を実施しているか。	89%	11%	マニュアル整備や実施している	
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練を行なっているか。	89%	11%	研修制度が充実化されている	
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	定期的にアンケートを行なっている	
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギー児童の表示がされている	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な基準を満足する等、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	89%	11%	定期的に実施を行なっています。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の立場が認められるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	特性上の情報共有を行なっている	
	51 ピアリットを事業所内で行い、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	報告をし振り返りを行なっている	
	52 事故を防止するため、職員の研修練習を確保する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	動画等で行なっている	
	53 どのような場合にわざと身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒を保護するに記載しているか。	100%	0%	記載に記載している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド115筑西店PLUS(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	運動場があるため、身体を動かせる		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を適切としております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配置しております。		
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生きる空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	床面などで室内装飾が、可愛いので良いと思います。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができられる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	定期的に会議を開催して話し合いを行なっております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部評議を行なう評議会実施を業務改善につなげているか。	88%	13%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	88%	13%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し検討の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別養育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『本人支援』・『他者支援』・『移行支援』・及び『地域支援・地域連携』のねらい及び支援内容等を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	88%	13%	専用時間でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫して実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せられており、支援の質を高めているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方針を組合せています。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援方針について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	88%	13%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や図表によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会話を共有しているか。	88%	13%	直面時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や図表によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%	必要に応じて適宜連携しております。		
利用者への対応	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	88%	13%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図けてまいります。		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のためを図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31は、事業所のみ回答)					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	63%	25%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているためです。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を図る機会があるか。	75%	25%	ご要望に応じて、対応させていただいているためです。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただくよう努めています。		
児童発達支援事業所の運営	34 家庭の立場の内に立てる親頼者から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	88%	13%	ご要望の際に説明させていただいている。また、ご不明点にに関しては施設ごとに説明させていただいているためです。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利点の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行なっているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただいている。また、ご不明点にに関しては施設ごとに説明させていただいているためです。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただいている。また、ご不明点にに関しては施設ごとに説明させていただいているためです。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面談や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面談や相談に応じております。		
児童発達支援事業所の運営	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	38%	保護者会は行なっていないが、外出して保護者を結ぶ会で行なっている。		
	40 こどもや保護者の立場から、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい環境を整えています。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	88%	13%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疇めや専門性等の配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	75%	25%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェア、電気郵便マニュアル、電気郵便マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の保護者を実施しているか。	88%	13%	マニュアル等の策定を行なっている。また、お子さまの状況については事業所にて確認しております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	88%	13%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の立場の保護者を図る等、適切な対応をしているか。	88%	13%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	88%	13%	事業所内でもヒヤリハットを検討することとともに、定期的なヒヤリハットを共有しております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	88%	13%	事故防止のため、職員の研修等を実施するなどして対応を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織化に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド117八代高津店(パーク)				公表日	2025年10月31日			
	チェック項目				改善目標、工夫している点など				
環境・体制整備	1 利用定員が急速支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	改善と工夫を引き続ぎ行なって、規範りたく思う。					
	2 利用定員やごどもの状態等に対する、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	職員や保護者側のある職員を配置して、人員標準を満たしております。また保護者による支援も行なうが出来るよう配慮しております。					
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が満たされているか。	88%	13%	照明や空調にも配慮されており、適切な環境だとと思われます。					
	4 生活空間は、浴室や、床暖房等、環境上の配慮が満たされているか。また、こども達の達成に合せた空間となっているか。	88%	13%	トイレが快適でつまっているのに、介助をするには苦労する声ににまさんと意見はさて、適切な配慮で運営されていると思います。					
	5 必要に応じて、こどもが個別の状況や場所で使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	使い易い整備がされていると思います。					
業務改善	6 素质改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)がよく実践しているか。	63%	38%	毎日、次から次へとPDCAサイクルを行なって、子供に関する情報の共有などが、とても良く出来ていると思います。					
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めています。					
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	前記のように、毎日ミーティングを行い、良く行なっていると思います。					
	9 第3者による評議会(評議会)、評議会結果を業務改善につなげているか。	63%	38%	今後も、継続してあります。					
	10 職員の意見の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	75%	25%	毎月の研修は、とても分かりやすく良く立正在していると思います。研修内容に合わせて例えも多く、声やグラフなども見やすくなっています。					
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で情報の伝達、見直しを行なっており、公表しております。					
	12 一日のこどものに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支度に関する職員が共同議論の下で、こどもの改善の判断をも踏まじた議論が行われているか。	75%	25%	お子さまの成長の状況に合わせて、お子さまの改善の利点を考慮し検討の上、非常に職員を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報を共有しております。					
	14 児童発達支援計画が費用負担共担され、計画に沿った支度が行われているか。	75%	25%	ミーティングで大切な事をきちんと共有していると思います。モーニング会でまた朝の後を運営共担ししている職員は出でています。					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いて評議会で評議しているか。	88%	13%	ミーティングが専門的で、きちんと運営されていると思います。					
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「専門支援」、「旅行支援」及び「社会的支援」のうちの1つ以上を組み合わせて児童発達支援計画を作成する内容が記載されているか。	88%	13%	お子様や保護者のご希望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。					
	17 活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	75%	25%	毎朝のミーティングが、とても良く機能していると思います。					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	レク活動のテーマの募集や提案も、きちんと定期的になされて、適切になされていると思います。					
	19 こどもの状況に応じて、個別目標と開拓活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	予めがきちんと立てられて実施していると思います。					
	20 支援開始前に職員間で必ず合せを行い、その日の行なわれる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	毎朝、必ずミーティングが行われています。					
	21 支援終了後に、職員間で必ず合せを行い、その日の行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	63%	38%	毎朝のミーティングで振り返りを行なっています。					
	22 日々の支援に開拓して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	ミーティングの内容をきちんと記載され、共有されていると思います。					
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の実施の必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	88%	13%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっています。					
保護者や地域との連携	24 障害児放課後事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を踏まえたがる者が参加しているか。	88%	13%	毎朝のお子さまの状況をよく理解している職員が参加できるようにしております。					
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	63%	38%	必要に応じて、連絡する幼稚園や保健室の方との情報共有を行なっております。					
	26 併用や専門に求めた支援を行なうなど、マイクロ・コンサルタントの提供を受けているか。また、保健所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援などの専門家との間で、支援内容等の連携が充実しているか。	75%	25%	必要に応じて、連絡する幼稚園や保健室の方との情報共有を行なっております。					
	27 就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容の情報の共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	併設する幼稚園等でサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に繋げています。					
	(28~30)、センターのみ回答								
	28 地域の林の児童発達支援センターへ連絡する際は、保護者名と専門事業所名と情報を図り、地域全体の目的に応じる取組等を行なっているか。			(センターではいるため回答なし)					
	29 貢献の向こを図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)					
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)					
	(31)、事業所のみ回答								
	31 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	25%	問題があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。					
保護者への対応等	32 保健所や認定こども園、幼稚園等との交渉、地域での仲介など活動を実施しているか。	38%	63%	合意し話し合を設けています。					
	33 日曜からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	適切なコミュニケーションが取れています。					
	34 家族の対応の内を図る視点から、家族に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報提供を行なっているか。	63%	38%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での光景にご利用いただけるよう頑張りお伝えしております。					
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	88%	13%	ご質問の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。					
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもの保護者の意見の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家族の意見を尊重する機会を行なっているか。	88%	13%	ご質問の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。					
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行なう。保護者から児童発達支援センターとの連絡を図っているか。	100%	0%	ご質問の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。					
	38 定期的に、家庭等からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて満足、ご相談に応じております。					
	39 父母の会の会員を支援するこども、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さくらどり(同士で支える会)を開催しているか。	38%	63%	ご要望に応じて、対応させていただけております。					
	40 お子様の行動や問題行動に対する対応の説明を行なう。対応の説明を垂れるとともに、こどもや保護者に理解してもらうために図示する等を行なっているか。	100%	0%	各事業所での対応の内容を図示する機会を設けており、各事業所にご相談しやすい内容は、会員登録料にて相談できるよう頑張りお伝えしております。					
	41 対応の説明や問題行動に対する対応の説明を行なう。YやSNS等を活用することにより、活動説明や行事予定、施設体制等の情報をこどもや保護者に対する発信を行なっているか。	75%	25%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご理解いただけた取り組みを行なっております。					
非常時の対応	42 個人情報を取扱う際に十分留意しているか。	88%	13%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。					
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎かや障害伝達のための配慮をしているか。	75%	25%	より円滑にお伝え出来るよう努めております。					
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	50%	50%	今後検討していきたいと思います。					
	45 事業所の上級アシスタント、低年齢対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に用意するとともに、会員登録した会員情報を保護しているか。	88%	13%	マニュアル等の策定をしており、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。					
	46 乗用車統計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	88%	13%	乗用車統計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。					
	47 事前に、灌漑や手動接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	お子さまの状況については職員に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めています。					
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の指導書に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一食を制作し職員が一日で分けるような工夫をしております。					
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な指導を講じる等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行なっております。					
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連絡を取れるよう、安全面に基づく看板内容について、家庭等へ周知しているか。	100%	0%	看板でも情報を共有しながら、必要に応じて面接を行なっております。					
51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事業例ではありませんが、並行なども入れをし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を虚偽共有しております。また、事業所の管理者とも共有する体制を整えております。						
	52 血液を吸止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	血液吸止装置を設置するため、定期的な研修や訓練を行なっております。					
	53 どのような場合やや自身が身体拘束を行うについて、細胞内に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、兒童暴力防止規制に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性を基にしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっております。また、計画にも反映しております。					

公表

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド118ひたちなか店(パーク)	公表日 2025年10月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制・機関	1 利用者員が急救支援室等のスペースとの連絡で適切であるか。	100%	0%	本当に適切で、また活動に合わせたフォローを用意しておられます。
	2 利用者員や子どもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	職員や保育士資格のある職員を配置して、人員配置を適切にしています。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。
	3 生活空間は、これによりよりすぐり適応された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報化など、環境上の配置が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行なっております。環境整備に際しては毎日から小さな話し合いを行なっております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所で用意することが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の支援や小集団グループなどでの活動を行うことが出来るように対応をしております。
施設・設備・機器	6 美術改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く改善が参画しているか。	75%	25%	定期的に会議を開催して経過を報告して行なっております。
	7 保護者向け評議表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	LINE等を活用し、意見のしやすい環境である
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職場の雰囲気を気に配り、コミュニケーションを大切にしている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	今後、検討してみたいと思います。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師をいたる研修による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11 適切に女性プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー掲載情報、スタッフ間で育児内容の確認、検討を行ない、公表しております。
	12 保護者のこどもに対してアセスメントを適切にし、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからおこなわれるお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者がだけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの養育の責任を考慮しているか。	100%	0%	お子さまの成長の責任を一丸として、お子さまの養育の責任を考慮した検討上、非常に職員が力を入れております。
	14 児童発達支援計画が職員用に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントで実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。
	16 「相談支援・相談情報、のねらい及び支援内容も満足ながら、こどもの支援に必要な情報が適切に伝達され、その上で、具体的な支援内容が示されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のこどもを育む全般的な知識を共有できる様、情報共有しております。
	17 活動プログラムの案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員用でプログラムを考案し、実際に活動に繋げられるよう工夫し実践しております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムによる見直しを行なっており、工夫したりしております。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	こどもの状況に合わせて、個別活動や集団での個別化や支援方法等を計画書に取り入れております。
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割を分離について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、勤務職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	100%	0%	活動時間も同様に異なるため、勤務職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22 日々の文書に記載で記録をとることを徹底し、文書の記録・改善につなげているか。	100%	0%	監視的に記録できるように実施し、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。
関係機関や保護者との連携	24 傷害行為指導事業所のサービス担当者や保健指導員との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるようにしております。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。
	26 所行利用や移動に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保健所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校などの機関と連携して支援の内容を把握しているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ダイヤリースクールとの連携を図りながら、こどもが学校との情報共有に図っています。
	(28~30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターへ障害通所支援事業者等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組を行なっているか。			{センターではないため回答なし}
	29 貢の向上を図るため、積極的に専門や専門学校等から助言を受けたり、職員を外部部に参加させているか。			{センターではないため回答なし}
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			{センターではないため回答なし}
	(31は、事業所のみ回答)			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	50%	25%	問題があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32 保育料や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でのこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	こどもの状況に応じて、対応させていただけております。
	33 日頃からこどもの状況を把握する機会と伝え、こどもの状況や状況について連絡を持つ機会を持つているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子を伝えておいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく際は連絡が取れるよう努めています。
	34 家庭の対応力の向上を図る親類から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング)や家庭学の参加できる研修の機会や情報提供等を行なっているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「毎日の便り」として日々発信を怠り、家庭での支援にご活用いただけようかとお伝えしております。
保護者への説明等	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご契約の際に説明をさせていただき、また、ご不明な点に際しては随時ご説明させていただいております。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもの養育の立場に考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明をさせていただき、また、定期的なモニタリングなども通じてお子様や保護者様のご負担のご確認を行なっております。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行なう。保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明をさせていただき、また、ご不明な点に際しては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。
	38 定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適応に応じ、面談や必要な相談と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて適応に、ご相談に応じております。
	39 父母の会の活動を実施するところや、保護者会を開催する所等に、保護者会員を招請する所等に開催する所等を実施しているか。	50%	50%	ご希望に応じて、対応させていただけております。
	40 こどもや保護者からの相談や申立てについて、対応体制を整備することにより、こどもや保護者に周知し、相談や申立てがあった場合に迅速かつ適切に応じているか。	100%	0%	各事業所の皆音頭を担当すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合対応窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。
	41 定期的に通報会を実行することにより、活動実績や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。
	42 団体修業の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や異動時に力を入れております。
	43 障害のあるこどもや保護者の意思の疎通や情報遮断のための配慮をしているか。	100%	0%	より円満にお伝え出来るよう努めております。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討してみたいと思います。
	45 安全事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を制定し、職員や医療等に周知するとともに、発生を未然に防ぐ対応を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、実証的な研修や訓練の実施を行なっております。
	46 安全統括計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、曳出その必要な訓練を行なっているか。	75%	25%	安全統括計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。
	47 事前に、事業者や子供保護課、まんかん委託等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しておき、職員間で情報共有し、対応に努めております。
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の医療書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員一員で分かるよう工夫しております。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基準を設ける等、安全計画に基づく取組について、家庭等に周知しているか。	75%	25%	定期的に行っております。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組について、家庭等に周知しているか。	75%	25%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。
	51 ヒヤリハットを事業所内外に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありますから、並みなことでも記入をし、事業所でヒヤリハット（インシデント）を適宜共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52 病院を訪れるため、職員の研修等を実施する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待の防止を含む研修を行なうとともに、定期的な研修を行なっております。
	53 どのような状況でのどの対応を行なうか、医療機関との連携を行なうかについて、組織の内規に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、災難対応指揮官等を設ける。	75%	25%	対応性・多角性・一貫性を踏まえた場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年10月31日			
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	教育や保健士資格のある職員を配置して、人員整備を進めております。また有資格者による支援も行うことが出来るように対応しております。	
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	80%	20%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。	
事業改善	6 実績改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実績改善につなげているか。	60%	40%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実績改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を実績改善につなげているか。	20%	80%	今後、検討していくかと思います。	
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	80%	20%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。	
	12 保護のこどもに対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの改善の効果を考慮し検討の上、児童発達支援を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。	
定期的に実施する評議会	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容の踏まえなど、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方法を取組んでおります。	
	20 支援開始時には職員間で会話を含めて行い、その会話による支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会話時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や団体内によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	100%	0%	直前の時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有が出来よう、記録や団体内によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に努めています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解しておられる職員が参加できるよう努めています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
利用者への対応	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27 教育終了の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	60%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。	
児童虐待への対応	34 家庭の内応の内応を認める親から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	60%	40%	家族の参加できる研修は行っていませんが、家庭での認知の方などの教育や座談、情報提供を行なっています。	
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただいているため。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただいているため。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の間に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望していただいているため。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な相談や対応させていただいているため。	
児童虐待への対応	39 父母の間の抗争を支援することや、保護者会議で交渉する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	今後保護者同士の交渉の機会などを設けることについて検討したいと思います。	
	40 こどもや保護者の間で交渉する機会を設けることや、保護者会議で交渉する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい環境を整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に虐待を実施する者や、SNS等を用いることで、相談や申入れがあった場合に虐待を実施する者や、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して開示しているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについて説明いただける取り組みを行なっております。	
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。	
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や専門性の確保等のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。	
安全管理等の対応	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	40%	60%	今後、地域住民を招待してのイベントなどを企画したいと思います。	
	45 家庭外マニフェスティバル、電気棒対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒がいた場合に実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。	
	46 安全統計計画（BSC）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっているか。	100%	0%	業務統計計画（BSC）の策定を行なっております。	
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	80%	20%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。	
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が得られるよう、安全計画に基づく内容について、職員間で確認しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	80%	20%	事業集団ではヒヤリハット（インシデント）を直面共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を行なっております。	
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド123作新台店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	子どもの尊厳を考えて配置している。 走り回しても子どもがいるで他の席にもなるので何か工夫して対策できればと思います。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を適切としております。また有資格者による支援も行うことが出来るように対応しております。		
	3 生き方室は、こどもにわかりやすく構成された隠れになっているか。また、事業所の設備等は、隠れの特性に応じ、バリアフリー化や隠れ設備、施設上の隠れが適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生き空間は、楽室で、心地よく過ごせる隠れになっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。隠れ設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や隠れを使用するが認められる隠れになっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の隠れでの支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。		
事業改善策	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	83%	17%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	83%	17%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を実施改善につなげているか。	83%	17%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するよう努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断を考慮し複数の上、児童発達支援計画を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	83%	17%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。		
定期的に実施する評議会	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	83%	17%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と班活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や集団での取り組みや支援方法等に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その進行する支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもありますから、専門的支援を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	67%	33%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的支援を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実際に見直しをかけて記録するように努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎日のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%	必要に応じて適宜連携しております。		
定期的に実施する評議会	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	必要に応じて、連携する幼稚園や保健所の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	33%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	(28~30)センターやみどり園					
	地域の他の児童発達支援センターと連携を図り、支援内容等の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため園を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)は、事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	67%	33%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
児童等への対応等	34 家族の立場の内にある親を図る親から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望していただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切、相談に応じております。		
児童等への対応等	39 父母の立場の児童を支援することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場からお伝えしていくことや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するこどもや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めています。		
児童等への対応等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェア、電気持株会員マニフェア、巡回訪問マニフェア、巡回訪問マニフェア等を実施し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の保護者を実施しているか。	83%	17%	マニフェアの実施の順番を決定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸や角丸等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
安全管理等の対応等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実行しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の保護者を確認する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事業所内でもヒヤリハットを検討することとともに、定期的なヒヤリハット等の実施を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、荒差し対応を行なっているか。	83%	17%	利用者・赤外性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 事業所における自己評価結果

公表

公表日 2025年10月31日

事業所名	事業所における自己評価結果			
項目	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用実績が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に準じ、また活動に合わせたプロアをご用意しております。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	12%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報基盤、環境に配慮がなされているか。	75%	25%	必要に応じて職員がウォークを行なっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の行動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関して日々からまめな話し合いを行っております。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	38%	62%	個々の提案がしやすい雰囲気はある。
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する会合を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるよう努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	会員ミーティングと、その内容をノートで共有している。グループLINEにて、カンファレンスができるようとしている
	9 第二者に対する外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	会員、検討してみたいといいます。
	10 職員の質の向上に図るために、研修を実施する機会を設けて研修を実施しているか。	50%	50%	会員研修のほかに、研修会議の開催や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。
満足度の評価	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	12%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で連携内容の確認、見直しを行なっております。
	12 他の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していきたい。	75%	25%	アセスメントを行い、さらに保護者さまから意見をお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るよう努めております。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門職だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの審査の判断を考慮して、連携が行われているか。	63%	38%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの権利の利益を考慮し検討の上、両部門職員を含む全ての職員に共通理解ができる事、情報共有しております。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	63%	38%	お子さまのご利害の際の審査課題などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15 その他の適切な状況で、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを用いて評議を行なっているか。	50%	50%	個別検査の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の参考として活用しております。
児童発達支援計画	16 「扶養料支給手帳」は、児童扶養手帳ガイドラインの「児童扶養の提供すべき支援」の「本人支援」、「旅行支援」及び「扶養料支給・地図情報」の内容及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な情報が適切に記載され、その上、具体的な支援内容が記載されているか。	88%	12%	お子様や保護者のご要望も踏まえながら、児童扶養支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。
	17 会員プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	毎月職員会でプログラムを考査し、充実した活動に繋がられるよう工夫し検討しております。
	18 会員プログラムが確定しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになる見直しを行ったり、工夫したりしております。
	19 その他の状況に応じて、都度活動に適切な扶養料を組み合せて児童扶養支援計画を作成し、支援が行われているか。	88%	12%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、都度対応や東西での見直しや支援方法等を計画書に取り入れております。
	20 支援開始前に職員間で必ず合せを行い、その上行われる支援の内容や評議分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	出勤時間が異なることもあるため、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
会員の支援	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その後行われた支援の振り返りを行い、烹煮いた点等を共有しているか。	38%	62%	運動時間も時間に異なることがあるため、毎回に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、実施の検証・改善につなげているか。	88%	12%	客観的に分析できることに非常に非常に貴重をかけて記入するよう努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童扶養支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。
	24 障害児対応支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	88%	12%	日頃お子さまの状態をよく理解している職員が参考できるよう努めております。
	25 地域の保健、医療（主治医や歯科医師等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	63%	38%	法令に応じて連携実績しております。
障害児対応支援事業所	26 併用利用や移行に向けた支援手帳など、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等と連携して、実施内容の情報共有と支援連携を行っているか。	38%	62%	法令に応じて、適度な幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。
	27 教育学の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容の情報共有と指導連携を図っているか。	50%	50%	併設する放課後等デイサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努めています。
	28 (28~304)、センターのみ回答			
	地域の市の児童扶養支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)
	29 施設の運営を図るため、機能的に専門性や専門知識等から専門性を受けたり、職員は外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)
地域との連携	30 地域の児童扶養支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)
	(31)は、事業所のみ回答			
	31 地域の保健医療福祉センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	25%	62%	問題があった際にには情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でこども活動する機会があるか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいている。
	33 日頃から子どもの状況を保健者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただけたり、電子送迎板による記録を提供させていただけたりして共通理解が持てるよう努めております。
保健者への情報等	34 家族の担当の内に円を図る親類等と連携等を行なっているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただける様にお伝えしております。
	35 運動規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただけます。また、ご不明点に応じては随時ご説明させていただけます。
	36 児童扶養支援計画を作成する際には、子どもが保護者の意思の尊重、子どもが保護者の利益の尊重の観点を踏まえ、子どもが家庭の尊厳を尊重する機会を設けているか。	88%	12%	ご要望の際に説明させていただけます。また、ご不明点に応じては随時ご説明させていただけます。
	37 「児童扶養支援計画」を示しながら支援内容の説明をり、保護者から児童扶養支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただけます。また、ご不明点に応じては随時ご説明させていただけます。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩みに対する相談に適応に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適宜、ご相談に応じております。
保健者への情報等	39 父母の介助の際を支援することや、保護者紹介を担当する等に応じて、保護者紹介を担当する等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいている。
	40 ご自身が保健者等の親類等と連携等を行なっているか。	88%	12%	各事業所の苦情窓口を設置すると共に、各事業所にご相談しやすい内容、結合受付窓口にて相談できるよう随時お伝えしております。
	41 定期的に連絡等を実行することや、HP・SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	50%	50%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご相談いただけた取り組みを行なっております。
	42 個人情報を取扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に個人情報を記入し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。
	43 保健のあらじょうや保護者の心の問題や心の問題に対する対応をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。
会員等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	62%	今後検討してみたいと思います。
	45 保健訪問マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応を記載しているか。	88%	12%	マニュアルの変更を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。
	46 業務統計計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、移設等への訓練を行なっているか。	75%	25%	業務統計計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。
	47 事前に、緊急時防護服、てんかん发作等の子どもの状況を確認しているか。	88%	12%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員用で情報共有をし、対応に努めております。
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断に基づいて対応しているか。	88%	12%	事務所内で一冊を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練。その社必要な指針を定め、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	定期的に行なっております。
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、発生した際の対応を記載しているか。	75%	25%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて開示を行なっております。
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではなめらかに記載し、改進することにより、改進のための対応を実施しております。また、事業所の管理者とも共有する体制を整えております。
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	88%	12%	事故防止委員会を設置するとともに、定期的な体制を実施してあります。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決めておき、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、尽量免責状況に記載しているか。	88%	12%	切実性・非代替性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名		事業所における自己評価結果			
グローバルキッズメソッド128沼津店(パーク)		公表日 2025年10月31日			
チェック項目					
環境・体制整備	1 利用児童が免進学認定のスペースとの密接な連携であるか。	38%	63%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意しております。	
	2 利用児童や子どもの状況等に対して、職員の配置は適切であるか。	63%	38%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員基準を満たしております。また有資格者による支援も行なうことが出来るよう配慮しております。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報表示等、福祉との連携が図られているか。	38%	63%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	63%	38%	毎日、清掃を行っております。環境設営に関しては日頃から小さな話し合いを行っております。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	50%	50%	お子さまの状況に合わせて個別の支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)は、広く職員が参画しているか。	63%	38%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7 保護者向け評議会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	いろいろ企画を考え、秋祭りなど書んでいたけだす声を保護者の方から直接伺ったので、また書んでいただける内容を考えたい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、改善情報の移転、改善に努めております。	
	9 第三者による外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	38%	63%	今後、検討していくかと思います。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や内定者で研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	グローバルで開催される毎月の研修勉強会は、とても良い学びの機会となっていて、感謝しております。	
	11 透明に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	フレクションカレンダー作成の際、スタッフ間で情報内容の確認、見直しを行ない、公表しております。	
	12 保護者の子どもに対してアセスメントを透明に行い、こども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	75%	25%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからの意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めております。	
	13 児童発達支援計画を実施する際は、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの養育の科目的を考慮した支援内容が実施されているか。	68%	13%	お子さまの成長の状況に合わせ、お子さまの基準の利害を考慮し検討の上、本部勤務職員を含む全ての職員と共に理解ができる様、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	13%	お子さまのご利用の際の個別相談などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15 こどもの状況に応じて、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により適応しているか。	88%	13%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの育達の状況の参考として活用しております。	
適切な支援の提供	16 保護者や保護者団体には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「行事支援」及び「地域支援」等の内容を記載した冊子等を配布しているか。	88%	13%	お子様や保護者様のこどもの状況に合わせながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の状況が必要な支援内容の設定に努めております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	88%	13%	全員揃って考えるのは難しいが、毎月決めて内容を更新するように工夫している。	
	18 活動プログラムが定型化しないよう工夫しているか。	88%	13%	毎月いろいろなものも内容を変えるように工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別化された活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行なっているか。	88%	13%	ご希望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別化された活動を行なうように努めています。	
	20 支援開始前に職員で必ず打ち合わせを行い、その日の行なわれる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	50%	50%	出勤情報が異なることもありますので、常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日の行なわれる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%	75%	運動情報も情報に異なることがあるため、情報に常勤職員を中心に情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22 日々の支援に実際で記録をとることを徹底し、支援の確認・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるよう手帳と見直しで見直し、記録を参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	88%	13%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。	
障害児支援や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者が会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50%	50%	日頃のお子さまの状況をよく理解している職員が参加できるよう努めています。	
	25 地域の医療、医療(主治医や歯科医療専門医等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	必要に応じて直連しております。	
	26 併用利用や専門利用の支援をうながす、階層的・個別化された支援内容や、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	13%	必修に応じて、週度による社説面や保護者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27 学校との連携の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	63%	38%	併設する放課後等ダイバーシティ事業との情報共有を図しながら、ご希望があれば学校との情報共有に努めています。	
	(28~303.センターのみ回答)				
	28 地域の児童発達支援センター等や障害児相談事業所と連携を図り、地域全体の質的向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献の向上を図るために、階層的に専門化や専門機関等から効率を受けたり、職員が外研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(31.事務所のみ回答)				
	32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	
保護者への対応	33 保護者や認定こどもの児童や保護者等の交流や、地域の中でこどものこども活動の機会があるか。	88%	13%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただきます。	
	34 家庭の状況の向上を図る観点から、家庭に対して家庭支援プログラム(アベント・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報提供を行なっているか。			お子さまの状況や必要性に応じて、記録を参考するように努めています。	
	35 連絡規則、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただいたり、また、ご不明な点で説明して貰いたい場合は、ご契約の際に説明させていただきます。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの基準の利害の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意見を尊重する機会を設けているか。	88%	13%	ご契約の際に説明させていただいたり、また、定期的なモニタリングなどもお子様や保護者様のご以前の確認を行なっていただいている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただいたり、また、ご不明な点で説明して貰いたい場合は、ご契約の際に説明させていただきます。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩みに対する相談に応じて、面接や必要な助言と支援を行なっているか。	88%	13%	ご希望に応じて適度、ご相談に応じております。	
	39 父母の子育ての活動を支援することや、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さうする際の対応を記載しているか。	13%	88%	ご希望に応じて、対応させていただいている。	
	40 こどもが保護者の状況を把握する際には、こどもや保護者との意見の尊重、こどもの基準の利害の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや保護者に意見を尊重する機会を設けているか。	88%	13%	各事業所での対応を設けております。	
	41 定期的に、連絡規則等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動規則や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	63%	38%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	見守や送迎の際など、名札で利用者名がわかつてしまうのを今後対応する	
安全管理等の対応	43 保護者の心と体の健康を保つための運動等を実施しているか。	100%	0%	より円滑にお届け出来るように努めています。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開いた事業運営を図っているか。	25%	75%	今後検討していくかと思います。	
	45 家庭がマニュコール、緊急時対応マニュコール、防犯マニュコール、感染症対応マニュコール等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生を定期的に訓練を実施しているか。	75%	25%	マニュコールの策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
	46 東京歯科大学(BCP)を策定するとともに、感染症対応マニュコール等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生を定期的に訓練を実施しているか。	100%	0%	東京歯科大学(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。	
	47 事務的に、認証や手帳推進、専らかん作業等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事務に確認しており、職員間で情報共有をしております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、園内の飲食等に基づく対応がされているか。	75%	25%	事務所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。	
	49 安全装置を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基準を踏まじら、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	75%	25%	定期的に実施しております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られているよう、安全装置に基づく基準内容について、家庭等へ周知しているか。	63%	38%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	88%	13%	事業集団ではヒヤリハットを意識しておられます。また、事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52 喫煙を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行なっているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な研修を行ない、虐待防止に努めております。	
	53 どのような場合に心を得ず身体的暴力を行なうかについて、組織的に決まり、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、尼農身道支援計画に記載しているか。	88%	13%	個別性、非代替性、一時性を踏ましている場合で、非代替的実施を行なった場合には記録を行なっております。また、計画にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

**公表** 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド129船橋見足店(パーク)	公表日	2025年10月31日
事業所名	グローバルキッズメソッド129船橋見足店(パーク)	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ
	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25%	75%
	利用定員などとの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17%	83%
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や清掃設備等、環境の配慮が適切にされているか。	75%	25%
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごし易い環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	75%	25%
	必要に応じて、こどもが個別に宿題や場所を使用することが認められた環境になっているか。	83%	17%
	施設改修を始めたためのPIRA・サクル標準変更に並んで、広く職員が参画しているか。	75%	25%
	保護者側の評価書に、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	92%	8%
	第三者による外部評議を行い、評議結果を業務改善につなげているか。	50%	50%
業務改善	職員の質の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	92%	8%
	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%
	児童発達支援計画を作成するに際して、児童発達支援専門員だけではなく、こどもの支権に関わる職員が児童発達支援の下で、こどもの経験の利点を考慮した検討が行われているか。	83%	17%
	児童発達支援計画が児童に与えられ、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%
	こどもの個々の特性の把握、運営されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いることにより検討しているか。	100%	0%
	児童発達支援計画には、児童発達支援ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「児童発達支援の実施にあたっての留意点」等の各項目を記載しているか。	92%	8%
	児童発達支援計画は、児童発達支援センターの「児童発達支援センターの運営と評議会」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「児童発達支援の実施にあたっての留意点」等の各項目を記載しているか。	100%	0%
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%
適切な支援の提供	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%
	支援開始前に親員側で合意を行い、その日行われる支援の振り振りを行い、気付いた点等を共有しているか。	92%	8%
	支援終了後には、職員間で必ず合意を行い、その日行われた支援の振り振りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%
	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%
	定期的に活動の立案をチームで行っているか。	100%	0%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	個々のこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を図っているか。	50%	50%
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	100%	0%
	(28~30日)センターのみ(回答)		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	92%	8%
関係機関や保護者との連携	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	92%	8%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	92%	8%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	92%	8%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	50%	50%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	100%	0%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	42%	58%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	100%	0%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	92%	8%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	100%	0%
	保護者や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、必要に応じてスパーカイズや訪問等を実施しているか。	92%	8%
保護者への諮詢等	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
	保護者側の評価書をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%
非常時等の対応	事業所の行に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	25%	75%
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	92%	8%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%
	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド130甲店(パーク)				公表日	2025年10月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など			
環境・体制整備	1 利用定員が免達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	空間に繋がる扉の鍵の位置を子どもたちの手の届かない場所に設置するより良くなると思います。			
	2 利用定員や子どもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	事前研修や引継ぎ体制をさらに充実させる必要がある。長期的には内部職員の定年離職を踏まえ、外部依存度を減らす仕組みづくりが望まれる。			
	3 生活空間は、子どもたちがやりやすい環境化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、障壁の改善が適切になされているか。	83%	17%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。職員設備に関しては日頃から小まめな話し合いを行なっております。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	毎日、清掃を行っております。職員設備に関しては日頃から小まめな話し合いを行なっております。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団(グループ)などの活動を行うことが出来るよう努めをしております。			
業務改善	6 免達収容を兼ねたためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)、広く職員が参画しているか。	50%	50%	定期的に会議やミーティングを開き、職員が意見を出し合える場が確保されている。目標設定の会場から業務の職員が回り、現場の意見が反映されやすくなっている。			
	7 保護者に対する評価により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者の声をお聞きし、改善できるよう努めています。			
	8 緊急の見直しを実施する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	職員同士のコミュニケーションがもう少し必要だと思う。職員が意見出しやすいように定期的な会場や話し合いの場を設け、そこであげた意見を業務改善に反映できるよう取り組んでいます。			
	9 第三者による評議会を行い、評議会結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	今後、続けていきたいと思います。			
	10 緊急の見直しを設ける機会を設けており、研修を受講する機会や法人内でも研修を実施する機会が確保されているか。	67%	33%	全社研修のほかに、研修会の視察や外部の研修を依頼する機会による知識向上に力を入れております。			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクレーションやレーダー作成の際、スタッフ間で業務内容の確認、見直しを行ない、公表しております。			
	12 他の子どもに対してアセスメントを適切に扱い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的な会議やミーティングで、子ども一人ひとりの特性和状況を丁寧にアセスメントしている。保護者の意向を聞き取りながら、客観的な視点で障害を整理し、支援計画に反映している。チームで情報共有を怠らない、多角的に分析することで保護者の意見を高めています。			
	13 児童発達支援計画を作成する際は、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの改善の利点を考慮した結果が反映されているか。	67%	33%	支援計画の作成にあたり、管理責任者だけでなく、日々関わる職員も意見を出し合い、意見交換を図っている。子どもの様子を多角的に観察できるよう、会議や記録を渡して情報共有を行なっている。			
	14 児童発達支援計画が職員間に周知されているか。	50%	50%	作成した支援計画は会議と記録を通して職員間で共有されており、共通理解をもって支援にあたっている。日々の支援履歴で改善しながら組み、職員間で連携が取れている。			
	15 子どもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いるなどして適切に評価しているか。	67%	33%	日々の行動観察などインフォーマルな方法も併用し、子どもの適応行動を多角的に評価している。職員によって観察の記録方法や解析に差があるため、共通の基準をさらに明確にする必要がある。			
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「移行支援」及び「世帯支援・社会連携」のいずれか支援内容が組み込まれ、こどもの支援に必要な支援が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が明確に示されているか。	100%	0%	本人支援、家族支援、移行支援、地域支援の各会員を踏まえ、仔細に支援項目を設定している。			
	17 活動プログラムの立案をチームで実行しているか。	100%	0%	職員間で意見を出し合い、子どもの特性やニーズを反映した活動プログラムを作成している。役割分担や情報共有を明確にし、チーム全員で計画の内容を理解した上で実施できる体制を整えている。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	子どもの興味や発達段階に応じて、活動内容や手法を柔軟に変更できるよう工夫している。定期的に振り返りを行い、同じ活動が続かないようプログラムを調整している。新しい教材や遊びの導入、季節・行事に応じた活動を取り入れ、変化を出せている。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や班活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団の要り方や実施方法を画面に取り入れております。			
	20 支援開始前には職員で必ず合せを行い、その日行われる支援の内容や割り勘について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	33%	67%	出勤時刻が異なることもあるため、労働義務を中心に情報共有を図る。記録や団体によるコミュニケーション等で確認に努めております。			
	21 支援終了後に、職員間で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17%	83%	リアルタイムで報告を行なっている。			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記録するよう努めています。定期的に振り返りを行い、同じ活動が続かないようプログラムを調整している。			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の発達のしの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況に必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。			
	24 障害児放課支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状況をよく理解している職員が参加できるよう努めています。			
	25 社域の介護、医療（主治医や脳血管疾患専門医）、薬剤師、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適度連携しております。			
関係機関や保護者との連携	26 併用利用や訪問行動等を行なうなど、イクリューション算数の統合から家庭を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との折衝、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、過度な連携は行なっておりません。			
	27 賢学校の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する幼稚園等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に努めています。			
	(28~30)、センターのみ回答						
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーパイズや助言等を受ける機会を設けているか。	(センターではないため回答なし)					
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交換、地域の中で子ども活動する機会があるか。	(センターではないため回答なし)					
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	(センターではないため回答なし)					
	34 家族の対応力の向上を図る職員から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭講座の参加できる研修の機会や情報提供を行なっているか。	(3)は、事業所のみ回答					
	35 連絡網、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	定期的に説明させていただき、ご不満を聞く際しては現時ご説明させていただいている。			
	36 児童発達支援計画を作成する際は、こどもや保護者の意の疎かさを踏まえているか。こどもの改善の利点を踏まえ、こどもや家族の意を尊重する態度を取っているか。	100%	0%	計画作成の際、面談やアンケートなどで子どもや保護者の情報を踏まえ情報を収集する機会を行なっている。意向を尊重しながら支援目標や内容に反映し、子どもや家族の改善の利益を考慮している。			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画作成の際、面談やアンケートなどで子どもや保護者の情報を踏まえ情報を収集する機会を行なっている。意向を尊重しながら支援目標や内容に反映し、子どもや家族の改善の利益を考慮している。			
保護者への対応	38 定期的に家族との面談等を行うことにより、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて適度な面談・ご相談に応じております。			
	39 父母の心の活動を支援することにより、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、きょうだい(兄弟)に対する支援等の活動を実施しているか。	17%	83%	保護者同士が交流できる場(父母の会や保護者会)の定期開催を実施し、情報共有や相談の機会を増やす。保護者会の内容や時間等を工夫し、参加しやすい環境を整えている。活動の日や問い合わせを職員、保護者に周知し、参加登録を取る工夫を行なう。			
	40 こどもや保護者の心の問題等を踏まえながら、対応の改善を図ることにより、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にて相談しやすい内容は、窓口にてお問い合わせするよう細かくお伝えしております。			
	41 定期的に連絡等を行うことにより、HPやSNS等で実施することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対する対応を行なっているか。	50%	50%	以前ははっきりいって、現時はお手伝いしている。職員が連絡で文書や、保護者会に連絡してお問い合わせするようになっております。			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の管理ルールを確立し、職員全員が遵守する体制を整えている。書類やデータの保管方法、アクセス権限の管理方法、アクセス権限の削除方法に努めている。個人情報に関する研修や指導を定期的に実施し、職員の意識向上を図っている。			
	43 障害のある子どもや保護者との意の疎かさや障壁の強さのための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑に伝達出来るよう努めています。			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	今後検討していくかと思います。			
	45 事業所内マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応を実施しているか。	83%	17%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。			
	46 早期離職計画(BCP)を策定するとともに、緊急災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行なっているか。	83%	17%	早期離職計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。			
	47 事前に、船橋市や防災機関、あんしんネット等を対象して、緊急時対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応を実施しているか。	83%	17%	お子さまの状況については事前に確認して、職員が連絡してお問い合わせするよう努めています。			
非常時の対応	48 食物アレルギーのある子どもについて、医療的指導に基づく対応がされているか。	83%	17%	事業所内で一斉作成を徹底し、一日分からよう工夫をしております。			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な情報を満足させる等、安全管理が十分な状態で実施しているか。	83%	17%	定期的に行なっております。			
	50 子どもの安全確保に関して、家庭等との連携が図られるよう、安全面に基づく助助内容について、家庭等への対応を行なっているか。	83%	17%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて連携を行なっております。			
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事例例ではありませんが、並びなどでも記入し、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適度に共有しております。また、事業所の管理者とも共有する体制を整えております。			
	52 虐待を防止するため、職員の研修会等を確保する等、適切な対応を行なっているか。	67%	33%	虐待防止委員会を設定するとともに、定期的な研修を行なっており、虐待防止に努めています。			
	53 どのような場合やどのような状況で行なうかについて、組織的に決めて、こどもや保護者に事前に十分に明示して了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	身分証明の使用条件や手順を細部にまで明記し、職員全員が理解できる体制を整えている。児童や保護者に事前に説明を行い、同意を得た上で実施する研修計画や記載方法を整備し、必要最小限の対応となるよう配慮している。			

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド131新潟空港通り店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	78%	22%	バーテーションなどを用いている		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	みなさま、一生懸命で真面目らしい。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害考慮、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃を行なっている。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	暮らせるマット(コット)があるのは素晴らしい。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	定期的に会議を開催して話し合いで行なっております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	今後、検討していかなければいけない。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修で研修を実施する機会が確保されているか。	89%	11%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した検討が行われているか。	89%	11%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し検討の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別養育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催する	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等の項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	78%	22%	専用機器用やプログラムを参考し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	保護者からの要望をより、同じ活動を続けて行なう事ができる「作品作り」等		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に組合せて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や団体活動での取り扱いや支援方法等を計画に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会合を行い、その会合で実施する支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	89%	11%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行なって、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会員を共有しているか。	89%	11%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有が出来よう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実際に意見をかけて記録するように努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発連携会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	78%	22%	必要に応じて適宜連携しております。		
利用者への対応等	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を行なっています。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31): 事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	78%	22%	問題があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を監督する機会があるか。	67%	33%	外出レク等があるため利用児童にとっては良い機会となっている		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただったり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力で努めています。		
児童等の支援等	34 家族の立場の内見を頂く親御さんから助言を受けたり、家族等に対する取組等を行なっているか。	67%	33%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑張ってお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する取組に適切に以て、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に応じて適切、ご相談に応じております。		
児童等の支援等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいている。		
	40 こどもや保護者の立場からお伝えしていくか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう構えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	89%	11%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてご要望いただける取り組を行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
児童等の支援等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	67%	33%	今後検討していくかと思います。		
	45 連絡担当マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みで実習しているか。	89%	11%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっています。	89%	11%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	89%	11%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。		
安全管理等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場で確認されよう、安全計画に基づく内容について、安全計画等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業所内にヒヤリハットを記載しておき、定期的に検討を行なっております。		
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修機会を設けるとともに、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護計画に記載しているか。	100%	0%	利用者、赤外線性、一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド132南上沼店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序を実施してあります。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。		
	3 生き方指導は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生き空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の部屋や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。		
事業改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	50%	50%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	50%	50%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	今後、継続していかなければいけません。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	50%	50%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	50%	50%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行ない、公表しております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	50%	50%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	50%	50%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利権を考慮し複数の上、児童発達支援職を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内、「問い合わせ支援等」の項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	50%	50%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	50%	50%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
	18 活動プログラムが固定化しているか工夫しているか。	100%	0%	おでかけの趣向が豊富で面白い		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切に児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	50%	50%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別に応じて個別での限りでより支援方法等を計画に取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で会合を含めて、その行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	50%	50%	出勤時間は異なることもありますから、専門的支援を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行なうことで、その行われた支援の振り返りを行い、貢献した点を共有しているか。	50%	50%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的支援を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%	定期的に分析できるように実施し意見をかけて記録に記入するよう努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	50%	50%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50%	50%	毎月の点検会議にて情報共有を行なっております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保育士等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	必要に応じて適宜連携しております。		
定期的に評議会を開催	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育終了の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	(28~30)、センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31)、事務所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っています。	50%	50%	送迎等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡帳による記録を提供させていただく際はお伝えしていただいているため。		
児童等への対応等	34 家族の立場の内見を頂く親御さんから、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利権の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	50%	50%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	50%	50%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
児童等への対応等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場からおれについて、対応の形を整えるとともに、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に沿って対応しているか。	50%	50%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所にて相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	50%	50%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
児童等の対応等	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	50%	50%	今後検討していくかと思います。		
	45 家庭訪問マニフェア、電気持株会マニュアル、巡回持株会マニュアル、巡回訪問マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が持株会を実施しているか。	50%	50%	マニュアル等の策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	50%	50%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まんかん角角等のこどもの状況を確認しているか。	50%	50%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をしております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	50%	50%	事業所内にて監査を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。		
安全管理等の対応等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施し、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	50%	50%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が得られるよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	50%	50%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	50%	50%	事業所内でもヒヤリハットを認識しておき、定期的に検討を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	50%	50%	事故防止のため、職員の研修等を実施するとともに、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に反映しているか。	50%	50%	初回、一時性・持続性、一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は結果を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

六

### 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド133厚木及川店(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制・機関	1 利用者員が児童支援室等のスペースとの連携で適切であるか。	100%	0%	本当に適切で、また活動に合わせたフォローをご用意しておられます。	
	2 利用者員や子どもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	職員や保育士資格のある職員を配置して、人員配置を適切にしております。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。	
	3 生活空間は、これによりよりすぐり適応された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報提供等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行なっております。環境整備に定めで毎日から小さな話し合いを行なっております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所で用事をすることが認められた環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るように対応しております。	
事業所改善	6 美容改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く改善が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行なっております。	
	7 保護者向け評議表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報の検討、改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を実施改善につなげているか。	100%	0%	今後、検討してみたいと思います。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師をいたし研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11 適切に女性プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	レクリエーションカレンダー掲載、スタッフ間で情報の確認、検討を行ない、公表しております。	
	12 保護者のこどもに対してアセスメントを適切にし、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからお見せ頂いたお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者がだけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの養育の責任を考慮しているか。	100%	0%	お子さまの成長の状況を合わせて、お子さまの養育の判断を考慮した上、非常に職員を含む全ての職員が共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画が職員用に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別療育などでの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により確認しているか。	100%	0%	個別療育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。	
	16 「相談支援・相談援助」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な情報が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のこだわりを踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。	
	17 活動プログラムの案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月職員用プログラムを考案し、実際に活動に繋げられるよう工夫し設定しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムによる見直しを行ったり、工夫したりしております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	こどもの状況に合わせて、個別活動や集団での個別化や支援方法等を計画書に取り入れております。	
	20 支援開始時には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割を分離について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	出勤時間が異なることもあるため、個別活動を中心で情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	100%	0%	活動時間も同様に異なるため、個別活動を中心で情報共有出来るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
	22 日々の文書に記載で記録をとることを徹底し、文書の記録・改善につなげているか。	100%	0%	監視的分析できることにより実績と意見とを記録で記入するように努めています。また、モニタリングの際は日々のアフターレコードを参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。	
個別指導や保護者との連携	24 傷害行為指導事業所のサービス担当者や保護情報との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	毎日のお子さまの状況をよく理解している職員が参加できるように努めています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携連携しております。	
	26 所行利用や移動に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保健や育成なども図る、具体的な支援内容を記載する場合、支援内容の記載は必ず記載を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、過度な効率化や保護者の機会との情報共有を行なっております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等デイサービス事業所との連携と共に図りながら、こだわりがわれば学校との情報共有に図げてまいります。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターへ障害通所支援事業者等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組を行なっているか。			{センターではないため回答なし}	
	29 貢の向上を図るため、積極的に専門や専門学校等から助言を受けたり、職員を外部部に参加させているか。			{センターではないため回答なし}	
	30 地域の児童発達支援センター等との連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや奨励券を受ける機会を設けているか。			{センターではないため回答なし}	
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや奨励券を受ける機会を設けているか。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいております。	
	32 保育料や設定料などを、施設や施設等の交換や、地域の中でどのこどもも活動する機会があるか。	100%	0%	こどもに応じて、対応させていただけております。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝て合せ、こどもの状況(状況や状況について)を通じて連携を持つているか。	100%	0%	送迎の際にお子さまの様子をお伝えさせていただけたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく事で連携が持てるように努めています。	
	34 家庭への対応力の向上を図る親睦から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング)や家庭学の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々記録を記録し、家庭での支援にご活用いただけようかお伝えしております。	
保護者への説明等	35 運営用規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明な点に於いては随時ご説明させていただいております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意の尊重、こどもの養育の権利や考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意向を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、定期的なモニタリングなども通じてお子様や保護者様のご負担のご確認を行なっております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行なう。保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明な点に於いては随時ご要望に応じてご説明させていただいております。	
	38 定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適応に応じ、面談や必要な相談と支援を行なっているか。	100%	0%	ご希望に応じて対応させております。	
	39 父母の会の活動を実施するところや、保護者会を開催する等により、保護者同士で交換する機会を設けているか。	100%	0%	ご希望に応じて、対応させていただけております。	
	40 こどもや保護者からの相談や申立てについて、対応体制を整備することにより、こどもや保護者に周知し、相談や申立てがあった場合に迅速かつ適切に応じているか。	100%	0%	各事業所の皆様が対応すると共に、各事業所にご相談しづらい内容は、総合対応窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に通報会を行なうことにより、HPやSNS等を活用することにより、活動報告や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行事などについてご確認いただける取り組みを行なっております。	
	42 団体運営の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書で確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。	
	43 障害のあるこどもや保護者の意思の疎通や情報共有のための配慮をしているか。	100%	0%	より円満にお伝え出来るよう努めています。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	今後検討してみたいと思います。	
	45 安全事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を充実し、職員や医療等に周知するとともに、児童生を対象とした訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
	46 安全統括計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、曳出その必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	安全統括計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。	
	47 事前に、施設等や防災機関、まんから応急待機等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまの状況については事前に確認しておき、職員間で情報共有し、対応に努めております。	
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医療機関の医師等と連携する等、必要な措置を講じているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員一員で分かるよう工夫しております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基準を満たす上で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内外に共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありますが、並みなことでも記入をし、事業所でヒヤリハット(インシデント)を適度に共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52 病院等を訪れるため、職員の研修等を実施する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待の防止を含むして対応している場合とし、身体的束縛を行なった場合には記録を行なっております。	
	53 どのような状況に於ける場合に、どの程度身体拘束を行なうかについて、組織等に決定し、保護者等に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童児生を保護しているか。	100%	0%	適切性・多角性・一貫性を踏まえた場合とし、身体的束縛を行なった場合には記録を行なっております。	
常識等の参考					

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド134北国分店(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目				改善目標、工夫している点など
個々の体制整備	1 利用児童が発達段階等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	活動内容により使うエリアを分けている	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%	教員や保育士職員の各職員を配置して、人材基準を満たしております。また有資格者による支援も行うことが出来るように配慮しております。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設置等は、障害の特性に対応し、バリアフリー化や音楽室等、施設等の配慮が適切にされているか。	88%	12%	机上での活動をするエリアと自由に遊んで動いて良いエリアを明確化している点	
	4 生活空間は、清潔で、小児よく過ごせる環境になっているか。また、ごども達の活動に合った空間となっているか。	100%	0%	子どもたちが生活する場所は常に清潔にしてあります。改善点としては長髪が置いてある個室が狭く収納スペースも少ないため整理整頓していく	
	5 必要な対応で、子どもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室で落ち着いて過ごせるようお人形やブランケットも用意しています	
業務改善推進	6 施設改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	88%	12%	定期的に会議を開催して話し合を行っております。	
	7 保護者向け評議表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	今年度評議会はまだ実施していないが、公表後はスタッフ全員で共有していく	
	8 職員の意識を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、従業員情報の検討、改善に努めています。	
	9 第三者による外部評議会(評議会)で評議会実施改善につなげているか。	63%	38%	今後、検討していくかと思います。	
	10 職員の資格の向上を図るために、研修を実施する場合法人内研修を実施する機会が確保されているか。	75%	25%	全社研修のほかに、研修動画の見習いや外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成・公表されているか。	88%	12%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行ない、公表しております。	
	12 子どものためにアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのお褒めやお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように努めしております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際は、児童発達支援責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの弱さの評価を適切にし、機会が得られているか。	75%	25%	お子さまの成長の状態に合わせ、お子さまの養育の利益を考慮し検討の上、非常に職員を含む全ての職員が共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	88%	12%	お子さまの利用の際の別別養育などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15 子どもの部活動の次第は、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを実施する等により適切にしているか。	100%	0%	個別療育の検査を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの発達の状態の参考として活用しております。	
児童発達支援計画	16 「実施支援・検討課題」の記載内容は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「教材支援・検討課題」の記載内容は、保護者等の支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様や保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17 各種プログラムの実施をチームで行っているか。	88%	12%	毎月施設内プログラムを考慮し、充実した活動に取り組まられるよう工夫し設定しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、充実した活動プログラムになるよう見直しを行たり、工夫したりしております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じ、また、お子様の状況に合わせて、個別対応や集団での周囲よりや支援方法等を計畫に取り入れております。	
	20 支援開始前に施設内研修で必ず合せを行い、その日の行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88%	12%	出勤時間が異なることもあるため、定期的に会議で情報共有出来るよう、記録や図面によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
連携実現や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず合せを行い、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	75%	25%	ノートを使用して不在スタッフにも伝達している	
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の跡目・改善に応じているか。	100%	0%	客観的に分析できるように事業と書類をかけて記入しスムーズに進めております。また、モニタリングの際は日々の記録を参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24 障害児童支援事業所のサービス担当者会議や研修会等との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎回お子さまの状況をよく理解している職員が参加できるよう努めています。	
	25 地域の保健、医療（主たる医や専門医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。	
周辺環境や保護者との連携	26 特別利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョンの観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(保育園)などと連携して、支援内容の連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27 就学前の移行の際は、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	学校連携は保護者を直して対応を行なっていることが多いです	
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターへ情報等を提供する等で連携を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させていているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への情報等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(3)は、事業所のみ回答)				
	31 地域の他の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズ等で連携を行なっているか。	50%	38%	問題があった際には情報交換を行ないます。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交換や、地域の中でのこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	地元の祭りなどに参加している	
	33 地域から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	地域連絡にてお子さまの様子をお伝えさせていただいている。電子連絡録による記録を提供させていただく等で共通理解が持てるように努めております。	
保護者への情報等	34 家族の応用力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修会の集合や情報収集等を行なっているか。	75%	25%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々音声報告し、保護者の方にご用意いただけるよう繰りかねてお伝えしております。	
	35 連絡帳、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	75%	25%	ご要望の際に説明させていただき、また、ご不明な点については随時ご要望に応じてご説明させていただいている	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもや保護者の利害の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや保護者の意見を尊重する等で設計しているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただき、また、ご不明な点については随時ご要望に応じてご説明させていただいている	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から優先考慮の観点を踏まえて、必要に応じてスーパーバイズ等で連携を行なっているか。	100%	0%	ご要望の際に説明させていただき、また、ご不明な点については随時ご要望に応じてご説明させていただいている	
	38 定期的に、家族等からの子どもの悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	88%	12%	ご要望に応じて適宜、ご相談に応じております。	
本質的等の対応	39 父母の名前や性別を把握することや、保護者会等を開催する等で、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういう点で児童を交換する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	ご要望に応じて、対応させていただいている	
	40 こどもや保護者からの相談の中に入れて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に見出し、相談や入れがあった場合に添削して対応しているか。	100%	0%	各事業所の相談窓口を設けると共に、各事業所にご相談しやすい内容は、総合受付窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に酒類等を飲むことや、IPやSNS等を活用することにより、活動規制や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	88%	12%	月ごとに活動規制を発信し、活動の様子や行事などについてご相談いただいたり取り組みを行なっております。	
	42 選択情報等を取りいに十分考慮しているか。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や漏洩防止に力を入れております。	
	43 保護のあれるこどもや保護者との懇親の構成や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	外部機の保護者に対し、細胞アリを採用等を行なっております。	
事業所の行事に付随的役割	44 事業所の行事に付随的役割を担当する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	38%	62%	今後検討していくかと思います。	
	45 運営会議やマニフェスティ、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生した際の対応を実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行なっております。	
	46 事業継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行なっているか。	75%	25%	事業継続計画(BCP)の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。	
	47 事前に、緊急事態や予防接種、なんか角角等のこどもの状況を確認しているか。	88%	12%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めております。	
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の指示に基づいて対応しているか。	63%	38%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしております。	
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な指導を実施する等、安全管理が十分された中で支障が行われているか。	75%	25%	定期的に行なっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家庭等の配慮が図られるよう、安全対応が基づく取組内容について、家庭等へ周知しているか。	63%	38%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて開示を行なっております。	
	51 ビセリバットを事業所内に設置する等、虐待防止に取り組んでいます。	100%	0%	事業所内にビセリバット(インシデント)を適宜共有しております。また、出事務所の管理者とも共有する体制を取っております。	
	52 喫煙を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	喫煙防止委員会を設置するとともに、定期的な研修を行なっております。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、細胞拘束に応じ、こどもや保護者に常に十分に説明し了解を得た上で、大量飲食対応に見直しているか。	100%	0%	7対性・虐待性・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド135横ノ井店(パーク)			公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	その日の利用人数や、子どもの様子、部屋を使い分けられるのが良い	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、児童整序による支援を行うことが出来るように配慮しております。	
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4 生きる空間は、楽器で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。	
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	50%	50%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。	
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行っております。	
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切にを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。	
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の立場を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により把握しているか。	50%	50%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。	
定期的に評議会を開催	16 「児童発達支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等の上記各項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。	
	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	50%	50%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し設定しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と団体活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や団体活動での取り組みや支援方法を組み取り入れております。	
	20 支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	会話時間は異なることもあるため、常に効率的かつ効果的に支援を行なうよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
職員や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会員を共有しているか。	50%	50%	直後時間も同様に異なることがあるため、同様に効率的かつ効果的に記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。	
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実際に見直しをかけて記録するように努めています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
定期的に評議会を開催	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27 教育評議の修習には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	50%	50%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有に図けてまいります。	
	28 (28~30): センターのみ回答				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)	
	29 貢献のため図るため、積極的に専門医や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応等	30 地域の児童発達センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)	
	(31): 事業所のみ回答				
	31 地域の児童発達センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。	
児童等への対応等	34 家族の立場の内にある親から親観察から家庭へ、家庭に対する家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	50%	50%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご利用いただけるよう頑かくお伝えしております。	
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	37 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	38 家庭の立場の内にある親から親観察から家庭へ、家庭に対する家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に応じて適切な情報交換を行っております。	
児童等への対応等	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40 こどもや保護者からの立場の人間関係等について、対応の調整を図ることにより、こどもや保護者に用意し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
	41 定期的に保護者会を開催するなど、連絡手段を用いて保護者と情報交換を行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組みを行なっております。	
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。	
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めております。	
児童等への対応等	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	今後検討していくかと思います。	
	45 保護者マニフェスト、電気料金対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立ち読みするのを防いでいるか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。	
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行っております。	50%	50%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。	
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるような工夫をしております。	
安全管理等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の立場で認めてよう、安全計画に基づく内容について、要領等へ用意しているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行っております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業所内でもヒヤリハットを記録を行なっております。	
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するなどして対応を行なっております。	
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド137新木戸店(パーク)				公表日	2025年10月31日	
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	基本工夫し、職員全体取り組んでいる			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配定数は適切であるか。	56%	44%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を適切としております。また有資格者による支援を行うことが出来るよう配慮しております。			
	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、衛生上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	是正としたスペースで適切しやすい環境だと思ふ 未だ未だ配置していない			
	4 生きる空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	おもちゃをこまめに消毒して、清潔に安全に遊べるよう取り組んでいる			
	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。			
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いで行なっております。			
	7 保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	こまめに共有し理解しやすい			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。			
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	今後、検討していくかと思います。			
	10 職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。			
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行ない、公表しております。			
	12 保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るよう努めております。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の利点を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の利点を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別養育の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。			
定期的に評議会を開催する	16 「保護者支援計画」は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。			
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月職員用プログラムを考慮し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行ったり、工夫したりしております。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と組合せで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	要望が多い筆記記録においては、基本的に毎日取り入れている			
	20 支援開始前に職員間で会合を含め行い、その会に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	支援開始前に限らず情報共有の中で確認している			
職員間や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	89%	11%	支援開始前に限らず情報共有の中で確認している			
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	要望的で分析できるよう事実と見直しをかけて記録するように努めております。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	日頃のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めしております。			
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適切連携しております。			
定期的に評議会を開催する	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっております。			
	27 教育評議の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご希望があれば学校との情報共有に図けてまいります。			
	28 (28~30)、センターのみ回答						
	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)			
	29 貢献のため図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)			
保護者への対応等	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)			
	(31)、事務所のみ回答						
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	78%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいている			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいている			
	33 日からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力でおります。			
児童等への対応等	34 家庭の内での内規を設けるなど親睦を図る。家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか。	100%	0%	事務所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報発信し、家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。			
	35 運営規則、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を踏まえているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいている			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切、相談に応じております。			
児童等への対応等	39 父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。また、さういった同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	ご要望に応じて、対応させていただいている			
	40 こどもが保護者の間の連携を図るために、対外的行動を実施するなど、保護者同士で交換する機会を設ける場合に沿った場合に沿った場合に連携を図っているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。			
	41 定期的に活動を実施することや、SNS等を用いることにより、活動研修や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行ななごにご要望いただける取り組を行なっております。			
	42 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処置に力を入れております。			
	43 保護されるこどもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めております。			
安全管理等の対応等	44 事業所の行事に地元住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	78%	22%	今後検討していくかと思います。			
	45 安全対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が了承する形で実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行い、定期的な研修や訓練の実施を行っております。			
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行っているか。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっており、定期的な研修や訓練を行なっております。			
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を把握しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。			
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づいて対応しているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。			
安全管理等の対応等	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の協力が図られるよう、安全計画に基づく内容について、児童生徒へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行っております。			
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業集団でもヒヤリハットを設置しており、組織ごとに実施してあります。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。			
	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	事故防止対応会議を設置することにより、定期的な研修を行なっております。			
	53 どのような場合にわざわざ身体拘束を行なうかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、危険度を段階的に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド139号店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
従業員評価	1 利用定員が効率支援率のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動をバーカ放ティで少しづつ変えて効率的に運営している		
従業員評価	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮度は適切であるか。	100%	0%	プロックなど大きさで分けて小さい子には細かいものを使わせないよう配慮している		
従業員評価	3 生きる空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	80%	20%	児童に訴える表示を工夫している 障害となることがあるがいるのが良いと思う。		
従業員評価	4 生きる空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	しっかりとおもちまで床面が行き届いて良いと思う。		
従業員評価	5 必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	イヤーマフの使用 靴の脱ぎ替えとして上手に使っていると思う。		
従業員評価	6 実施改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	定期的に会議を開催して話し合いで行っています。		
従業員評価	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
従業員評価	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
従業員評価	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を実施改善につなげているか。	70%	30%	今後、検討していくかと思います。		
従業員評価	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	90%	10%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れてています。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行っています。		
適切な支援の提供	12 保護者ごとにアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
適切な支援の提供	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断を考慮し検討の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
適切な支援の提供	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っています。		
適切な支援の提供	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	90%	10%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
適切な支援の提供	16 「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容等が明確な形で示されているか。	100%	0%	お子様を保護者様のご要望も踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫して実施しております。		
適切な支援の提供	18 活動プログラムが定型化しているか工夫しているか。	90%	10%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
適切な支援の提供	19 こどもの状況に応じて、個別活動や合団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や合団活動の両方で個別にアセスメントを行っています。		
適切な支援の提供	20 支援開始時には職員間で会合を含めて、その行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	会員登録が異なることもありますから、専門スタッフを中心に情報共有を図り、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
適切な支援の提供	21 支援終了後には、職員間で必ず合意を行って、その日行われた支援の振り返りを行い、烹いたお手を共有しているか。	70%	30%	直前時間も同様に異なることがあるため、同様に専門スタッフを中心に情報共有を図り、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
適切な支援の提供	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し見直しをかけています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。		
定期的に評議会を開催する事業所	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っています。		
定期的に評議会を開催する事業所	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発連携会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月の点検会議の形態をよく理解した職員が参加できるよう努めています。		
定期的に評議会を開催する事業所	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	必要に応じて適宜連携しております。		
定期的に評議会を開催する事業所	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や障害者の職員の方との情報共有を行なっています。		
定期的に評議会を開催する事業所	27 教育評議の修習には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90%	10%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っています。		
定期的に評議会を開催する事業所	28 (28~30)センターや団体					
定期的に評議会を開催する事業所	29 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	70%	10%	(センター)ではないため回答なし		
定期的に評議会を開催する事業所	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	50%	50%	(センター)ではないため回答なし		
定期的に評議会を開催する事業所	31 (31)、事務所のみ回答					
定期的に評議会を開催する事業所	32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	他店舗との合併レクレーションが約1月ほど行われている		
定期的に評議会を開催する事業所	33 地域からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
定期的に評議会を開催する事業所	34 家族の立場からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	事務所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑張っております。		
定期的に評議会を開催する事業所	35 支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている		
定期的に評議会を開催する事業所	36 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている		
定期的に評議会を開催する事業所	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の質問を頂いているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいている		
定期的に評議会を開催する事業所	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要約の際に応じて適切、相談に応じております。		
定期的に評議会を開催する事業所	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会議で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	70%	ご要約に応じて、対応させていただいている		
定期的に評議会を開催する事業所	40 こどもや保護者からの立場からみた問題について、対応の実情をとどめることで、こどもや保護者に周知するとともに、各事業所の立場で問題を把握する場合に沿って、対応の実情をとどめることで、こどもや保護者に周知する場合に沿って、対応の実情をとどめているか。	100%	0%	各事業所の立場で問題を把握する場合に沿って、対応の実情をとどめることで、こどもや保護者に周知する場合に沿って、対応の実情をとどめている		
定期的に評議会を開催する事業所	41 定期的に活動を実施するこどもや保護者会議等で実施することにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する情報交換を行っているか。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組みを行なっております。		
定期的に評議会を開催する事業所	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
定期的に評議会を開催する事業所	43 障害のあるこどもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
定期的に評議会を開催する事業所	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	デジタルの方が圧倒的に多いに来て、様子を見に来ていただいている		
定期的に評議会を開催する事業所	45 家庭訪問マニフェア、電気持続対応マニュアル、感染症対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場で実施しているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
定期的に評議会を開催する事業所	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練を行なっています。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
定期的に評議会を開催する事業所	47 事前に、医療や防災接種、まん丸や角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	医療事務は、面接を機に確認している。		
定期的に評議会を開催する事業所	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の皆さまに基く対応がされているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるような工夫をしております。		
定期的に評議会を開催する事業所	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
定期的に評議会を開催する事業所	50 こどもの安全確保に関して、保護者等の皆様が認めたよう、安全計画に基づく内容について、職員等へ周知しているか。	100%	0%	職員でも共有しながら、必要に応じて周知を行なっています。		
定期的に評議会を開催する事業所	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	100%	0%	事業事例は、ヒヤリハットを記載してあります。また、事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
定期的に評議会を開催する事業所	52 事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止対応会議を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
定期的に評議会を開催する事業所	53 どのような場合にわざわざ身体移動を行なうかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒支援に記載しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体移動を行なう場合には説明を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名	グローバルキッズメソッド140上越店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
1	利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮数は適切であるか。	100%	0%	教育や保育資格のある職員を配置して、児童整序を進めております。また有資格者による支援を行うことが出来るよう配慮しております。		
3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
4	生年空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。		
5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	80%	20%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応しております。		
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
6	保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	80%	20%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
8	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	90%	10%	今後、検討していくかと思います。		
9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	100%	0%	全体運営のほかに、研修活動の現状や外部監査をいたる研修による知識向上に力を入れております。		
10	職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	100%	0%	全体運営のほかに、研修活動の現状や外部監査をいたる研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	適切な支援プログラムを作成されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行っております。		
11	保護者に支援プログラムを作成されているか。	100%	0%	アセスメント結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
12	保護者にアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めています。		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの改善の効果を考慮し段階の上、児童発達支援計画を含む全ての職員に共通理解ができる様、情報共有しております。		
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別支援などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
15	こどもの行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により評価しているか。	90%	10%	毎回改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。		
16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めています。		
17	活動プログラムの立案やチームで行っているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫し実施しております。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムによる見直しを行い、工夫したりしております。		
19	こどもの状況に応じて、個別活動や団体活動で適切な支援を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や団体活動での開催日や支援方法等を組み取り入れております。		
20	支援開始時には職員間で必ず会話をを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	出勤時間は異なることもありますため、専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
21	支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献した会員を共有しているか。	70%	30%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図る、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
障害児相談支援事業所	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎回お子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。		
25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて連携してしております。		
26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保健医の職員の方との情報共有を行なっております。		
27	就学後の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
28	(28~30)センターや団体					
29	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
30	貢献のため団体をつくることや、地域的連携等の活動を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。			(センターではないため回答なし)		
31	(31)は、事業所のみ回答					
32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	90%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のひどい状況で活動や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	定期的に情報交換を行なうことで、お子様の状況を把握し、問題解決によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
34	家庭の立場の内にいる親から見ると、家庭に対する支援を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	80%	20%	お子様の立場の内にいる親から見ると、お子様の状況を把握し、問題解決によるコミュニケーション等で確認に努めています。		
35	定期的に会議を開催し、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	定期的に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご質問させていただいているため。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の尊重考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する取組を行っているか。	100%	0%	定期的に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご質問させていただいているため。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期的に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては随時ご質問させていただいているため。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行っているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や、相談に応じております。		
39	父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
40	こどもや保護者の立場から見ると、対応の整備を図ることや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
41	定期的に会議を開催するなど、YAHOO!SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する取組を行っているか。	90%	10%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組を行なっております。		
42	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	今後検討していくかと思います。		
45	家庭訪問マニュアル、定期的対応マニュアル、巡回対応マニュアル、巡回対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒の立場から見ると、対応の整備を図っているか。	100%	0%	マニュアル等の策定を行なっております。		
46	業務統計計画（BPC）を策定するとともに、非常に改善の進みを確立し、定期的に評議会を行なう。	100%	0%	業務統計計画（BPC）の策定を行なっております。		
47	事前に、面接や予防接種、まんくら角角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有し、対応に努めています。		
48	食物アレルギーのあるこどもの状況をに基づく対応を行っているか。	90%	10%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
50	こどもの安全確保に関して、家族等の立場から見ると、安全計画に基づく対応内容について、要領等へ用意しているか。	90%	10%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行っております。		
51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた対応を行っているか。	90%	10%	事業所内でもヒヤリハットを記録して共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。		
52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応を行っているか。	100%	0%	虐待防止基準を設置することにより、定期的な研修を行なっております。		
53	どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に記載しているか。	100%	0%	初回・赤外線・持続性・持続性を満たす場合に記載を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

事業所における自己評価結果						
事業所名	グローバルキッズメソッド147市原五井店(パーク)			公表日 2025年10月31日		
チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が介護支援専門家のスースとの連携で適切である。	73%	27%	実施数は少ないですが連携を取らないでアドバイスをしています。 但し専門家を行なう行為はパートナーシップで専門家を訪問する工夫をしている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置は適切であるか。	82%	18%	児童ができた場合も距離で対応されています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく適応化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や備品(床等)、廻りの施設が適切になされているか。	91%	9%	施設ももちろん各部屋ごとに分かれています。経が貼ってあります。お部屋のアドバイスをしたり、対応してあります。 お部屋に人を入れておもわせたものや工夫がされています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	91%	9%	同じようなで掃除もして清潔に保たれています。 特にテーブル、床、洗面所、トイレ等にあります。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	100%	0%	危ないものはなく各部屋内に分かれています。経が貼ってあります。お部屋のアドバイスをしたり、対応してあります。		
業務改善	6 事業改善を進めるためのPDSAサイクル(目標設定と振り返り)、広く職員が参画しているか。	91%	9%	取り組みについては責任者スタッフとの都合を踏まえてもらっています。 責任者と目標設定と振り返りを行なっています。		
	7 保護者向け評議表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	ファイル化しており、更新された場合は共有されています。 お子様を引き受け、活動内容、保護者様からの要望を聞き、全員に周知してます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	話し合い環境等で定期的にコミュニケーションが行われていると感じます。 定期的に行われる会議で職員各々の意見を交換している。 定期的に業務改善を行なっています。		
	9 第三者による外部評議を行い、評議結果を業務改善に応げているか。	73%	27%	外部評議の報告書をいつでも見たいと見れるようにファイルしてあります！		
	10 職員の責任の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	91%	9%	責任者が部室で開催しています。		
	11 運用に支援プログラムが併用、公表されているか。	91%	9%	迅速に応じて、職員が見れるようにしてあります。		
	12 保護者等に対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	職員意見交換がされて、児童一人一人の支援活動計画を作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者がだけでなく、こどもの保護者に開かれた会議が児童発達支援の下で、こどもの収容の問題を考慮した施設が行われているか。	100%	0%	全職員が児童の様子を見交換し、対応、改善、支援している。		
	14 児童発達支援計画の職員間共有、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	再度支援計画を見直しながら職員は児童にあたって		
	15 こどもの得意・専門分野を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により評議しているか。	100%	0%	常に申し通りし、共有、周知している。		
運営的な支援の質	16 児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「社会的支援」のうち、どちらか又はどちらも含まないか、どちらかの支援に必要な項目が計画に記載され、その上で、具体的な文部省内容が記載されているか。	100%	0%	毎日の活動を行ない、ご家族、施設での活動報告をもらっている。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員が意見交換して行なっている		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	定期的や、保護者との会話の実をも取り入れながら日々作成している		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、実施が行われているか。	100%	0%	毎日、普段に合った量で指導を5十分行なっている		
	20 支援開始前に職員間で必ず合せを行い、その日行なわれる支援の内容や改善分野について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	82%	18%	ホワイトボードで段取りなどを記入し、一日で把握できる環境を作っている。 必ず、施設、直、直、半導の連絡は密に行なっている		
	21 支援終了後に、職員間で必ず合せを行い、その日行なわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	73%	27%	必ず、職員間で気付いたことをその他の職員に伝えようとしている		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の奨励・改善に応げているか。	91%	9%	全会議で共有して漏れがないようにしてます。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の貢献の必要性を判断し、適切な貢献を行なっているか。	100%	0%	定期的に、責任者が行なっている		
	24 保育介助段階事業所のサービス担当者会議や開院懇親会との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91%	9%	支援センターや、両親ともと連携している		
	25 地域の保健、医療（主担当医や歯科医師等）、障害福祉、保育、教育等の連携機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	9%	常に連携を密にし、漏れがないように努めている		
保護者や児童との連携	26 施設や外部機関に向けた支援を行なうなど、インターネットによる情報発信も含めながら、こどもの支援に必要な項目が計画に記載され、その上で、具体的な文部省内容が記載されているか。	91%	9%	お互いの理解、共有をも活用しやすい環境にしている		
	27 学習費の移行の際には、小学校や幼稚園や学習塾（小学校）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	91%	9%	責任者が、保護者会議を通して適切にアドバイスしている		
	28 (28~30は、センターのみ回答)					
	地域の児童発達支援センターと連携して、地域全体の児童の向に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢の向上を図るため、積極的に専門家や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要な支援を受ける機会等を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31は、事業所のみ回答)					
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要な支援を受ける機会等を設けているか。	91%	9%	支援センター等のアドバイスなど聞く機会がある		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	64%	36%	様々な子どもたちに適切な実験を行う製品を養うみにも上記の交流機会は図った方がいいと思う。		
	33 日頃から他のこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	迅速に、必ず保護者名に活動内容を報告している。		
保護者との協働	34 家族に対する力の借りを図る親類から、家庭に対して家族支援プログラムや助言等を受ける機会等を行なっているか。	73%	27%	事業所における注目の離婚を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるようかお伝えしております。		
	35 運営規程、支援プログラム、お子さま負担等について丁寧な説明を行なっているか。	91%	9%	必ず、お手紙や電話にて説明をしている		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもの若者の意見の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	91%	9%	責任者が、細かく確認し、対応に周知している		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら実験内容の説明を行なう。保護者からも児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	細かに説明を実施している		
	38 家庭内に、家族等との子育ての悩み等に対する相談に適応し、面談やマッチング等で支援を行なっているか。	100%	0%	保護者様からの電話、送信時に同じ共有している		
	39 父母の会の活動を実施することや、保護者会等を実施する等、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	64%	36%	よう子どもだけではなく親御さんのニーズに花が咲くようにして支えています。		
	40 こどもや保護者の心の問題の中に入れて、対応の体制を整備することとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速に適応に応じているか。	100%	0%	迅速に対応している		
	41 定期的に情報等を発行することや、SNSやGNS等を活用することにより、活動頻度や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	91%	9%	常に活動内容を発信できる体制にしている		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	91%	9%	全会議員が把握できるようにファイルしてある		
	43 離婚のあるこどもや保護者の意見の隠蔽や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	一人一人に合った対応を企画員は心がけている		
各部門等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	55%	45%	今後検討していきたいと思います。		
	45 家族防災マニュアル、緊急時対応マニュアル、消防マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童を保護した場合を実施しているか。	100%	0%	事業所に必ず置いてあるので、日々通じている		
	46 実施訓練計画（BCP）を策定とともに、非常災害の発生に備え、定期的に練習、実施する必要な訓練を行なっているか。	100%	0%	職員が把握してすぐ対応出来るようにしている		
	47 事前に、面倒やお手伝い、なんからか作業等のこどもの状況を確認しているか。	91%	9%	お子さまの状況については事前に把握しておき、職員間で情報を共有し、対応に努めています。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の診断書に基づいて対応がされているか。	100%	0%	全職員が必ず把握している		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な基盤を構築する等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	91%	9%	責任者から船員があります		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	100%	0%	連絡取れるよう連携してあります。		
	51 ヒヤリハットを事業所内外に共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	内容を記入したファイルに必ず通じます		
	52 虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか。	91%	9%	添付書類に目を以て、再度確認して製本にあたっています。		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うについて、規則的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童を拘束する計画を行なっているか。	91%	9%	切迫性・多発性・一時性を踏まえて場合を以て、身体拘束を行なうことがあります。		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド150小名浜店(パーク)				公表日	2025年10月31日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
1	利用定員が児童支援事業のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法令に遵守し、また活動に合わせたプロトコルを用意してあります。		
2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	教員や保育士資格のある職員を配置して、人員整備を適切に行ってあります。また有資格者による支援も行なうことが出来るように配慮しております。		
3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者用、高齢者用等の配慮が適切に行なわれているか。	60%	40%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
4	生年空間は、高齢者、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	障害のしやすさがある。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	80%	20%	個別スペースの確保は行なうことが出来ている。		
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	60%	40%	定期的に会議を開催して話し合いで行なっております。		
7	保護者向け評議会により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を測定し、改善できるように努めています。		
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	面談の機会は設けられています。		
9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	今後、検討していくかと思います。		
10	職員の育児の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	80%	20%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
適切な支援の提供	選択	選択	選択	選択		
11	選択してプログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
12	保護者ごとにアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の中で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	80%	20%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の立場を考慮し複数の上、児童発達支援を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
14	児童発達支援計画に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	お子さまのご利用の際の個別対応などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行なっております。		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別改善の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内、及び支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
17	活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催用プログラムを考案し、実施した活動に則りながら工夫して実施しております。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行い、工夫したりしております。		
19	こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動で児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別や巡回活動での取り扱いや支援方法等に取り入れております。		
20	支援開始時には職員間で会話や会話を用いて、個別に行なわれる支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	100%	0%	会話時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
21	支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その後行われた支援の振り返りを行い、貢献した会員を表彰して実施しております。	100%	0%	直面時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	定期的に分析できるように実施し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	80%	20%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行なっております。		
障害児相談支援事業所	確認	確認	確認	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		
24	児童発達支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月の点検会議の形態をよく理解しておる職員が参加できるよう努めています。		
25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて連携連携しております。		
26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育料や認定こども園、幼稚園、特別支援学校認定制度等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	必要に応じて、連携する幼稚園や保健園の方との情報共有を行なっております。		
27	就学時の移行等には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
団体活動や保護者との連携	確認	確認	確認	(28~30):センターのみ回答		
28	地域の他の児童発達支援センターや障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
31	(31)は、事務所のみ回答					
32	対応の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	20%	20%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
33	保健所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対応の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
34	家庭の点検の内に定期的に訪問する親親訪問等で、家庭に対する支援を行なっているか。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
35	定期的、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を聞き取る等を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点にに関しては施設ご要望に応じてご説明させていただいているため。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要望に応じて適切な面接や相談に応じております。		
39	父母の間の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
40	こどもが保護者の心を理解するため、保護者会等に参加していくか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう構えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
41	定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	80%	20%	月ごとに活動予定を発表し、活動の様子や行ななごとにご要望いただける取り組みを行なっております。		
42	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100%	0%	入社時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処分に力を入れております。		
43	障害のあるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るよう努めています。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	40%	60%	今後検討していくかと思います。		
保護者への対応	確認	確認	確認	55.医療マニフェスト、電気特殊対応マニュアル、感染対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が受け取れる形で実施している。		
56	業務統計計画（BSC）を策定するとともに、非常に改善のため強く、定期的に研修、出前等による必要な訓練を行なっているか。	80%	20%	業務統計計画（BSC）の策定を行なっております。		
57	事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報共有をし、対応に努めています。		
58	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づいて対応されているか。	100%	0%	事務室内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
59	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な監査を実施する等、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施してあります。		
60	こどもの安全確保に関して、家族等の協力が得られるよう、安全計画に基づく内容について、児童生徒等へ周知しているか。	100%	0%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。		
61	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	100%	0%	ヒヤリハットを事業所内に共有することで記録を行なっております。		
62	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応を行なっております。		
63	どのような場合にわざわざ身体拘束を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒受け扱いに記載しているか。	100%	0%	利用者、赤外線、一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメソッド151今市店(パーク)				公表日	2025年10月31日
		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	就学児と未就学児を分けている点。活動スペースを十分に確保している点。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	86%	14%	職員によって、人数に振りがたのは、付かないと思うが、子供達の人数に合う。適性な人が確保されれば、よいと思う。	
	3	生年令別は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。	
	4	生年空間は、楽器で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日頃から小まめな話し合いを行っております。	
	5	必要に応じ、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別での支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。	
	7	保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	86%	14%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。	
	9	第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善に反映しているか。	86%	14%	今後、検討していくかと思います。	
	10	職員の職務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	86%	14%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。	
適切な支援の提供	11	遅刻に支障プログラムを作成し、公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で意見交換の確認、見直しを行なっております。	
	12	保護者ごとに適切なアセスメントを適切に用い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの状態の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状況の参考として活用しております。	
	16	児童発達支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「児童支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の、ならびに支援内容等も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様のご要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。	
	17	活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月職員間でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。	
	19	こども状況に応じて、個別活動と組合せで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動併用での取り扱いや支援方法等を取扱い入れております。	
	20	支援開始時には職員間で会話合せを行い、その会話による支援の内容や支援分野について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	86%	14%	出勤時間は異なることもあるため、専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
職員間や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず会話をを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、貢献いたした者を共有しているか。	86%	14%	直勤時間も同様に異なることがあるため、同様に専門的連携を中心に情報共有を図るよう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。	
	22	日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるように実施し見直しをかけています。また、モニタリングの際日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	86%	14%	毎日のお子さまの状態をよく理解している職員が参加できるよう努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、薬剤師、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。	
所用利用や移行に向けた支援	26	所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校や幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と連携を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保育園の職員の方との情報共有を行なっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。	
	28	(28~30)、センターのみ回答				
	29	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援会議等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)	
	30	貢献の丸に囲むため、職員的に専門性や専門知識等を受けていたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)	
保護者への対応	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや訪問等を受ける機会を設けているか。	29%	29%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、対地域のその他こども活動を図る機会があるか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	過去等の際にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。	
	34	家庭の立場の内にいる親から見ると、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報収集等を行なっているか。	71%	29%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう頑かくお伝えしております。	
	35	支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
児童等への対応	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもが保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要望に応じてご説明させていただいているため。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要約の際に応じて適切、相談に応じております。	
	39	父母の立場の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	29%	71%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。	
	40	こどもが保護者の立場を尊重することや、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。	
児童等の対応	41	定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動経験や行事等、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対する情報交換を行なっているか。	71%	29%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお問い合わせいただける取り組みを行なっております。	
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。	
	43	障害があるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%	今後検討していくかと思います。	
	45	家庭訪問マニフェスト、電気郵便マニュアル、電気郵便マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の立場を実施しているか。	29%	71%	マニュアル等の策定を行なっております。	
安全管理等の対応	46	業務統計計画（BOP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっています。	14%	86%	業務統計計画（BOP）の策定を行なっております。	
	47	事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	71%	29%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもの状況について、医療の監査に基づく対応がされているか。	57%	43%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	86%	14%	定期的に実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等の立場の立場を認めてよう、安全計画に基づく内容について、職員間で情報交換を行なっているか。	86%	14%	職員間でも情報を共有しながら、必要に応じて周知を行なっております。	
安全管理等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内に共有し、再発防止に向けた方針について検討を行なっているか。	71%	29%	事業所内でも情報を共有しております。また、他事業所の管理者とも共有する体制を整えております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしている。	57%	43%	虐待防止基準を設置することにより、定期的な研修を行なっております。	
	53	どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒保護に配慮しているか。	100%	0%	利用者・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	グローバルキッズメッド152郡山静町店(パーク)				公表日	2025年10月31日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など		
環境・体制整備	1 利用定員が効率支援率のスペースとの関係で適切であるか。	71%	29%	バーチャルや戸外施設の活用で工夫している		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配慮は適切であるか。	71%	29%	教員や保健士資格のある職員を配置して、人員整備を適切にしています。また有資格者による支援を行うことが出来るように配慮しております。		
	3 生き方指導は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や障害者優先、施設上の配慮が適切になっているか。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。		
	4 生き空間は、床面で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関しては日々から小まめな話し合いを行っております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用するが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子さまの状況に合わせて個別の支援や小集団グループなどの活動を行うことが出来るよう対応をしております。		
業務改善	6 実務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合いを行っております。		
	7 保護者向け評議表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	アンケート結果や、直後のコミュニケーションから保護者さまのお声を聴取し、改善できるよう努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に反映しているか。	100%	0%	日々のミーティングや定期的な会議を開催し、情報の共有、児童情報を交換、改善に努めています。		
	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	今後、検討していくかと思います。		
	10 職員の職場の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	86%	14%	全体研修のほかに、研修動画の視聴や外部講師を招いた研修による知識向上に力を入れております。		
	11 適切な支援プログラムを作成・公表されているか。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフ間で審査内容の確認、見直しを行なっております。		
	12 保護者ご自身に対してアセスメントを適切に、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、さらに保護者さまからご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成するように努めております。		
	13 保護者支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の特徴を考慮した段階が行われているか。	100%	0%	お子さまの成長の状態に合わせて、お子さまの養育の判断の判断を考慮し複数の上、児童発達支援職員を含む全ての職員共通理解ができる様、情報共有しております。		
	14 児童発達支援計画に共有性があり、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	お子さまのご利用の際の個別教諭などの情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により把握しているか。	100%	0%	個別教諭の記録を参考にしたり、アセスメントツールをお子さまの状況の状態の参考として活用しております。		
適切な支援の提供	16 「地域支援・地域連携」の問い合わせ及び支援内容等を理解するため、日々の行動観察等の情報共有に必要な項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が記載されているか。	100%	0%	お子様が保護者様の要望を踏まえながら、児童発達支援計画に必要な情報を記載する中で、お子様の成長に必要な支援内容の設定に努めております。		
	17 活動プログラムの立案やチームで行なっているか。	100%	0%	毎月開催でプログラムを考案し、実施した活動に割り当てる工夫を定めております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	改善が必要な場合、実施した活動プログラムになるよう見直しを行いたり、工夫したりしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動や巡回活動で適切に支援を行なっており、支援の手帳を共有しているか。	100%	0%	ご要望に応じて、また、お子様の状況に合わせて、個別活動や巡回活動での取り扱いや支援方法等を記載する手帳を取り入れております。		
	20 支援開始時には職員間で必ず会合を行い、その会合で行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	71%	29%	会員登録時に職員間で必ず会合を行い、その会合で行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず会合を行なって、その会合で行われる支援の振り返りを行い、貢献した会員を表彰しておこなっているか。	71%	29%	直面問題も同様に異なることがあるため、同様に労働問題を中心に情報共有が出来よう、記録や口頭によるコミュニケーション等で確認に努めております。		
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	定期的に分析できるよう実施し、記録を参考に日々の目標を考えております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じ、計画の適切な見直しを行っております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や開発会議との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	毎月の点検会議にて保護者さまの意見を反映する機会等を行なっているか。		
	25 地域の保健、医療（主治医や専門医療機関）、障害者、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて適宜連携しております。		
団体連携や保護者との連携	26 所用利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、連携する幼稚園や保護者の方との情報共有を行なっております。		
	27 教育評議の修了には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	併設する放課後等ディサービス事業との情報共有を図りながら、ご要望があれば学校との情報共有を図っております。		
	28 (28~30): センターのみ回答					
	地域の他の児童発達支援センターで障害児相談所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上に貢献する取組等を行なっているか。			(センターではないため回答なし)		
	29 貢献のため図るため、積極的に専門医や専門施設等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			(センターではないため回答なし)		
	30 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。			(センターではないため回答なし)		
	(31): 事業所のみ回答					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや監督等を受ける機会を設けているか。	71%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させていただいているため。		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域のその他こども活動を監督する機会があるか。	86%	14%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	33 日常からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っています。	100%	0%	過去の間にお子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子連絡帳による記録を提供させていただく努力をしております。		
保護者への対応等	34 家族の立場からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っています。	100%	0%	事業所における活動の様子を「本日の様子」として日々情報を発信し、ご家庭での支援にご活用いただけるよう細かくお伝えしております。		
	35 支援相談、支援プログラム、お子さま負担について丁寧な説明を行なっているか。	100%	0%	ご要件の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要件に沿って説明させていただいているため。		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの養育の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家庭の意見を尊重する機会を設けています。	100%	0%	ご要件の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要件に沿って説明させていただいているため。		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご要件の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご要件に沿って説明させていただいているため。		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な物語や支援を行なっているか。	100%	0%	ご要件に応じて適切な対応を行なっております。		
	39 父母の立場の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交換する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	ご要望に応じて、対応させていただいているため。		
	40 こどもや保護者の立場からお伝えしていくか。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定すると共に、各事業所で相談しやすい内容は、結合受け窓口にて相談できるよう構えており、お声を頂いた際には迅速に対応しております。		
	41 定期的に活動を実施するところや、SNS等を用いることにより、活動結果や行事等、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対する取組を行なっているか。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、活動の様子や行なななどについてお伝えいただける取り組みを行なっております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	入会時に契約書にて確認し、個人情報の保護や廃止処理に力を入れております。		
	43 保護されるこどもや保護者の意思の尊重や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	より円滑にお伝えするよう努めております。		
お客様等との対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なっているか。	57%	43%	今後検討していくかと思います。		
	45 事業所マニフェスト、電気料金マニフェスト、飲食マニフェスト、感染症対応マニフェスト等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、児童生徒が立場の保護者等を実施しているか。	100%	0%	マニフェストの策定を行なっております。		
	46 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に研修や訓練の実施を行なっております。	100%	0%	事業継続計画（BCP）の策定を行なっております。		
	47 事前に、医療や予防接種、まん丸角等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しており、職員間で情報を共有し、対応に努めております。		
	48 食物アレルギーのあるこどもの状況について、医師の監査に基づいて対応されているか。	100%	0%	事業所内で一覧表を作成し職員が一日で分かるよう工夫しております。		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な研修を実施し、安全管理が十分された上で支障が行われているか。	100%	0%	定期的に実施しております。		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等の立場の保護者等を確認する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	職員間でも情報共有しながら、必要に応じて対応を行なっております。		
	51 ヒヤリハットを事業所内でも有し、再発防止に向けた対応について検討を行なっているか。	100%	0%	事業所内でもヒヤリハットを記録を行なっております。		
	52 事故防止のため、職員の研修等を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	事故防止のため、職員の研修等を実施するとともに、定期的な研修や訓練を行なっております。		
	53 どのような場合にわざわざ身体検査を行うかについて、組織内に定め、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童生徒接種に実施しているか。	100%	0%	初回・赤外線・一時性を満たしている場合とし、身体検査を行なった場合は記録を行なっております。また、計画書にも反映しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。